

つくば市クリーンセンター

長寿命化計画書

平成26年 3月

つくば市

## < 目 次 >

1. 長寿命化計画策定の目的	1
2. 施設の概要と維持補修履歴の整理	2
(1) 施設の概要	2
(2) 維持補修履歴の整理	14
3. 施設保全計画	47
(1) 設備・機器の重要度検討	47
(2) 主要設備・機器リスト	52
(3) 機器別管理基準	58
(4) 健全度評価	68
(5) 整備スケジュール	75
4. 延命化計画	99
(1) 延命化の目標	99
(2) 延命化工事の実施時期	100
(3) 延命化の効果	101
(4) 延命化効果のまとめ(廃棄物処理LCCの試算結果)	110
(5) 延命化対策による二酸化炭素排出量削減効果	111
(6) 延命化計画のまとめ	112
(7) 延命化工事を踏まえた整備スケジュールの見直し	115

## 1 長寿命化計画策定の目的

ごみ処理施設は、施設を構成する設備・機器が高温・多湿や腐食性雰囲気暴露されるなどの悪条件の中で運転されており、性能低下や磨耗の進行が速く、耐用年数は他の都市施設と比べて短く、概ね 20～25 年程度で廃止を迎える施設が多い。しかし、建築物について見れば更に長い耐用年数を有しており、プラントの性能劣化を理由に、利用可能な建築物を含め 20 年程度で施設を廃止することは、既存施設の有効活用や経済的観点から改善の余地が大きいと言われている。このため、近年ごみ処理施設においてもストックマネジメントの考え方を導入し、日常の適正な運転管理と毎年の適切な定期点検整備、適時の延命化対策を実施することにより、施設全体の長寿命化を図ることが重要となってきた。

以上のことから、つくば市（以下、「本市」という。）においても環境省の「廃棄物処理施設長寿命化計画作成の手引き」（以下、「手引書」という。）に基づき、つくば市クリーンセンター焼却施設（以下、「本施設」という。）の長寿命化を検討するために、廃棄物処理施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）を策定するものである。

本計画は、「施設保全計画」と「延命化計画」から構成される。「施設保全計画」とは、施設の設備・機器に対し適切な保全方式及び機器別管理基準を定め、適切な補修等の整備を行って設備・機器の更新周期の延伸を図る計画である。また、「延命化計画」とは、施設保全計画に基づき施設を適正に維持してもなお生ずる性能の低下に対して、必要となる基幹的設備・機器の更新等の整備を計画し、施設の延命化を図る計画である。

## 2 施設の概要と維持補修履歴の整理

### (1) 施設の概要

#### ① 施設概要

本施設の概要は、次に示すとおりである。

表 2-1 施設概要

施設名称	つくば市クリーンセンター焼却施設	
施設所管	つくば市	
所在地	茨城県つくば市水守 2339 番地	
面積	敷地面積 57,080m <sup>2</sup>	
施設規模	焼却施設 375 t/日 (125 t/24h × 3 炉)	
建設年月日	着 工 平成 5 年 8 月 竣 工 平成 9 年 2 月 稼 動 平成 9 年 3 月	
設計・施工	住友重機械工業株式会社	
施設建設費	24,751,900 千円	
処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉	
	受入供給設備	計量設備 (トラックスケール 2 基) +ピットアンドクレーン方式 (全自動, 半自動, 手動)
	焼却設備	自動燃焼式 (ストーカ式)
	燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ蒸気タービン発電逆送式
	排ガス処理設備	無触媒脱硝+乾式消石灰噴霧+バグフィルタ
	余熱利用設備	工場, 管理棟の内部給湯および冷暖房
	通風設備	平衡通風式
	灰出し設備	焼却灰: 搬出装置による場外搬出
	集じん灰	キレート処理方式
	給水設備	上水および井水
	排水処理設備	無機系排水 凝集沈殿処理の後再利用 有機系排水 接触酸化処理の後再利用 ごみピット汚水 高温酸化処理方式
	電気設備	特高受変電設備, 蒸気タービン発電設備 非常用発電設備, その他配電盤設備等
計装設備	ACC を含む分散型制御システム	
処理工程	図 2-2 参照	

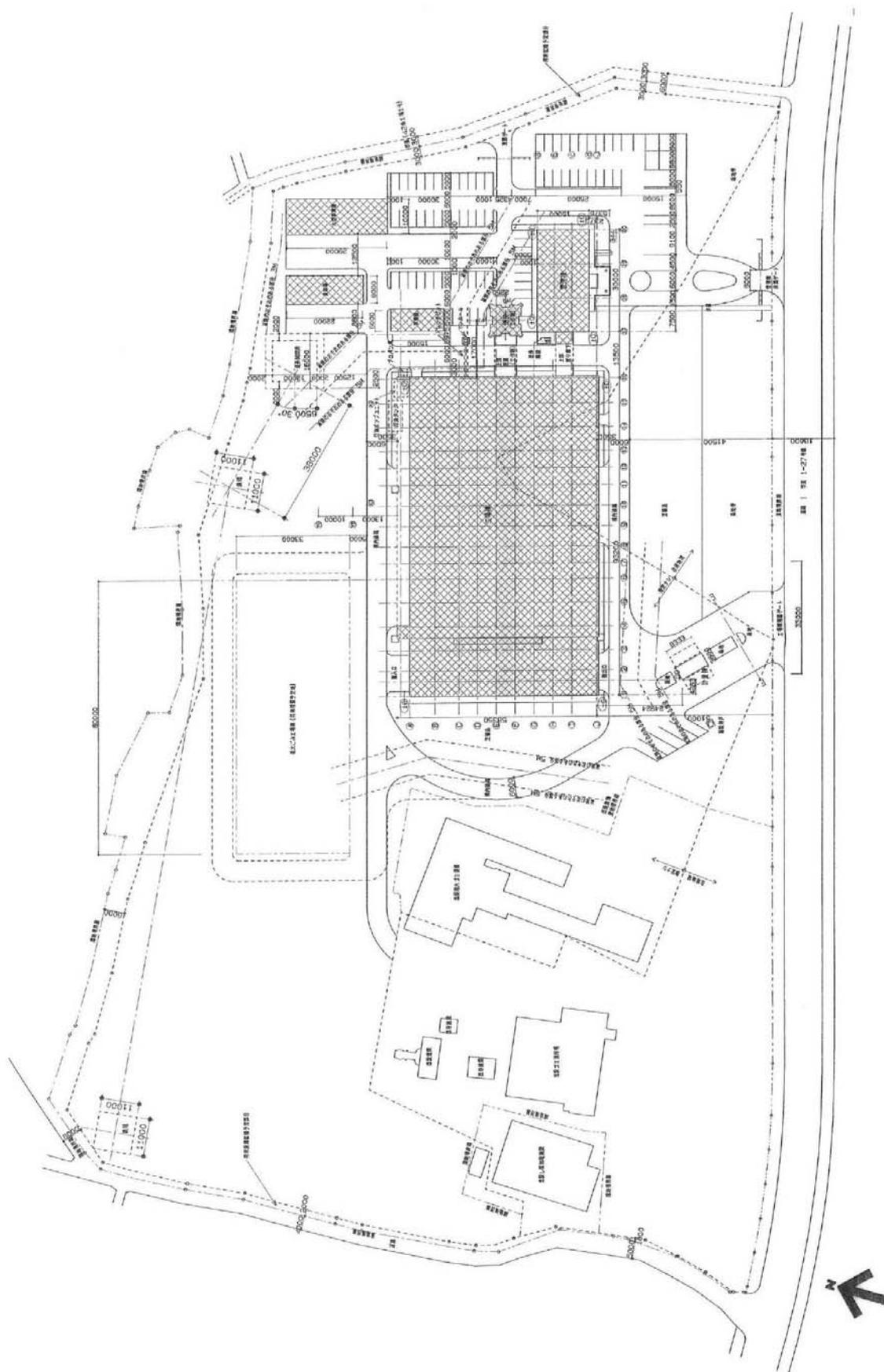


図 2-1 施設配置図



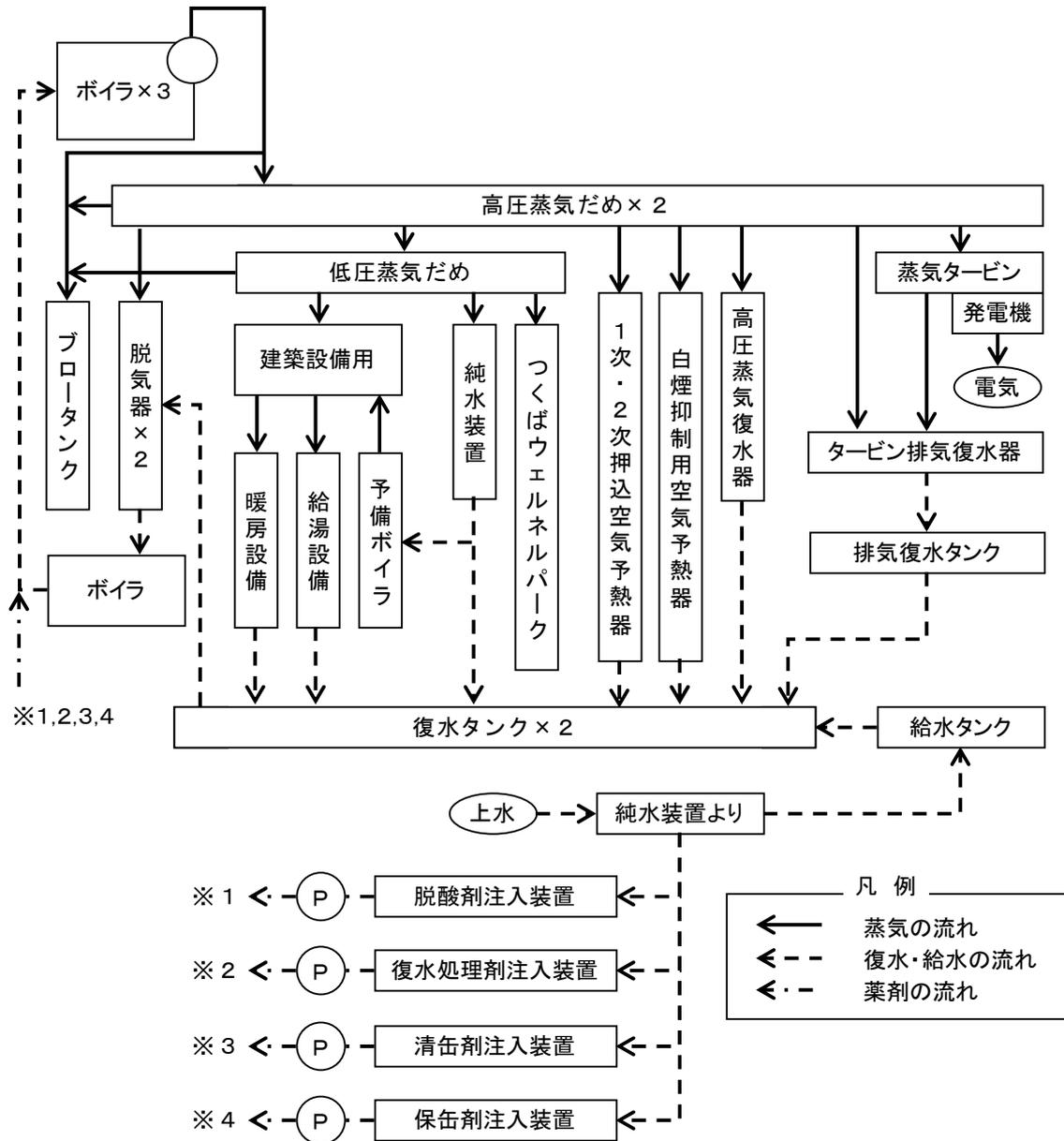


図 2-3 処理工程（蒸気・復水）

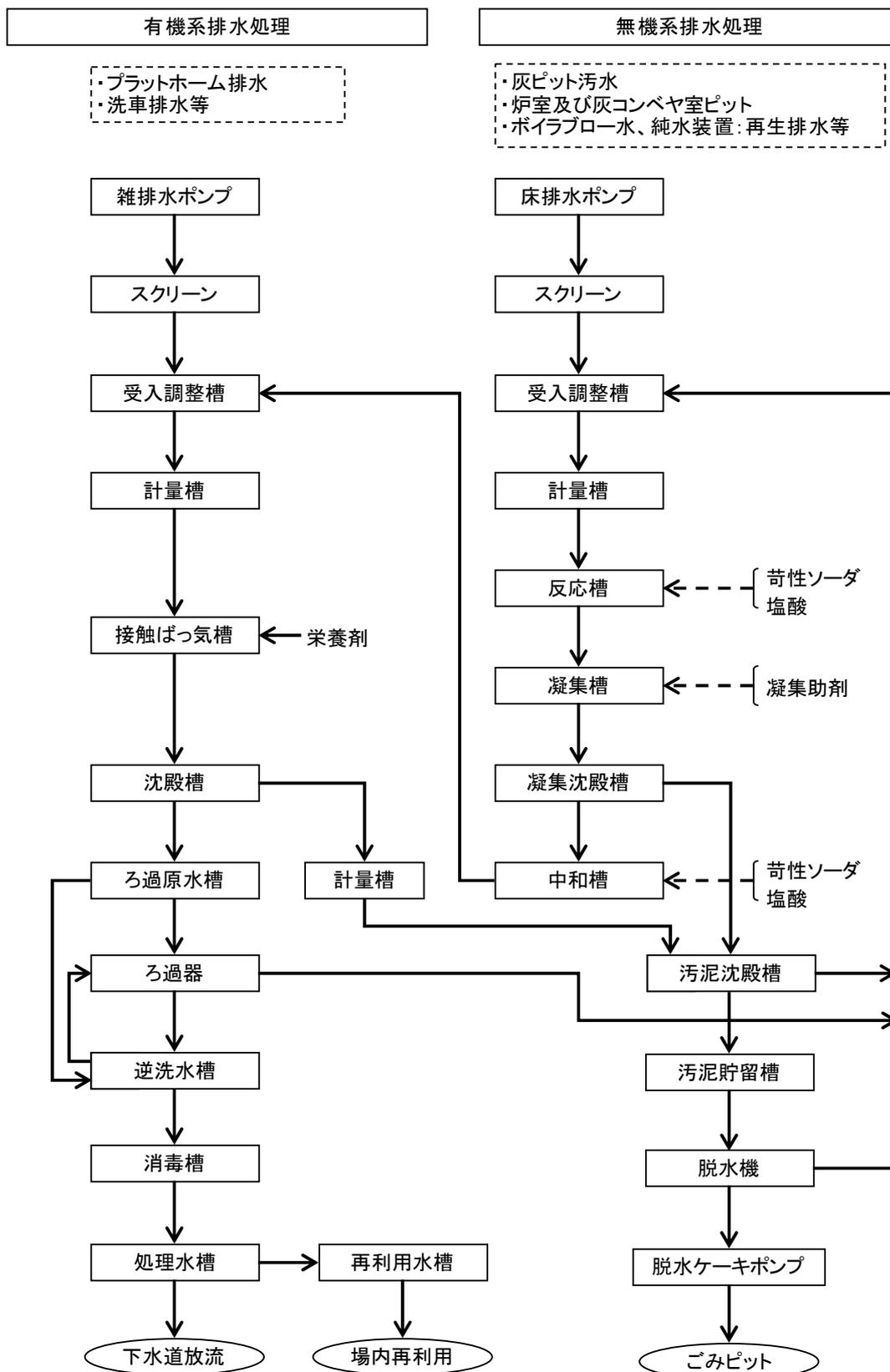


図 2-4 処理工程 (排水処理)

## ② 運転実績の推移

本施設における過去3年間の運転実績の推移をつぎに示す。

### ア ごみ搬入量

ごみの搬入量は、平成22年度および平成23年度とほぼ横ばいに推移している。平成24年度は竜巻災害ごみの影響で増えており、平成23年度と比べると約4,400t増加している。

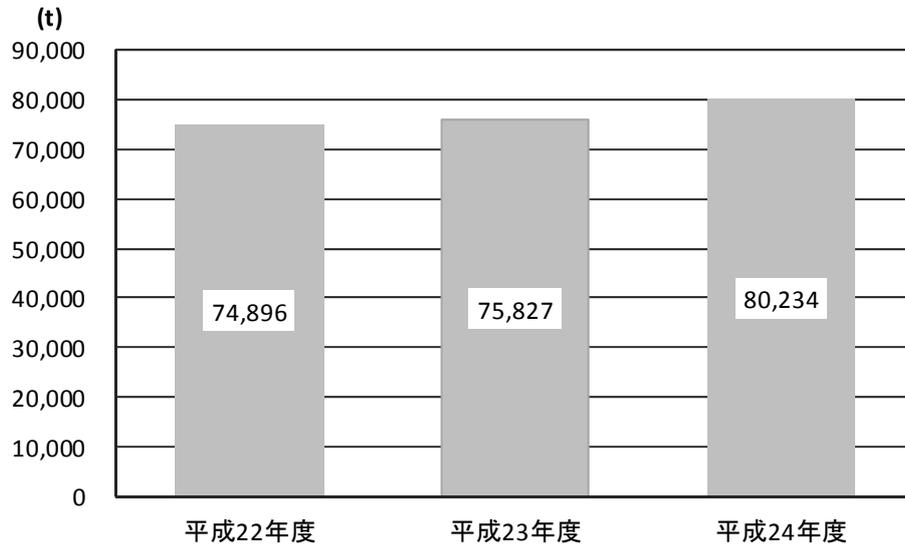


図 2-5 ごみ搬入量の推移

### イ ごみ処理量

時間あたりのごみ処理量は、1炉当たりの計画処理能力(125t/24h→5,208kg/h)以内で推移している。平成24年度における時間あたりのごみ処理量は、1号炉で4,816kg/h(処理率92%)、2号炉で4,710kg/h(処理率90%)、3号炉で4,854kg/h(処理率93%)である。

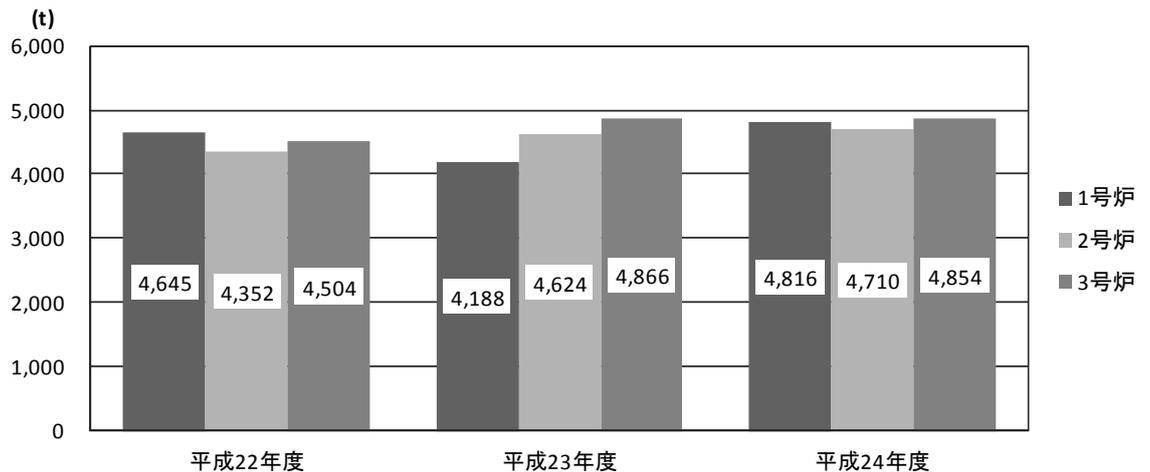


図 2-6 ごみ処理量(1炉時間あたり)の推移

## ウ 搬出物量

搬出物量は、平成22年度および平成23年度とほぼ横ばいに推移している。平成24年度は竜巻災害ごみの影響で焼却残渣も増量している。平成23年度と比べると約1,600t増加している。その大半は主灰の増加となっている。

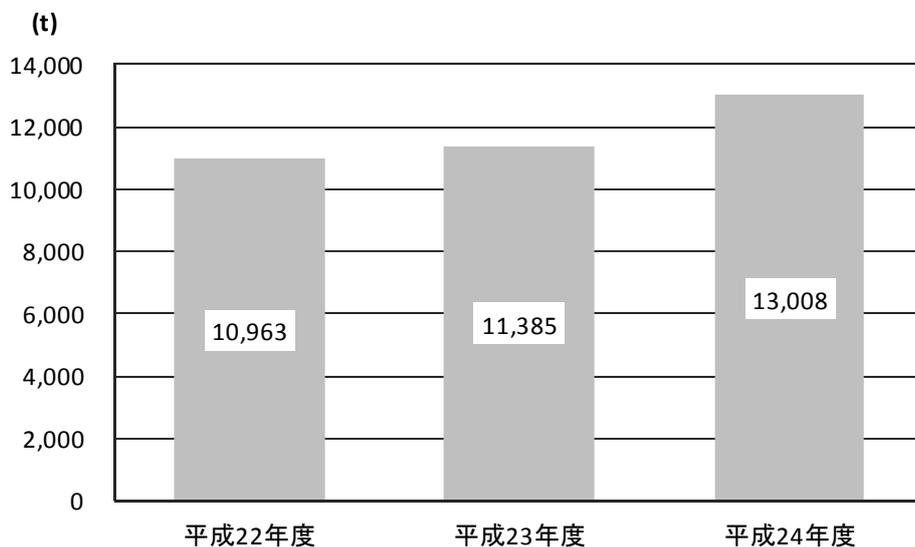


図 2-7 搬出物量の推移

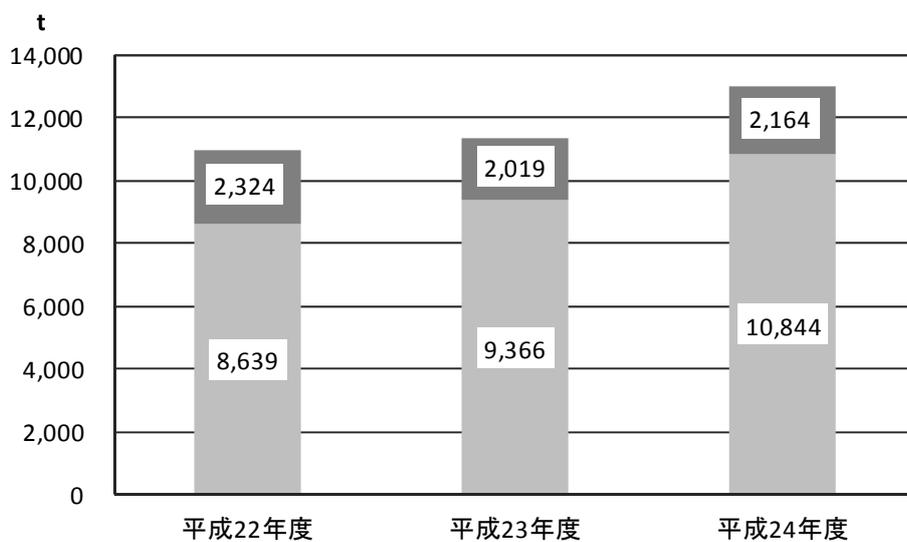


図 2-8 搬出物量の内訳

## エ 用役使用量

本施設における過去3年間の用役使用量の推移をつぎに示す。

### (ア) 電力使用量

電力使用量は、ごみ処理量1t当たり123～131kWh/tとほぼ横ばいである。平成24年度における電力使用量は9,898MWhである。

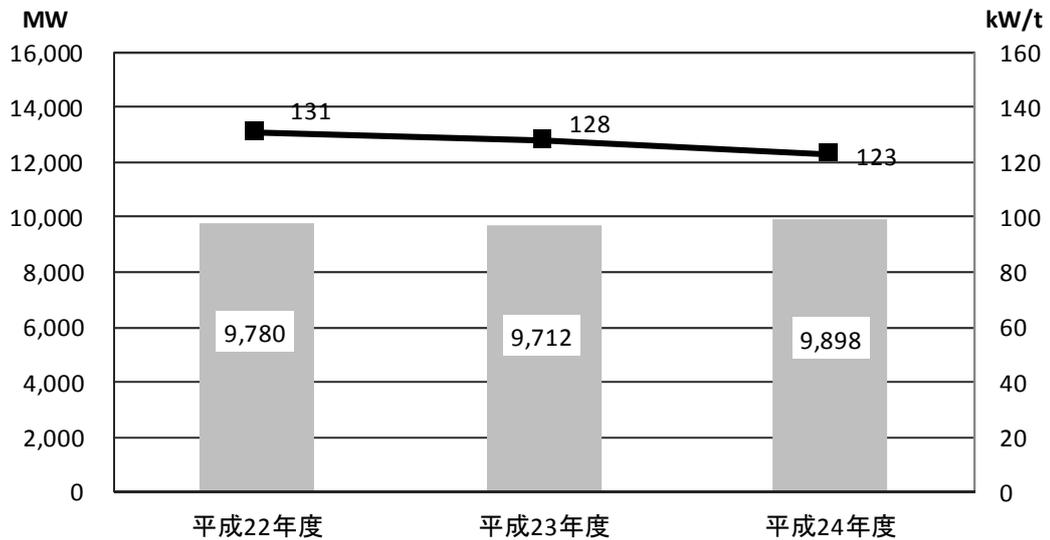


図 2-9 電力使用量の推移

### (イ) 発電量

発電量は、ごみ処理量1t当たり308～334kWh/tとほぼ横ばいである。平成24年度における発電量は24,695MWhであり、電力使用量に対する発電量の割合は約40%となっている。

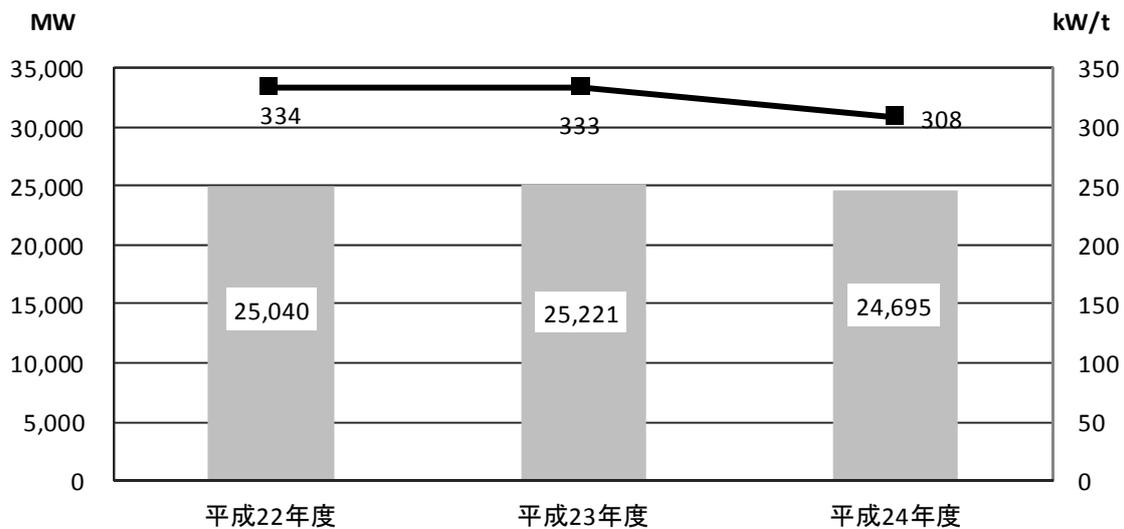


図 2-10 発電量の推移

(ウ) 補給水量

補給水量は、ごみ処理量 1t 当たり  $0.906 \sim 0.916 \text{ m}^3/\text{t}$  とほぼ横ばいである。平成 24 年度における補給水量は  $73,503 \text{ m}^3$  の内訳は、市水  $72,104 \text{ m}^3$  (98%), 井水  $1,399 \text{ m}^3$  (2%) である。

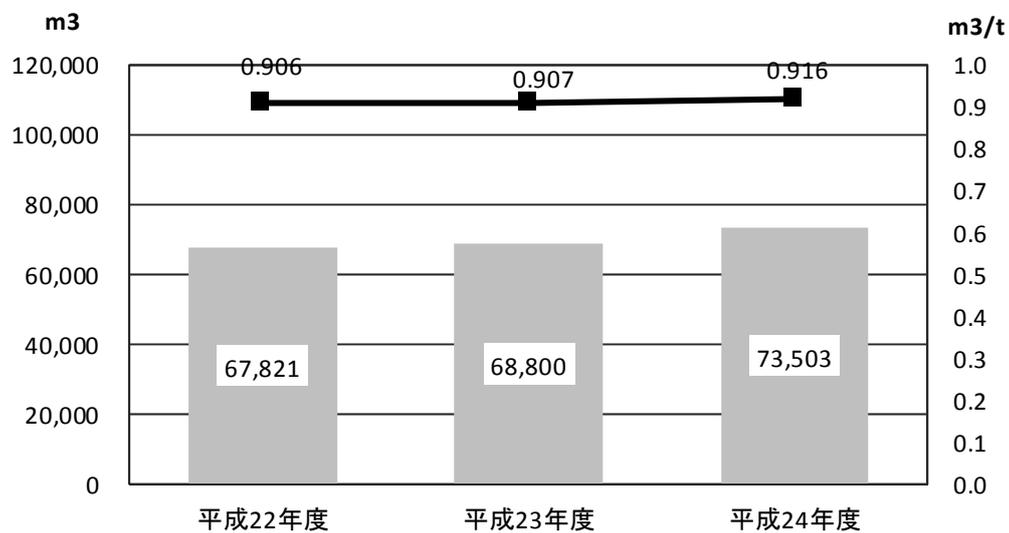


図 2-11 補給水量の推移

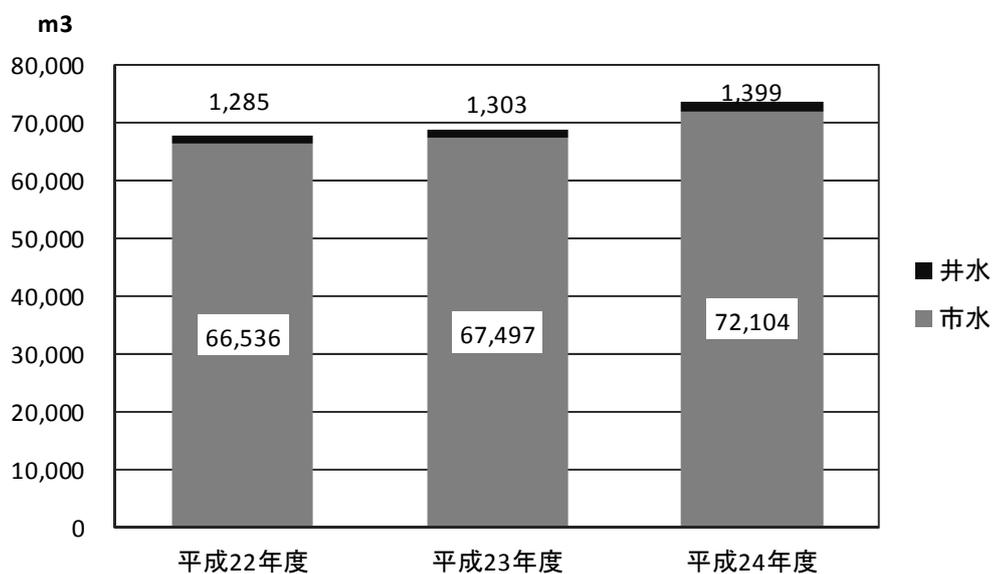


図 2-12 補給水量の内訳

(エ) 燃料使用量(灯油)

燃料使用量(灯油)は、ごみ処理量 1 t 当たり 0.449~0.913L/t となっている。年々使用量は減量している。

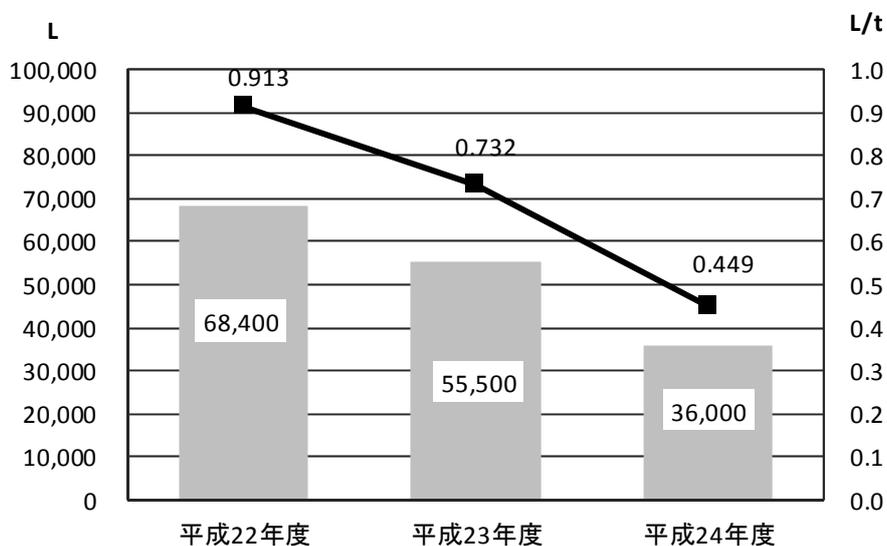


図 2-13 燃料使用量の推移

(オ) 尿素水使用量

尿素水使用量は、ごみ処理量 1 t 当たり 2,849~3,099kg/t とほぼ横ばいである。平成24年度における尿素水使用量が減量している。

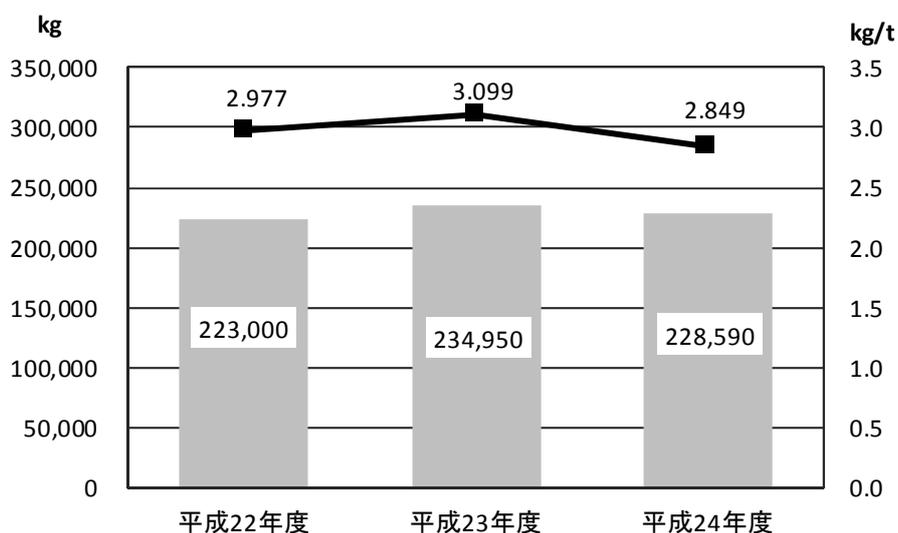


図 2-14 尿素水使用量の推移

(カ) 消石灰使用量

消石灰使用量は、ごみ処理量 1 t 当たり 10.754~12.086kg/t で推移している。平成 24 年度における消石灰使用量が増量している。

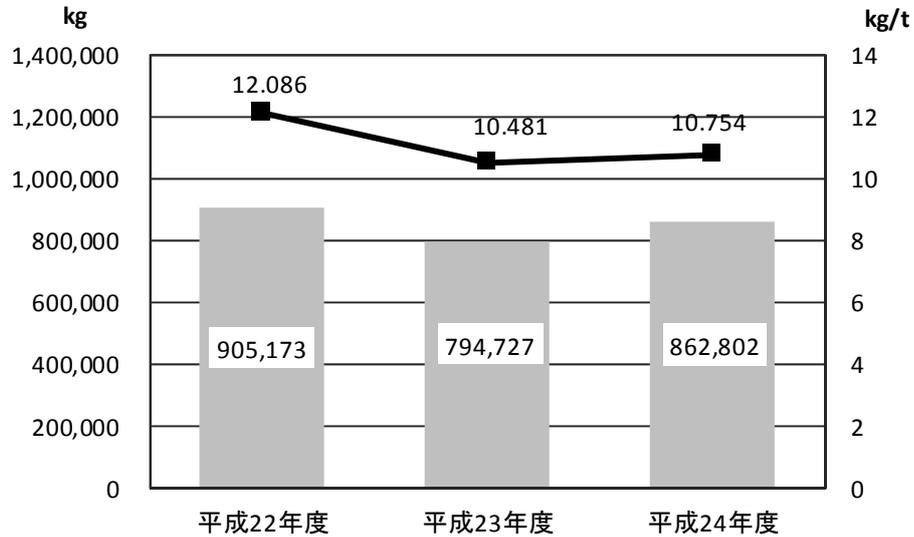


図 2-15 消石灰使用量の推移

(キ) ろ過助剤使用量

ろ過助剤使用量は、ごみ処理量 1 t 当たり 0.776~1.468kg/t で推移している。年々使用量は減少している。

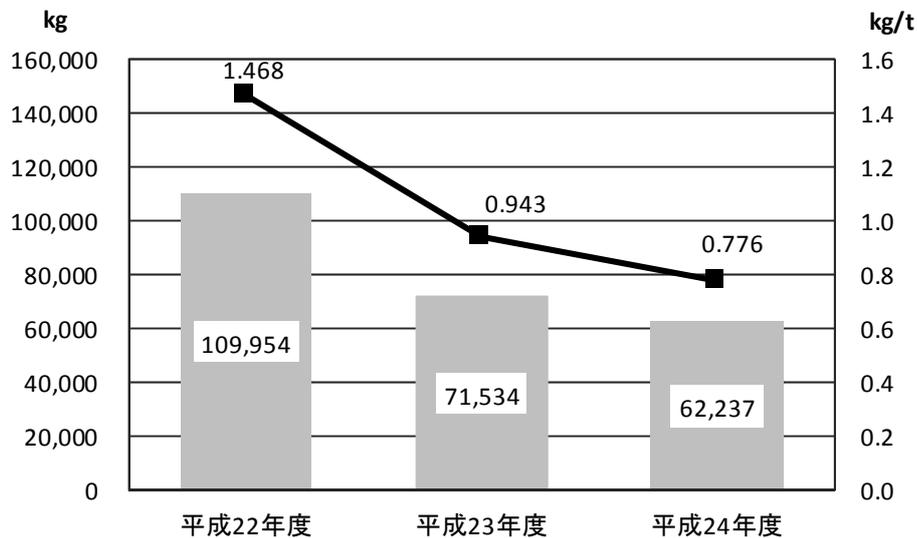


図 2-16 ろ過助剤使用量の推移

(ク) キレート使用量

キレート使用量は、前年度に比べ減量している。ごみ処理量 1 t 当たり 0.576～0.746kg/t で推移している。平成 24 年度に使用量が減っているのは平成 24 年 2～3 月と液体から粉体に実験的にかえたからである。また、平成 24 年 8 月から再度実験的に粉体キレートと使用している。

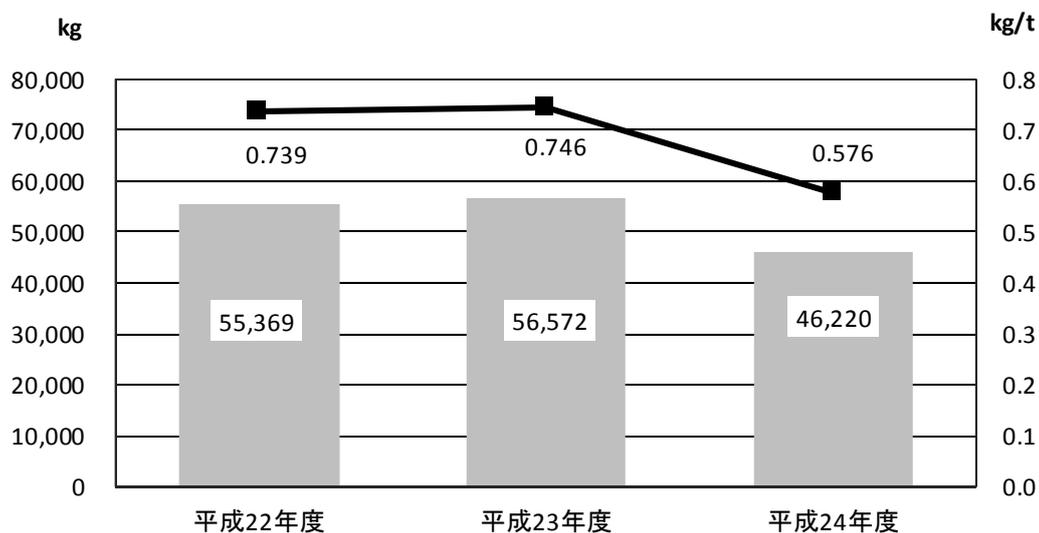


図 2-17 キレート使用量の推移

(2) 維持補修履歴の整理

長寿命化計画の基礎情報として、本施設における設備・機器の維持補修履歴を整理する。維持補修履歴は、これまで実施された修繕及び保守点検の記録など(定期補修工事報告, 施工業者等の関係者へのヒアリング)をもとに取りまとめたものである。

また、ごみ処理施設の竣工1年目(平成9年度)から16年目(平成24年度)までの点検補修費(修繕費, 委託費, 工事費)は、つぎに示すとおりとなっている。

表 2-2 点検補修費

年度	経過年数	点検整備費(千円)				備考
		修繕費	委託費	工事費	合計	
H09	(1)	0	74,888	0	74,888	
H10	(2)	0	98,987	0	98,987	
H11	(3)	0	123,800	0	123,800	
H12	(4)	— ※1	— ※1	— ※1	—	
H13	(5)	— ※1	182,109	8,611	190,720	
H14	(6)	8,668	88,481	— ※1	97,149	※2
H15	(7)	29,294	114,699	103,289	247,282	
H16	(8)	22,507	147,399	105,284	275,190	
H17	(9)	15,952	152,956	95,046	263,954	
H18	(10)	24,358	145,828	11,939	182,125	
H19	(11)	15,763	168,667	92,327	276,757	
H20	(12)	30,253	260,827	81,101	372,181	
H21	(13)	512,996		0	512,996	
H22	(14)	543,557		67,526	611,083	
H23	(15)	470,548		101,535	572,083	
H24	(16)	675,890		0	675,890	

\* 建設費： 24,751,900 千円

※1 データなし

※2 H14年度は、11月～3月までの支出分。4月～10月までの支出分はデータなし。

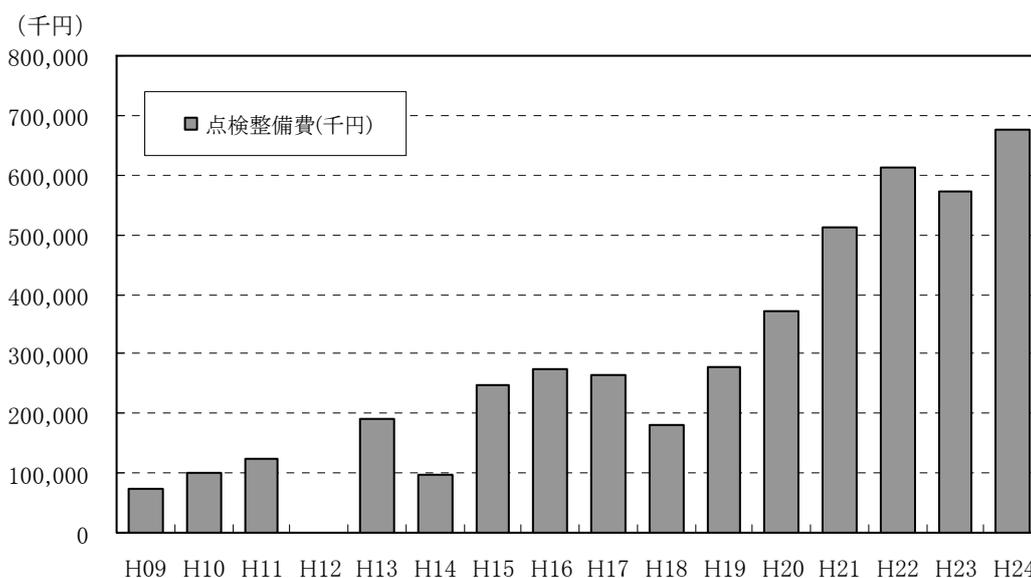


図 2-18 各年度の点検補修費

なお、各設備・機器の維持補修の内容及び補修履歴を以下に示す。

表 2-3 保全方式の分類

保全方式	保全方式の内容
T：定期点検整備 (time based maintenance)	・オーバーホール、中間点検時に補修
C：更生（予防）修理（補修） (condition based maintenance)	・日常稼働中あるいは定期点検時に補修
B：緊急事後保全（突発修理） 通常事後保全（事後修理） (breakdown maintenance)	・故障時に修理
S：法定検査 (statutory inspection)	・法律に定められた検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(1/31)(共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
ごみ計量機関連							S	S	S	S	S	S	S	S	S			
No.1トラックスケール <b>W-0-101A</b>			S	S	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T	更			H24トラックスケール更新
No.2トラックスケール <b>W-0-101B</b>			S	S	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T	更			H24トラックスケール更新
プラットホーム関連																		
入口扉													B					
出口扉																B		
エアカーテン <b>AC-1</b>																		
可燃性粗大ごみ切断機関連																		
可燃性粗大ごみ切断機 <b>CT-0-101</b>																		
送り装置 <b>Z-0-141</b>																		
油タンク																		
油圧ポンプ																		
油冷却器																		
ごみ投入扉関連																		
ごみ投入扉No.1																		
ごみ投入扉No.2																		
ごみ投入扉No.3																		
ごみ投入扉No.4													B					
ごみ投入扉No.5													B					
ごみ投入扉No.6													B	B				
ダンピングボックス <b>Z-0-105</b>																		
ごみ投入扉開閉用油圧装置																		
油圧ポンプA			T											C				
油圧ポンプB			T											C				
油タンク														C				
油冷却器			T											C				
ごみピット <b>PT-0-101</b>																B		
マシンハッチ																		
窓洗浄機													B	B	B			
灰ピット																		
ごみクレーン関連					S	S	S	S	S	S	S	S	S	S				
No.1ごみクレーン <b>CR-0-101A</b>	S	S	S	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B		
No.2ごみクレーン <b>CR-0-101B</b>	S	S	S	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B		
走行レール														更				
横行レール																		
灰クレーン関連					S	S	S	S	S	S	S	S	S	S				
灰クレーン <b>CR-0-701</b>	S	S	S	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	更	C		H24更新
走行レール																		
防臭剤噴霧装置関連																		
防臭剤タンク <b>TK-0-122</b>																		
防臭剤供給ポンプA <b>P-0-122A</b>																		
防臭剤供給ポンプB <b>P-0-122B</b>																		
防虫剤噴霧装置関連																		
防虫剤タンク <b>TK-0-123</b>																		
防虫剤供給ポンプA <b>P-0-123A</b>																		
防虫剤供給ポンプB <b>P-0-123B</b>																		
脱臭装置関連 <b>Z-0-101</b>																		
活性炭吸着塔																		
脱臭用送風機																		
エアフィルター																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(2/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	灯油ユニット関連																	
燃料貯留槽 TK-0-201														S	S	S	S	
灯油移送ポンプA P-0-201A																		
灯油移送ポンプB P-0-201B																		
ボイラ原水槽/給水ポンプ関連																		
ボイラ原水槽 TK-0-808																		
純水装置給水ポンプA P-0-802A			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B		
純水装置給水ポンプB P-0-802B				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			
純水タンク/移送ポンプ関連																		
純水タンク TK-0-304													T					
純水移送ポンプA P-0-307A			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
純水移送ポンプB P-0-307B				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			
純水装置関連	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
純水装置制御盤				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
亜硫酸ソーダ溶解槽 TK-0-303														T				
亜硫酸ソーダ注入ポンプA P-0-304A		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
亜硫酸ソーダ注入ポンプB P-0-304B			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			
陽イオン交換塔 T-0-301	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
陰イオン交換塔中間コレクター															T	T	T	
塩酸計量槽																		
塩酸注入エジェクタ	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	更		H24:新品交換
ガスシール槽																		
脱炭酸塔 TK-0-302						T					T	T	T	T	T	T		
脱炭酸塔ファン F-0-301																更		H24:新品交換
吸込フィルター														T	T			
脱炭酸塔下部貯槽(中間水槽) TK-0-305														T	T	T		
陰イオン塔送水ポンプA P-0-305A		T				T		T	T	T	T	T	T	T	T	T		
陰イオン塔送水ポンプB P-0-305B				T				T	T	T	T	T	T/C	T				
陰イオン交換塔 T-0-303	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
陰イオン塔中間コレクター															T	T	T	
苛性ソーダ計量槽																		
苛性ソーダ注入エジェクタ	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
再生水移送ポンプA P-0-308A			T				T				T				T			
再生水移送ポンプB P-0-308B					T				T					T	C		T	
純水装置再生排水ブロー水槽 PT-0-301				T		T			T									
純水再生排水搅拌プロア					T			T	T	T	T			B				
純水再生排水移送ポンプA P-0-306A	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T	C	T		
純水再生排水移送ポンプB P-0-306B			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T			
自動弁	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
サンプリング装置関連	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
清缶剤注入装置関連																		
清缶剤注入ポンプA(1号炉) P-0-321A	T		T		T		T		T	T				T		T		
清缶剤注入ポンプB(2号炉) P-0-321B	T		T		T		T		T	T				T		T		
清缶剤注入ポンプC(3号炉) P-0-321C	T		T		T		T		T	T				T		T		
清缶剤注入ポンプD(共通) P-0-321D							T		T							T		
清缶剤タンク																		
脱酸剤注入装置関連																		
脱酸剤注入ポンプA P-0-322A			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
脱酸剤注入ポンプB P-0-322B			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
脱酸剤注入ポンプC P-0-322C								T					T	T	T			
脱酸剤タンク																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生(予防)修理(補修)  
 B : 緊急事後保全(突発修理), 通常事後保全(事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(3/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	保剤注入装置関連																	
保剤注入ポンプA P-0-324A			T				T				T					T	T	
保剤注入ポンプB P-0-324B					T				T					T			T	
保剤タンク																		
復水処理剤注入装置関連																		
復水処理剤ポンプA P-0-323A																		
復水処理剤ポンプB P-0-323B																		
復水処理剤タンク																		
機器冷却水薬注装置関連																		
機器冷却水薬注タンク																		
機器冷却水薬注ポンプ P-0-808	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
尿素水関連																		B
尿素水貯槽 TK-0-404																		B
尿素水注入ポンプA (1号炉) P-0-402A			T											更		T		
尿素水注入ポンプB (2号炉) P-0-402B			T											更		T		
尿素水注入ポンプC (3号炉) P-0-402C			T											更		T		
尿素水注入ポンプD (共通) P-0-402D			T											更		T		
炉内噴霧水関連																		B
炉内噴霧水タンク TK-0-405																		
炉内噴霧水ポンプA P-0-403A																T		
炉内噴霧水ポンプB P-0-403B													更			T		
消石灰関連																		
消石灰貯留槽 TK-0-402					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			
特殊搬出装置 Z-0-401																		
消石灰定量供給装置 Z-0-402			T			T		T	T		T		T	T	T	T	C	
助剤関連																		
助剤貯留槽 TK-0-403															B			
助剤定量供給装置 Z-0-403			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
減温水関連																		
減温水槽 TK-0-401					T										C			
減温水ポンプA (1号炉) P-0-401A														C		C		
減温水ポンプB (2号炉) P-0-401B														C		C		
減温水ポンプC (3号炉) P-0-401C														C		C		
減温水ポンプD (共通) P-0-401D														C		C		
ダストコンベヤ関連																		
No.1ダストコンベヤ CN-0-708A/B																		H25コンベヤ部改修
No.2ダストコンベヤ CN-0-709A/B																		H25コンベヤ部改修
No.3ダストコンベヤ CN-0-710A/B																		H25コンベヤ部改修
No.4ダストコンベヤ CN-0-711A/B																		H25コンベヤ部改修
No.5ダストコンベヤ(加湿器非常ライン) CN-0-712																		
磁性物コンベヤ CN-0-704																		
ダスト固化装置関連																		
ダスト固化装置制御盤															T			
ダスト切出コンベヤ DC-1																		
混練造粒機 Z-0-706								T	T	T		T	T	T		T		
混練機薬液噴霧ノズル×2															B	B		
加湿器 Z-0-707								T	T	T		T						
養生コンベヤ(ダスト固化) CN-0-711								T	T	T		T		T				
集塵機								T	T	T		T		T				
集塵機ファン F-0-725															T			
集塵用ロータリーバルブ Z-0-725															T			

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(4/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
集塵機ホッパバイブレータ																		
集塵機ダスト搬送コンベヤ Z-0-726								T	T	T		T		T				
ダスト貯留槽 TK-0-723								T	T	T		T		T				
ダスト貯留槽バグフィルタ																		
ダスト切出コンベヤ用ブロワ								T	T	T		T		T				
ダスト用エアヒータ															T			
エアレータ×4																		
ダスト定量供給機 Z-0-723								T	T	T		T		T				
ダスト供給コンベヤ CN-0-723								T	T	T		T		T				
セメント貯留槽 TK-0-724																		
セメント貯留槽バグフィルタ																		
セメント切出コンベヤ用ブロア F-0-724																		
エアレータ×2																		
セメント定量供給機 Z-0-724																		
セメント供給コンベヤ CN-0-724								T	T	T		T		T				
キレート剤サービスタンク TK-0-702								T	T	T		T		T				
キレート剤供給ポンプA P-0-703A								T	T	T		T		T				
キレート剤供給ポンプB P-0-703B								T	T	T		T		T				
加湿水タンク TK-0-701								T	T	T		T		T				
加湿水ポンプA P-0-702A								T	T	T		T		T				
加湿水ポンプB P-0-702B								T	T	T		T		T		更		
井戸水/プラント水関連																		
プラント用水井戸水ポンプ P-0-803																		
プラント用水高置水槽 TK-0-804				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
プラント用水受水槽 PT-0-801					T	T	T	T	T	T				T				清掃
プラント用水揚水ポンプA P-0-804A	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T					T	
プラント用水揚水ポンプB P-0-804B		T		T	T	T	T	T	T	T	T	T						
再利用水関連																		
再利用水高置水槽 TK-0-803					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
再利用水受水槽 PT-0-803				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T					清掃
再利用水揚水ポンプA P-0-809A	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T						
再利用水揚水ポンプB P-0-809B		T		T	T	T	T	T	T	T	T	T						
洗浄水ポンプA P-0-806A														C				
洗浄水ポンプB P-0-806B														C				
機器冷却水関連																		
機器冷却水槽 PT-0-802					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
機器冷却水高置水槽 TK-0-806				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
機器冷却塔 T-0-801				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
機器冷却塔送風機A F-0-841A														T	T	T	T	
機器冷却塔送風機B F-0-841B														T	T	T	T	
機器冷却水揚水ポンプA P-0-807A					T	T			T					T	C	T		
機器冷却水揚水ポンプB P-0-807B					T			T			T	T			T	B		
機器冷却水揚水ポンプC P-0-807C					T			T						T	C		T	※H13交換
冷却水ブースタポンプA P-0-810A						T			T		T	T	T	C	T			
冷却水ブースタポンプB P-0-810B						T		更		T					T		T	B
生活用水槽/ポンプ関連													S	S	S	S	S	
生活用水受水槽 TK-0-801					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃、水質分析
生活用水高置水槽 TK-0-802					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃、水質分析
生活用水揚水ポンプA P-0-801A																	C	
生活用水揚水ポンプB P-0-801B																		C

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(5/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
暖房関連						S	S	S	S	S		S	S	S	S	S	S	
暖房用温水貯湯槽 HT-1				S	S									T	T	T	T	
暖房用温水ポンプ HP-1-1																		
暖房用温水ポンプ HP-1-2																		
暖房用温水ポンプ HP-1-3																		
膨張タンク(温水用) EXPT-2																B		
予備ボイラ SB-1				T	T	T	T	T	T	T		T	T		T		T	
給湯関連						S	S	S	S	S		S	S	S	S	S	S	
給湯用温水貯湯槽 HWT-1				S	S									T	T	T	T	
工場棟給湯用温水ポンプ HWP-1-1																		
工場棟給湯用温水ポンプ HWP-1-2																		
管理棟給湯用温水ポンプ HWP-2-1																B		
管理棟給湯用温水ポンプ HWP-2-2																		
給湯用膨張タンク EXT-1																		
ボイラブロー/排水関連																		
ブロータンク TK-0-325																	C	
ブロー水冷却器																		
ボイラブロー排水槽 PT-0-902																C		
ボイラブロー排水移送ポンプA P-0-903A															B		T	
ボイラブロー排水移送ポンプB P-0-903B																	T	
排水処理関連																		
排水処理制御盤																		
無機系受入調整槽 V1				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
無機系自動スクリーン																	B	
無機系受入調整槽ポンプA															C			清掃
無機系受入調整槽ポンプB																		
無機系計量槽																		
無機系反応槽 V2						T									C			清掃
無機系反応槽攪拌機																		
無機系凝集槽 V3						T									C			清掃
無機系凝集槽攪拌機																		
無機系凝集沈殿槽 V4								T							C			清掃
無機系凝集沈殿槽計量槽																		
無機系中和槽 V5						T									C			清掃
中和槽攪拌機																		
苛性ソーダ貯留槽																		
苛性ソーダ注入ポンプA																		
苛性ソーダ注入ポンプB																		
苛性ソーダ移送ポンプA (純水装置行)																		
苛性ソーダ移送ポンプB (純水装置行)																		
凝集剤貯留槽																		
凝集剤注入ポンプA															B	B		
凝集剤注入ポンプB															B			
塩酸貯留槽																		
塩酸移送ポンプ(1)A																		
塩酸移送ポンプ(1)B																		
塩酸移送ポンプ(2)A (純水装置行)																		
塩酸移送ポンプ(2)B (純水装置行)																		
塩酸希釈槽																		
塩酸注入ポンプA															B			
塩酸注入ポンプB															B			

T : 定期点検整備  
 C : 更生(予防)修理(補修)  
 B : 緊急事後保全(突発修理), 通常事後保全(事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(6/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
栄養剤溶解槽																		
栄養剤注入ポンプA																		
栄養剤注入ポンプB																		
凝集剤溶解槽																		
凝集剤注入ポンプA																	B	
凝集剤注入ポンプB														B				
脱水剤溶解槽																		
脱水剤注入ポンプA																		
脱水剤注入ポンプB																		
汚泥沈殿槽 V14																		
濃縮汚泥引抜ポンプA																		
濃縮汚泥引抜ポンプB																		
汚泥貯留槽 V15																		
汚泥供給ポンプA																		
汚泥供給ポンプB																	B	
汚泥脱水機														B	B	B		
脱水ケーキ移送ポンプA																		
脱水ケーキ移送ポンプB																		
有機系受入調整槽 V6				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	清掃
有機系自動スクリーン															B			
有機系受入調整槽ポンプA																		
有機系受入調整槽ポンプB																		
有機系計量槽																		
接触ばっき槽(1) V7																		
接触ばっき槽(2) V8																		
沈殿槽 V9								T							C			
計量槽(汚泥沈殿槽行)																		
ろ過原水槽 V10						T									C			
ろ過ポンプA																		
ろ過ポンプB																		
ろ過器															C			
逆洗水槽 V11						T									T			
逆洗ポンプ																	B	
処理水槽 V13						T									T			
消毒槽																		
消毒器																		
処理水移送ポンプA															B			
処理水移送ポンプB																		
ばっ気ブロワA																		
ばっ気ブロワB																		
攪拌ブロワA																B		
攪拌ブロワB																		
貯槽排気ファン																B		
ごみビット汚水処理関連																		
ごみビット汚水受水槽 PT-0-901																		
ごみビット汚水排水ポンプ P-0-901																		
ごみビット汚水排気ファン																		
ごみビット汚水ろ過器 Z-0-901																		
ごみビットろ液貯留槽 TK-0-901																		

- T : 定期点検整備
- C : 更生 (予防) 修理 (補修)
- B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)
- S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(7/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
汚水ろ液噴霧ポンプA P-0-902A																		
汚水ろ液噴霧ポンプB P-0-902B																		
汚水ろ液噴霧ポンプC P-0-902C																		
汚水ろ液噴霧ポンプD P-0-902D																		
汚水ろ液噴霧器 (1号炉)																		
汚水ろ液噴霧器 (2号炉)																		
汚水ろ液噴霧器 (3号炉)																		
圧縮機関連																		
計装用空気圧縮機A CP-0-001A									T	T		T	T	T	T	T	T	
計装用空気圧縮機B CP-0-001B						更			T	T		T	T	T	T	T		
計装用空気だめ TK-0-005													C					
計装用空気除湿機A Z-0-003A																		
計装用空気除湿機B Z-0-003B																		C
計装用空気ラインフィルタ																		T
計装用空気ミストフィルタ																		T
雑用空気圧縮機A CP-0-002A				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
雑用空気圧縮機B CP-0-002B				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
雑用空気だめ TK-0-006													C					
雑用空気除湿機 Z-0-004																		
雑用空気ラインフィルタ																		T
雑用空気ミストフィルタ																		T
排ガス処理用空気圧縮機A CP-0-401A				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
排ガス処理用空気圧縮機B CP-0-401B				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
排ガス処理用空気圧縮機C CP-0-401C				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
排ガス処理用空気圧縮機D CP-0-401D				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
排ガス処理用空気だめ													C					
排ガス用空気除湿機 Z-0-444																		
排ガス処理用空気ラインフィルタ																		T
排ガス処理用空気ミストフィルタ																		T
高圧蒸気だめ関連																		
Nb. 1高圧蒸気だめ D-0-301A														T	T	C		
Nb. 2高圧蒸気だめ D-0-301B														T	T			
低圧蒸気だめ関連																		
低圧蒸気だめ SH-1														B				
建築設備用低圧蒸気溜																		
排気復水タンク/ポンプ関連																		
排気復水タンク TK-0-301																		C
排気復水ポンプA P-0-301A		T		T		T		T		T		T		T		T		
排気復水ポンプB P-0-301B			T		T		T		T		T		T		T			
復水タンク関連																		
Nb. 1復水タンク TK-0-302A																T	B	
Nb. 2復水タンク TK-0-302B													B			T		
脱気器関連																		B
Nb. 1脱気器 Z-0-306A	T	T		T		T		T		T		T		T		T		
Nb. 2脱気器 Z-0-306B	T		T		T		T		T		T		T		T			
脱気器給水ポンプA P-0-302A			T		T		T		T		T		T		T			T
脱気器給水ポンプB P-0-302B				T		T		T		T		T		T		T		
脱気器給水ポンプC P-0-303C					T		T		T		T		B	T		T		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(8/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
蒸気タービン関連																	S	H24安全管理審査
タービン本体		T		T		T		T		T		T		T		T		
車室														T		T		
羽根車心棒、羽根														T		T		
パッキン箱														T		T		
隔板、噴口														T		更		H24：第3段、4段、5段、6段交換
軸受														T		T		
ガバナ														T		T		
主蒸気止め弁														T		T		
ターンバックル																T		
サーボモーター																T		
主蒸気加減弁														T		T		
蒸気シール弁																T		
駆動軸(非常調速機) <b>SNC-631</b>																T		
カップリングカバー																T		
軸継手																T		
ターニング装置 <b>Z-0-541</b>														T		T		
減速装置 <b>GIZ-0-501</b>														T		T		
タービン外衣																T		
タービン台板																T		
タービン発電機																		
タービン発電機 <b>Z-0-502</b>			T		T		T		T		T		T		T	更	T	H24メーカー持ち帰り整備
タービン補機																		
油圧調節弁														T		T		
油温度調節弁														T		更	T	
油タンク <b>TK-0-505</b>													T	T		T		
油冷却器 <b>E-0-542</b>													T	T		T		
油タンクガスバントファン <b>F-0-541</b>														T		T		
油タンクヒータ <b>H-0-541</b>																		
油こし器 <b>ZF-0-541A/B</b>														T		T		
油清浄機 <b>Z-0-542</b>														T		T		
主油ポンプ <b>P-0-541</b>														T		T		
補助油ポンプ <b>P-0-542</b>														T		T		
非常用油ポンプ <b>P-0-543</b>														T		T		
トリップ用電磁弁																T		
グラント蒸気調整器																B		
グラント蒸気復水器 <b>E-0-541</b>													T	T		T	T	
グラント蒸気復水器ファン <b>F-0-542</b>																T		
ドレンセパレータ																T		
ドレンタンク <b>TK-0-506</b>																T		
ドレン回収装置エジェクター																		
駆動水ポンプA <b>P-0-508A</b>																		
駆動水ポンプB <b>P-0-508B</b>															更			
送水ポンプA <b>P-0-509A</b>																		
送水ポンプB <b>P-0-509B</b>																		
起動用エジェクタ				T		T								B				
起動用エジェクタ排気用サイレンサー																		
抽気用エジェクタ (A, B)				T		T										C	B	
抽気用エジェクタコンデンサ <b>E-0-303</b>				T		T		T										
起動盤																		
タービン起動盤																		

T：定期点検整備  
 C：更生（予防）修理（補修）  
 B：緊急事後保全（突発修理），通常事後保全（事後修理）  
 S：法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(9/31) (共通設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
復水器関連																		
タービン排気復水器 E-0-302																	T T	清掃
タービン排気復水器ファンA SIC-0302A	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T		T		
タービン排気復水器ファンB SIC-0302B	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T	C	T		
タービン排気復水器ファンC SIC-0302C	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T	T		T	
タービン排気復水器ファンD SIC-0302D	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T	T		T	
高圧蒸気復水器																	B	
高圧蒸気復水器ファンA SIC-0301A	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T	T	T	T	
高圧蒸気復水器ファンB SIC-0301B	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	T	T	T	T	T	
ボイラ給水関連																		
ボイラ給水ポンプA P-0-303A	T			T				T				T		C	T	T	T	
ボイラ給水ポンプB P-0-303B	T				T				T			T	B	T		T		
ボイラ給水ポンプC P-0-303C		T				T			T				T	T	T		T	
ボイラ給水ポンプD (予備) P-0-303D			T				T			T			T	C		T		
発電プラント配管									T	T		T	T	T	B		T	測定(2年)、PT検査 (適宜)

- T : 定期点検整備
- C : 更生 (予防) 修理 (補修)
- B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)
- S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(10/31) (焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考	
	ごみホッパ																		
ホッパゲート																			
ブリッジ解除装置																			
ホッパシユート															B	更			
給じん装置 Z-1-202										T									
給じん用油圧シリンダ										更									
燃焼装置(ストーカ)																			
火格子 乾燥帯(ゾーン1)																	C		
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)																	C		
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)																	C		
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)																		B	
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)					T									B			B		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)															B	B			
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)																			
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)																			
サイドプレート								T	更									B	
焼却炉本体																			
炉内耐火物				T	T	T	T	T	T	T	T	T					更		
炉駆動用油圧装置 Z-1-203			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T	T	T	
油タンク														T				T	
油冷却器														T		T	T	T	
油圧ポンプA														T				T	
油圧ポンプB																T	T	T	
非常用油圧ポンプ																			
油循環ポンプ																T	T	T	
No.1/バルブスタンド																			
No.2/バルブスタンド																			
No.3/バルブスタンド																			
助燃バーナ																			
助燃バーナA Z-1-205A				T	T		T	T	T	T	T					T	T	T	
助燃バーナB Z-1-205B				T	T		T	T	T	T	T					T	T	T	
尿素水噴霧関連																			
尿素水噴霧器A															B				
尿素水噴霧器B																			
尿素水噴霧器C																			
噴霧ノズル																			
炉内水噴霧装置																			
炉内水噴霧器A																			
炉内水噴霧器B																			
減温塔関連																			
減温塔 T-1-401															B				
減温水噴霧ノズル×3																		C	
リングマニホールド																			
減温塔バーシファン F-1-441																B			
ホッパヒーター H-1-441																			
減温塔下スクリュウコンベヤ CN-1-441															C	B		B	
減温塔下ロータリーバルブ Z-1-441																			
減温塔下ダストコンベヤ CN-1-707								T		T					B				

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(11/31) (焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考	
消石灰/助剤関連																			
消石灰輸送ブロワ F-1-401			T	T													B		
消石灰定量フィーダ Z-1-402																			
助剤定量フィーダ Z-1-403																			
ドライベンチュリ																			
消石灰輸送配管																	B		
バグフィルタ関連																			整備時 4本サンプリング
バグフィルタ BF-1-401	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	H20ろ布全数交換
バグフィルタ入口ダンパ No.1 HV-1403																			
バグフィルタ入口ダンパ No.2 HV-1404													B						
バグフィルタ入口ダンパ No.3 HV-1403																	B		
バグフィルタ入口ダンパ No.4 HV-1404																			
バグフィルタ出口ダンパ HV-1405																			
バグフィルタバイパスダンパ HV-1406					T												B		
温風循環入口ダンパ HV-1408																			
温風循環出口ダンパ HV-1409																			
温風循環置換ダンパ HV-1407																			
温風循環ファン F-1-442														B					
温風循環ヒータ H-1-444-A/B																			
逆洗バルス																	B		
バグフィルタ制御盤																			
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-1-442A																			
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-1-442B																			
バグフィルタ下ロータリーバルブA Z-1-443A																			
バグフィルタ下ロータリーバルブB Z-1-443B																			
1号ボイラ下・輻射部コンベヤ関連																			
ボイラ下ダブルダンパNo.1 XV-1-302														B					
ボイラ下ダブルダンパNo.2 XV-1-303																	B		
ボイラ下ダブルダンパNo.3 XV-1-304																	B		
ボイラ下ダブルダンパNo.4 VV-1-305																			
ボイラ下ダブルダンパNo.5 XV-1-306																			
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-1-705						T		T											
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-1-706					T			T									B		
ダストコンベヤ下ダブルダンパ XV-1-701																			
輻射部ダブルダンパ XV-1-301													B	B					
輻射部下ダストコンベヤ CN-1-301																			
スターカ下落じんコンベヤ CN-1-701													B	B		B	更	H25ケーシング更新	
灰押し機 Z-1-701													C	B		C			
灰押し機用油圧シリンダ				T															
灰出しコンベヤ CN-1-702								T					C	B		B	更	H25ケーシング更新	
振動コンベヤ CN-1-703																B			
磁選機 Z-1-702																			
ボイラ関連														S		S			H25精密点検 (MT検査)
ボイラドラム	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
蒸気消音器																			
保温材																			

- T : 定期点検整備
- C : 更生 (予防) 修理 (補修)
- B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)
- S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(12/31) (焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ水管関連	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
T1 前面水冷壁管 (A部)														T			T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)															T			T
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)															T			T
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)														T	T	T	T	
T2 第1スクリーン壁管 (E部)														T	T	T	T	
T3 第2スクリーン壁管 (F部)														T	T	T	T	
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)														T	T	T	T	
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)															T		T	T
T12 No.1蒸発管 (I部)														T	T	T	T	
T15 過熱器管 (J部)														T	T	T	T	
T13 No.2蒸発管 (K部)														T	T	T	T	
T14 No.3蒸発管 (L部)														T	T	T	T	
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)														T			T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)														T			T	
ボイラ管寄せ関連																T	T	H25精密点検 (MT検査)
H1 前面水冷壁下部管寄せ				T								T			T		T	
H2 前面水冷壁上部管寄せ																		
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ				T						T	T				T		T	
H4 第1スクリーン壁中間部管寄せ																		
H5 第1スクリーン壁上部管寄せ																		
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ							T						T	T		T		
H7 第2スクリーン壁上部管寄せ																		
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ									T						T		T	
H9 放射室天井水冷壁下部管寄せ																		
H10 放射室天井水冷壁上部管寄せ																	T	
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ								T						T				
H12 放射室後面水冷壁中間部管寄せ																		
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	T									T				T				
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ		T									T				T			
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ								T						T			T	
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ									T						T			
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	T										T					T		T
H19 放射室右側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H20 放射室左側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H21 放射室右側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H22 放射室左側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ						T								T	T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ						T									T			
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ							T								T			
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ						T									T			
H27 第1パツフル水冷壁下部管寄せ									T							T		
H28 第1パツフル水冷壁上部管寄せ																		
H29 第2パツフル水冷壁下部管寄せ										T						T		
H30 第2パツフル水冷壁上部管寄せ																		
H31 No.1蒸発管下部管寄せ																		
H32 No.1蒸発管上部管寄せ																		
H33 No.2蒸発管下部管寄せ																		
H34 No.2蒸発管上部管寄せ																		
H35 No.3蒸発管下部管寄せ																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(13/31) (焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ水管関連	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
H 3 6 No.3蒸発管上部管寄せ																		
H 3 7 過熱器入口管寄せ			T								T				T		T	
H 3 8 過熱器出口管寄せ			T								T				T		T	
H 3 9 過熱器下部管寄せ																		
H 4 0 過熱器上部管寄せ																		
H 4 1 No.1エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 2 No.1エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 3 No.2エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 4 No.2エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 5 主蒸気集合管寄せ																		
ボイラ降水管・循環管・戻り管関連																		
P 1 降水管1																		
P 2 降水管2																		
P 2 - E 降水管2エルボ																		
P 3 降水管3																		
P 3 - 1 降水管3-1																		
P 3 - E 降水管3エルボ																		
P 4 降水管4																		
P 4 - T 降水管4ティー																		
P 4 - R 降水管4レジューター																		
P 4 - 1 降水管4-1																		
P 4 - 2 降水管4-2																		
P 4 - 3 降水管4-3																		
P 5 降水管5																		
P 6 再循環管1																		
P 6 - E 再循環管1エルボ																		
P 6 - 1 再循環管1-1																		
P 7 再循環管2																		
P 7 - E 再循環管2エルボ																		
P 8 戻り管1																		
P 8 - R 戻り管1レジューター																		
P 8 - 1 戻り管1-1																		
P 8 - 2 戻り管1-2																		
P 9 戻り管2																		
P 9 - E 戻り管2エルボ																		
P 9 - R 戻り管2レジューター																		
P 9 - 1 戻り管2-1																		
P 9 - 2 戻り管2-2																		
P 1 0 戻り管3																		
P 1 0 - R 戻り管3レジューター																		
P 1 0 - 1 戻り管3-1																		
P 1 0 - 2 戻り管3-2																		
P 1 1 側面管寄せ連絡管																		
P 1 3 No.1蒸気管給水管																		
P 1 4 No.2蒸気管給水管																		
P 1 5 No.3蒸気管給水管																		
P 1 6 テールエンド下部連絡管1																		
P 1 7 テールエンド下部連絡管2,3,4,5																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(14/31)(焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ給水管・蒸気管・過熱器管関連																	
P 1 8 給水管																		
P 1 8 - E 給水管エルボ																		
P 1 8 - T 給水管ティー																		
P 1 8 - R 給水管レジューサー																		
P 1 9 No.1エコノマイザ給水管																		
P 2 0 No.2エコノマイザ給水管																		
P 2 1 給水管																		
P 2 1 - T 給水管ティー																		
P 2 1 - R 給水管レジューサー																		
P 2 2 飽和蒸気管1																		
P 2 3 飽和蒸気管2																		
P 2 3 - E 飽和蒸気管2エルボ																		
P 2 3 - R 飽和蒸気管2レジューサー																		
P 2 4 過熱器連絡管																		
P 2 5 過熱蒸気管1																		
P 2 5 - R 過熱蒸気管1レジューサー																		
P 2 5 - E 過熱蒸気管1エルボ																		
P 2 6 過熱蒸気管2																		
P 2 6 - R 過熱蒸気管2レジューサー																		
P 2 6 - E 過熱蒸気管2エルボ																		
P 2 7 過熱器ドレン管																		
P 2 7 - T 過熱器ドレン管ティー																		
P 2 8 No.1エコノマイザドレン管																		
P 2 8 - T No.1エコノマイザドレン管ティー																		
P 2 9 No.2エコノマイザドレン管																		
P 2 9 - T No.2エコノマイザドレン管ティー																		
ボイラ槌打装置	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	T	自主点検
ボイラ槌打装置A Z-1-306A																		
ボイラ槌打装置B Z-1-306B																	B	
ボイラ槌打装置C Z-1-306C																		
ボイラ槌打装置D Z-1-306D																		
ボイラ槌打装置E Z-1-306E																	B	
ボイラ減温器																		
送風機/予熱器関連																		
シール用送風機 F-1-603	T																	
白煙抑制用送風機 F-1-501	T												C					
白煙抑制用空気予熱器 E-1-501		T		T	T	T	T		T	T								
一次押込送風機 F-1-601	T				T			T	T				T					
一次空気予熱器 E-1-601	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T						
二次押込送風機 F-1-602	T				T			T	T		T						B	
二次空気予熱器 E-1-602	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T						
誘引通風機 F-1-604	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			T	T	T	
排ガス分析計	T		T	T	T	T	T	T	T	T		T			T	T		
塩化水素分析装置(HCL計) HCLCR-1603															T	T	T	T
磁気式酸素濃度計(HCL計)															T			
ばいじん計(HCL計) XDR-1603															T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 NOXCR-1602															T	T	T	T
ボイラ出口酸素濃度計																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 ( 予防 ) 修理 ( 補修 )  
 B : 緊急事後保全 ( 突発修理 ) , 通常事後保全 ( 事後修理 )  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(15/31) (焼却設備 1 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
煙突・煙道風道関連																		
煙突														C	B			清掃
風道																		
煙道																		

T : 定期点検整備

C : 更生 (予防) 修理 (補修)

B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)

S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(16/31) (焼却設備 2号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ごみホッパ																	
ホッパゲート																		
ブリッジ解除装置																		
ホッパシュート													B	T		B		
給じん装置 Z-2-202																		
給じん用油圧シリンダ										更								
燃焼装置(ストーカ)																	B	
火格子 乾燥帯(ゾーン1)																B		
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)														C				
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)																B		
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)																		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)					T									B		B		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)														B		B		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)														B		B		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)																		
サイドプレート			T		T	T	T		T					B	T			
焼却炉本体																		
炉内耐火物(補修)				T	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T		C	更	H25上部水冷壁肉盛
炉駆動用油圧装置 Z-2-203			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B				
油タンク														T				T
油冷却器														T		T		T
油圧ポンプA														T				T
油圧ポンプB																T		T
非常用油圧ポンプ																		
油循環ポンプ																T	C	T
No.1バルブスタンド																		
No.2バルブスタンド																		
No.3バルブスタンド																		
助燃バーナ																		
助燃バーナA Z-2-205A			T		T			T	T	T	T	T	T	T		T		T
助燃バーナB Z-2-205B			T		T			T	T	T	T	T	T	T		T	B	T
尿素水噴霧関連															B			
尿素水噴霧器A																		
尿素水噴霧器B																		B
尿素水噴霧器C																		B
噴霧ノズル															B			
炉内水噴霧関連																		
炉内水噴霧装置A																		
炉内水噴霧装置B																		
減温塔関連																		
減温塔 T-2-401																		
減温水噴霧ノズル×3																		
リングマニホールド																		
減温塔バースイッチ F-2-441																		
ホッパーヒーター H-2-441																		
2号減温塔下スクリュウコンベヤ CN-2-441																		
2号減温塔下ロータリーバルブ Z-2-441																		
2号減温塔下ダストコンベヤ CN-2-707										T							B	

T : 定期点検整備  
 C : 更生(予防)修理(補修)  
 B : 緊急事後保全(突発修理), 通常事後保全(事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(17/31) (焼却設備 2 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	消石灰/助剤関連																	
消石灰輸送ブロワ B F-2-401			T	T												B		
消石灰定量フィーダ Z-2-402														B				
助剤定量フィーダ Z-2-403																		
ドライベンチュリ																		
消石灰輸送配管																		
バグフィルタ関連																		整備時 4本サンプリング
バグフィルタ BF-2-401	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
バグフィルタ入口ダンパ No.1 HV-2403					T								B					
バグフィルタ入口ダンパ No.2 HV-2404					T											B		
バグフィルタ入口ダンパ No.3 HV-2403					T													
バグフィルタ入口ダンパ No.4 HV-2404					T													
バグフィルタ出口ダンパ HV-2405																		
バグフィルタバイパスダンパ HV-2406																		
温風循環入口ダンパ HV-2408																		
温風循環出口ダンパ HV-2409																		
温風循環置換ダンパ HV-2407																		
温風循環ヒータ H-2-444-A/B																		
温風循環ファン F-2-442																		
逆洗バルス																	B	
バグフィルタ制御盤																	B	
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-2-442A																		
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-2-442B																		
バグフィルタ下ロータリーバルブA Z-2-443A																		
バグフィルタ下ロータリーバルブB Z-2-443B																		
ボイラ下・輻射部関連																		
ボイラ下ダブルダンパNo.1 XV-2-302																	B	
ボイラ下ダブルダンパNo.2 XV-2-303																		
ボイラ下ダブルダンパNo.3 XV-2-304																		
ボイラ下ダブルダンパNo.4 XV-2-305																	B	
ボイラ下ダブルダンパNo.5 XV-2-306																		
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-2-705					T	T	T											
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-2-706					T	T	T										B	
ダストコンベヤ下ダブルダンパ XV-2-701																		
輻射部ダブルダンパ XV-2-301															B			
輻射部下ダストコンベヤ CN-2-301																		
スターカ下落じんコンベヤ CN-2-701								T						B				H28ケーシング更新
灰押出機 Z-2-701													C	C		B		
灰押出機用油圧シリンダ					T													
灰出しコンベヤ CN-2-702								T					B	C		B	B	H28ケーシング更新
振動コンベヤ CN-2-703														B				
磁選機 Z-2-702																		
ボイラ関連														S		S		H26精密点検 (MT検査)
ボイラドラム	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
蒸気消音器																		
保温材																		更

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(18/31) (焼却設備 2 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ水管関連	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	
T1 前面水冷壁管 (A部)															T	T	T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)															T	T	T	
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)															T	T	T	
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)															T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)															T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)															T	T	T	T
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)															T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)															T	T	T	
T12 No.1蒸発管 (I部)															T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)															T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)															T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)															T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)															T			
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)															T			
ボイラ管寄せ関連																T	T	H26精密点検 (MT検査)
H1 前面水冷壁下部管寄せ				T								T			T		T	
H2 前面水冷壁上部管寄せ																		
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ				T							T	T			T		T	
H4 第1スクリーン壁中間部管寄せ																		
H5 第1スクリーン壁上部管寄せ																		
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ							T						T	T		T		
H7 第2スクリーン壁上部管寄せ																		
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ									T						T		T	
H9 放射室天井水冷壁下部管寄せ																		
H10 放射室天井水冷壁上部管寄せ																	T	
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ								T							T			
H12 放射室後面水冷壁中間部管寄せ																		
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	T										T				T			
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ		T									T				T			
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ								T						T			T	
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ									T						T			
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	T										T					T	T	
H19 放射室右側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H20 放射室左側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H21 放射室右側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H22 放射室左側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ						T								T	T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ					T									T				
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ						T								T				
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ					T									T				
H27 第1パッフル水冷壁下部管寄せ								T							T			
H28 第1パッフル水冷壁上部管寄せ																		
H29 第2パッフル水冷壁下部管寄せ									T						T			
H30 第2パッフル水冷壁上部管寄せ																		
H31 No.1蒸発管下部管寄せ																		
H32 No.1蒸発管上部管寄せ																		
H33 No.2蒸発管下部管寄せ																		
H34 No.2蒸発管上部管寄せ																		
H35 No.3蒸発管下部管寄せ																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(19/31) (焼却設備 2 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	H 3 6 No.3蒸気管上部管寄せ																	
H 3 7 過熱器入口管寄せ			T								T				T		T	
H 3 8 過熱器出口管寄せ			T								T				T		T	
H 3 9 過熱器下部管寄せ																		
H 4 0 過熱器上部管寄せ																		
H 4 1 No.1エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 2 No.1エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 3 No.2エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 4 No.2エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 5 主蒸気集合管寄せ																		
ボイラ降水管・循環管・戻り管関連																		
P 1 降水管1																		
P 2 降水管2																		
P 2 - E 降水管2エルボ																		
P 3 降水管3																		
P 3 - 1 降水管3-1																		
P 3 - E 降水管3エルボ																		
P 4 降水管4																		
P 4 - T 降水管4ティー																		
P 4 - R 降水管4レジューター																		
P 4 - 1 降水管4-1																		
P 4 - 2 降水管4-2																		
P 4 - 3 降水管4-3																		
P 5 降水管5																		
P 6 再循環管1																		
P 6 - E 再循環管1エルボ																		
P 6 - 1 再循環管1-1																		
P 7 再循環管2																		
P 7 - E 再循環管2エルボ																		
P 8 戻り管1																		
P 8 - R 戻り管1レジューター																		
P 8 - 1 戻り管1-1																		
P 8 - 2 戻り管1-2																		
P 9 戻り管2																		
P 9 - E 戻り管2エルボ																		
P 9 - R 戻り管2レジューター																		
P 9 - 1 戻り管2-1																		
P 9 - 2 戻り管2-2																		
P 10 戻り管3																		
P 10 - R 戻り管3レジューター																		
P 10 - 1 戻り管3-1																		
P 10 - 2 戻り管3-2																		
P 11 側面管寄せ連絡管																		
P 13 No.1蒸気管給水管																		
P 14 No.2蒸気管給水管																		
P 15 No.3蒸気管給水管																		
P 16 テールエンド下部連絡管1																		
P 17 テールエンド下部連絡管2,3,4,5																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(20/31) (焼却設備 2 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ給水管・蒸気管・過熱器管関連																	
P 1 8 給水管																		
P 1 8 - E 給水管エルボ																		
P 1 8 - T 給水管ティー																		
P 1 8 - R 給水管レギュラー																		
P 1 9 No.1エコノマイザ給水管																		
P 2 0 No.2エコノマイザ給水管																		
P 2 1 給水管																		
P 2 1 - T 給水管ティー																		
P 2 1 - R 給水管レギュラー																		
P 2 2 飽和蒸気管1																		
P 2 3 飽和蒸気管2																		
P 2 3 - E 飽和蒸気管2エルボ																		
P 2 3 - R 飽和蒸気管2レギュラー																		
P 2 4 過熱器連絡管																		
P 2 5 過熱蒸気管1																		
P 2 5 - R 過熱蒸気管1レギュラー																		
P 2 5 - E 過熱蒸気管1エルボ																		
P 2 6 過熱蒸気管2																		
P 2 6 - R 過熱蒸気管2レギュラー																		
P 2 6 - E 過熱蒸気管2エルボ																		
P 2 7 過熱器ドレン管																		
P 2 7 - T 過熱器ドレン管ティー																		
P 2 8 No.1エコノマイザドレン管																		
P 2 8 - T No.1エコノマイザドレン管ティー																		
P 2 9 No.2エコノマイザドレン管																		
P 2 9 - T No.2エコノマイザドレン管ティー																		
ボイラ樋打装置	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			T	T	T	自主点検
ボイラ樋打装置A Z-2-306A														B				
ボイラ樋打装置B Z-2-306B																		
ボイラ樋打装置C Z-2-306C																B		
ボイラ樋打装置D Z-2-306D																B		
ボイラ樋打装置E Z-2-306E																		
ボイラ減温器																		
送風機/予熱器関連																		
シール用送風機 F-2-603	T																	
白煙抑制用送風機 F-2-501	T												C					
白煙抑制用空気予熱器 E-2-501		T		T	T	T	T		T	T								
一次押込送風機 F-2-601	T			T			T	T				T				B		
一次空気予熱器 E-2-601	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T				B	B	
二次押込送風機 F-2-602	T			T			T	T			T	T						
二次押込空気予熱器 E-2-602	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T				B		
誘引通風機 F-2-604	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	C		T	T	T	
排ガス分析計	T		T	T	T	T	T	T	T	T						T		
塩化水素分析装置(HCL計) HCLCR-2603													T	T	T	T	T	
磁気式酸素濃度計(HCL計)													T					
ばいじん計(HCL計) XDR-2603													T	T	T	T	T	
NOx,SO2,CO 分析装置 NOXCR-2602													T	T	T	T	T	
ボイラ出口酸素濃度計																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(21/31) (焼却設備 2 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
煙突・煙道・風道関連																		
煙突														C				
風道																		
煙道																		

T : 定期点検整備

C : 更生 (予防) 修理 (補修)

B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)

S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(22/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ごみホッパ																	
ホッパゲート																		
ブリッジ解除装置																B		
ホッパシユート													B	B				
給じん装置 Z-3-202																		
給じん用シリンダ				T														
燃焼装置(ストーカ)																		
火格子 乾燥帯(ゾーン1)															B	B	B	
火格子 燃焼帯 1(ゾーン2)																	B	
火格子 燃焼帯 2(ゾーン3)															B		B	
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)																		
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)				T										B				
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯 1(ゾーン2)				T									B	B				
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯 2(ゾーン3)				T										B	B			
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)				T										B	B			
サイドプレート													T		C			
焼却炉本体																		
炉内耐火物				T	T	T	T	T				T			B	更		H24上部水冷壁肉盛
炉駆動用油圧装置 Z-3-203			T	T	T	T	T	T	T	T	T					C		
油タンク																		
油冷却器															T	T		
油圧ポンプA															T			
油圧ポンプB															T			
非常用油圧ポンプ																		
油循環ポンプ															T			
No.1バルブスタンド																		
No.2バルブスタンド																		
No.3バルブスタンド																		
助燃バーナ																		
助燃バーナA Z-3-205A			T	T			T	T	T						T			
助燃バーナB Z-3-205B			T	T			T	T	T						T			
尿素水噴霧装置														B				
尿素水噴霧器A																		
尿素水噴霧器B																		
尿素水噴霧器C																		
噴霧ノズル																		
炉内水噴霧装置																		
炉内水噴霧装置A																		
炉内水噴霧装置B																		
減温塔関連																		
減温塔 T-3-401																		
減温水噴霧ノズル×3																C		
リングマニホールド																		
減温塔パーシファン F-3-441																		
ホッパヒーター H-3-441																		
減温塔下スクリーコンベヤ CN-3-441																B		
減温塔下ロータリーバルブ Z-3-441																		
減温塔下ダストコンベヤ CN-3-707									T									

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(23/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	消石灰/助剤関連																	
消石灰輸送ブロワ C F-3-401			T	T												B		
消石灰定量フィーダ Z-3-402																		
助剤定量フィーダ Z-3-403																		
ドライベンチュリ																		
消石灰輸送配管														B	B			
バグフィルタ関連																		整備時 4本サンプリング
バグフィルタ BF-3-401	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	H20全数交換
バグフィルタ入口ダンパ No.1 HV-3403					T													
バグフィルタ入口ダンパ No.2 HV-3404					T													
バグフィルタ入口ダンパ No.3 HV-3403					T													
バグフィルタ入口ダンパ No.4 HV-3404					T													
バグフィルタ出口ダンパ HV-3405																		
バグフィルタバイパスダンパ HV-3406					T									C		B		
温風循環入口ダンパ HV-3408																B		
温風循環出口ダンパ HV-3409																B		
温風循環置換ダンパ HV-3407																		
温風循環ヒータ H-3-444-A/B																		
温風循環ファン																		
逆洗バルス																B		
バグフィルタ制御盤																		
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-3-442A																		
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-3-442B																		
バグフィルタ下ロータリーバルブA Z-3-443A																		
バグフィルタ下ロータリーバルブB Z-3-443B																		
ボイラ下・輻射部関連																		
ボイラ下ダブルダンパNo.1 XV-3-302																		
ボイラ下ダブルダンパNo.2 XV-3-303																		
ボイラ下ダブルダンパNo.3 XV-3-304																		
ボイラ下ダブルダンパNo.4 VV-3-305																		
ボイラ下ダブルダンパNo.5 XV-3-306																B	B	
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-3-705					T				T									
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-3-706								T								B		
ダストコンベヤ下ダブルダンパ XV-3-701																		
輻射部ダブルダンパ XV-3-301															B			
輻射部下ダストコンベヤ CN-3-301																		
スターカ下落じんコンベヤ CN-3-701									T						B	B	B	H27ケーシング更新
灰押出機 Z-3-701														C	B	B		
灰押出機用油圧シリンダ				T											B			
灰出しコンベヤ CN-3-702								T							B	B		H27ケーシング更新
振動コンベヤ CN-3-703															B	B		
磁選機 Z-3-702																		
ボイラ関連														S	S	S		H27精密点検 (MT検査)
ボイラドラム	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
蒸気消音器																		
保温材																		更

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(24/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ水管	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	
T1 前面水冷壁 (A部)																T	T	更
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)																T	T	更
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)																T	T	更
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)															T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)															T	T	T	
T3 第2スクリーン壁管 (F部)															T	T	T	
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)															T	T	T	
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)															T	T	T	
T12 No.1蒸発管 (I部)															T	T	T	
T15 過熱器管 (J部)															T	T	T	
T13 No.2蒸発管 (K部)															T	T	T	
T14 No.3蒸発管 (L部)															T	T	T	
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)															T	T	T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)															T	T	T	
ボイラ管寄せ																T	T	H27精密点検 (MT検査)
H1 前面水冷壁下部管寄せ					T											T	T	
H2 前面水冷壁上部管寄せ																		
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ					T						T	T				T	T	
H4 第1スクリーン壁中間部管寄せ																		
H5 第1スクリーン壁上部管寄せ																		
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ								T								T	T	
H7 第2スクリーン壁上部管寄せ																		
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ									T							T	T	
H9 放射室天井水冷壁下部管寄せ																		
H10 放射室天井水冷壁上部管寄せ																	T	
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ									T							T		
H12 放射室後面水冷壁中間部管寄せ																		
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	T										T					T		
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ		T									T					T		
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ								T								T	T	
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ									T							T		
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	T															T	T	
H19 放射室右側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H20 放射室左側面水冷壁No.2上部管寄せ																		
H21 放射室右側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H22 放射室左側面水冷壁No.3上部管寄せ																		
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ						T										T	T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ						T											T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ							T										T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ						T											T	
H27 第1パッフル水冷壁下部管寄せ									T								T	
H28 第1パッフル水冷壁上部管寄せ																		
H29 第2パッフル水冷壁下部管寄せ										T							T	
H30 第2パッフル水冷壁上部管寄せ																		
H31 No.1蒸発管下部管寄せ																		
H32 No.1蒸発管上部管寄せ																		
H33 No.2蒸発管下部管寄せ																		
H34 No.2蒸発管上部管寄せ																		
H35 No.3蒸発管下部管寄せ																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(25/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	H 3 6 No.3蒸気管上部管寄せ																	
H 3 7 過熱器入口			T								T				T		T	
H 3 8 過熱器出口			T								T				T		T	
H 3 9 過熱器下部管寄せ																		
H 4 0 過熱器上部管寄せ																		
H 4 1 No.1エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 2 No.1エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 3 No.2エコノマイザ下部管寄せ																		
H 4 4 No.2エコノマイザ上部管寄せ																		
H 4 5 主蒸気集合管寄せ																		
ボイラ降水管・循環管・戻り管関連																		
P 1 降水管1																		
P 2 降水管2																		
P 2 - E 降水管2エルボ																		
P 3 降水管3																		
P 3 - 1 降水管3-1																		
P 3 - E 降水管3エルボ																		
P 4 降水管4																		
P 4 - T 降水管4ティー																		
P 4 - R 降水管4レジューター																		
P 4 - 1 降水管4-1																		
P 4 - 2 降水管4-2																		
P 4 - 3 降水管4-3																		
P 5 降水管5																		
P 6 再循環管1																		
P 6 - E 再循環管1エルボ																		
P 6 - 1 再循環管1-1																		
P 7 再循環管2																		
P 7 - E 再循環管2エルボ																		
P 8 戻り管1																		
P 8 - R 戻り管1レジューター																		
P 8 - 1 戻り管1-1																		
P 8 - 2 戻り管1-2																		
P 9 戻り管2																		
P 9 - E 戻り管2エルボ																		
P 9 - R 戻り管2レジューター																		
P 9 - 1 戻り管2-1																		
P 9 - 2 戻り管2-2																		
P 10 戻り管3																		
P 10 - R 戻り管3レジューター																		
P 10 - 1 戻り管3-1																		
P 10 - 2 戻り管3-2																		
P 11 側面管寄せ連絡管																		
P 13 No.1蒸気管給水管																		
P 14 No.2蒸気管給水管																		
P 15 No.3蒸気管給水管																		
P 16 テールエンド下部連絡管1																		
P 17 テールエンド下部連絡管2,3,4,5																		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(26/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	ボイラ給水管・蒸気管・過熱器管																	
P 1 8 給水管																		
P 1 8 - E 給水管エルボ																		
P 1 8 - T 給水管ティー																		
P 1 8 - R 給水管レギュラー																		
P 1 9 No.1エコノマイザ給水管																		
P 2 0 No.2エコノマイザ給水管																		
P 2 1 給水管																		
P 2 1 - T 給水管ティー																		
P 2 1 - R 給水管レギュラー																		
P 2 2 飽和蒸気管1																		
P 2 3 飽和蒸気管2																		
P 2 3 - E 飽和蒸気管2エルボ																		
P 2 3 - R 飽和蒸気管2レギュラー																		
P 2 4 過熱器連絡管																		
P 2 5 過熱蒸気管1																		
P 2 5 - R 過熱蒸気管1レギュラー																		
P 2 5 - E 過熱蒸気管1エルボ																		
P 2 6 過熱蒸気管2																		
P 2 6 - R 過熱蒸気管2レギュラー																		
P 2 6 - E 過熱蒸気管2エルボ																		
P 2 7 過熱器ドレン管																		
P 2 7 - T 過熱器ドレン管ティー																		
P 2 8 No.1エコノマイザドレン管																		
P 2 8 - T No.1エコノマイザドレン管ティー																		
P 2 9 No.2エコノマイザドレン管																		
P 2 9 - T No.2エコノマイザドレン管ティー																		
ボイラ樋打装置	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	B	T	T	T	自主点検
ボイラ樋打装置A Z-3-306A																	B	
ボイラ樋打装置B Z-3-306B																B		
ボイラ樋打装置C Z-3-306C																B		
ボイラ樋打装置D Z-3-306D																		
ボイラ樋打装置E Z-3-306E																B		
ボイラ減温器																		
送風機/予熱器関連																		
シール用送風機 F-3-603																		
白煙抑制用送風機 F-3-501	T													C				
白煙抑制用空気予熱器 E-3-501		T		T	T	T	T		T	T								
一次押込送風機 F-3-601	T			T			T	T								B		
一次押込空気予熱器 E-3-601	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T					B	B	
二次押込送風機 F-3-602	T			T			T	T		T								
二次押込空気予熱器 E-3-602	T	T		T	T	T	T	T	T	T	T							
誘引通風機 F-3-604	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	
排ガス分析計	T		T	T	T	T	T	T	T	T						T		
塩化水素分析装置(HCL計) HCLCR-3603															T	T	T	T
磁気式酸素濃度計(HCL計)																		
ばいじん計(HCL計) XDR-3603															T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 NOXCR-3602															T	T	T	T
ボイラ出口酸素濃度計																B		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 ( 予防 ) 修理 ( 補修 )  
 B : 緊急事後保全 ( 突発修理 ) , 通常事後保全 ( 事後修理 )  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(27/31) (焼却設備 3 号炉)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
煙突・煙道・風道																		
煙突																		
風道																		
煙道																		

T : 定期点検整備

C : 更生 (予防) 修理 (補修)

B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)

S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(28/31) (電気設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
受電設備																		
C-GIS	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
接地設備																		
特別高圧変圧器	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
配電設備																		
200-100V非常用配電盤			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
400V非常用配電盤			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
非常用予備発電装置切替盤			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
400V三相1500 k VA変圧器(No.1, No.2)			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
400V三相低圧主幹盤(No.1, No.2)			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
400V三相低圧配電盤(No.1, No.2)			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
400V母線連絡盤			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
200V三相低圧配電盤			T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
単相配電盤			T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
保安回路用分岐盤										T						T		
単相フィルタ盤			T				T	T	T		T					T		
三相フィルタ盤			T				T	T	T		T					T		
電力監視設備																		
電力監視盤(1)(2)(3)	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
特高変圧器二次盤	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
き電盤(No.1~No.5)			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
コンデンサ盤(No.1~No.4)	T			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
発電機盤																		
受電盤			T	T	T	T										C	C	
アクティブフィルタ盤(No.1, No.2, No.3)				T	T	T				T		T	B	T	T	T	T	
非常用発電装置 (ディーゼル発電機)				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
オイルサービスタンク <b>Ost-1</b>																		
非常用発電機 (防災用)																	更	H24電源部改修
無停電電源装置					T	T	T		T		T		T	T	C	C		
直流電源装置	T		T	T	T	T	T		T	T	T	T	T			C	C	
自家用発電設備																		C
発電機制御盤				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
サージアブソーバ盤				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
発電機遮断器盤				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
タービン発電機監視盤				T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
補機動力盤																		
各炉用補機動力制御盤 (MCC1,2,3)					T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
共通補機動力制御盤 (MCC4,5,6)					T	T	T	T	T	T		T	T	T	T	T	T	
非常電源系プラント補機動力制御盤 (EMCC1)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
非常電源系ボイラ補機動力制御盤 (EMCC2)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
200Vプラント補機動力制御盤 (LMCC)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
インバータ																		
高圧蒸気復水器ファンインバータユニット (F0341A,B)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
タービン排気蒸気復水器ファンインバータユニット(F0342A~D)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
一次押込送風機インバータユニット(F1601,F2601,F3601)					T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理), 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(29/31) (電気設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
	誘引通風機VVVF盤(1号,2号,3号)			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
クレーン動力設備																		
NO,1ごみクレーン横・走行制御盤							T			T	T		T				T	
NO,1ごみクレーン巻上制御盤							T			T	T		T				T	
NO,1ごみクレーン電源回生盤							T				T		T				T	
NO,1ごみクレーン共用保護盤							T				T		T				T	
NO,1ごみクレーン自動制御盤							T				T		T				T	
NO,1ごみクレーン横行用インバータ								T					T				T	
NO,1ごみクレーン走行用インバータ								T					T				T	
NO,1ごみクレーン巻上用インバータ								T					T				T	
NO.1ごみクレーン用PWMコンバータ								T					T				T	
NO.1ごみクレーン用操作盤																	T	
NO,2ごみクレーン横・走行制御盤													T		T		T	
NO,2ごみクレーン巻上制御盤													T		T		T	
NO,2ごみクレーン電源回生盤													T		T		T	
NO,2ごみクレーン共用保護盤													T		T		T	
NO,2ごみクレーン自動制御盤													T		T		T	
NO,2ごみクレーン横行用インバータ									T						T		T	
NO,2ごみクレーン走行用インバータ									T						T		T	
NO,2ごみクレーン巻上用インバータ									T						T		T	
NO.2ごみクレーン用PWMコンバータ									T						T		T	
NO.2ごみクレーン用操作盤																	T	
灰クレーン巻上・走行自動制御盤							T				T		T				更	
灰クレーン電源回生盤							T				T		T				更	
灰クレーン用PWMコンバータ									T				T				更	
灰クレーン巻上用インバータ									T				T				更	
灰クレーン走行用インバータ									T				T				更	
DCS																	C	
CRTディスプレイ	T		T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T		
メッセージ用プリンタ	T																	
プリンタ収納盤	T																	
ハードコピー装置	T												T					
IES-2500	T																	
保護継電器	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
電気設備総合試験	T		T	T	T	T	T	T	T	T			T	T	T	T	T	
コーナ盤(1)(2)																		
電話盤																		
警報表示盤																		
インテグレートドオペレータステーション	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
インテグレートドデータベースステーション	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
インテグレートドコントロールステーション																	T	C
共通用インテグレートドコントロールステーション	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
電力用インテグレートドコントロールステーション	T		T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	
1号炉用インテグレートドコントロールステーション			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T					C	
2号炉用インテグレートドコントロールステーション			T	T	T	T	T	T	T	T	T	T					C	
3号炉用インテグレートドコントロールステーション			T	T	T	T	T	T	T	T	T					T		
1号炉用リモートI/O盤													T	T	T		C	
2号炉用リモートI/O盤													T	T	T		C	
3号炉用リモートI/O盤													T	T		T		

T : 定期点検整備  
 C : 更生 (予防) 修理 (補修)  
 B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)  
 S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(30/31) (電気設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考
シーケンサ盤																	T	
共通シーケンサ盤	T		T												T	T	T	
電力用シーケンサ盤	T		T												T	T	T	
1号炉用シーケンサ盤	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	
2号炉用シーケンサ盤	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T	T
3号炉用シーケンサ盤	T		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T				T		
計装分電盤																		
共通用分電盤	T		T			T		T										
電力用計装分電盤			T															
1号炉用計装分電盤			T	T														
2号炉用計装分電盤			T	T														
3号炉用計装分電盤			T	T														
計装用分電盤 配線用遮断機	T																	
データロカ装置	T			T	T	T	T						T					
感震計																		
現場操作盤																		
計装付常設備																		
中央監視盤	T																	
公害監視盤	T																	
監視用ITV装置																		
高精細映像システム																		
自動燃焼制御装置																		
1号炉自動燃焼制御装置						T												
2号炉自動燃焼制御装置						T												
3号炉自動燃焼制御装置																		

- T : 定期点検整備
- C : 更生 (予防) 修理 (補修)
- B : 緊急事後保全 (突発修理) , 通常事後保全 (事後修理)
- S : 法定検査

表 2-4 設備・機器の維持補修履歴(31/31) (建設設備)

機器名	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	備考	
	遠隔操作放水銃設備														T	T	T		T
No.1放水銃															B				
No.2放水銃														B					
水源																			
加圧送水装置																			
配管																			
屋内消火栓箱																			
耐震措置																			
機器搬入用ホイス設備関連																			
炉室用電動ホイス(北)																			
炉室用電動ホイス(南)																			
バグフィルター用電動ホイス															B	B			
工作室用電動ホイス																			
非常用発電機室用電動ホイス																			
有害ガス除去装置用ホイス																			
メンテナンス通路用ホイス																			
タービン用ホイス		T		T															
脱臭装置用ホイス																			
床排水ピット・排水ポンプ関連																			
湧水ピット(排水処理室) PD-1-1																			
湧水ピット(ポンプ室) PD-1-2															B				
湧水ピット(電気カレバート) PD-2																			
タービン発電機室排水ピット PD-4-1																			
洗車場排水ピット PD-4-2																			
煙突排水ピット PD-4-3																			
プラットホーム排水ピット PD-5																			
灰押出機室排水ピット PD-6-1															T				
灰押出機室排水ピット PD-6-2															T				
灰押出機室排水ピット PD-6-3															T	B			
灰押出機室排水ピット PD-6-4															T				
灰押出機室排水ピット PD-6-5															T				
灰押出機排水ピット(1号~2号)															T	T			
灰押出機排水ピット(2号~3号)															T	T			
灰搬出室排水ピット														C	B				

- T : 定期点検整備
- C : 更生(予防)修理(補修)
- B : 緊急事後保全(突発修理), 通常事後保全(事後修理)
- S : 法定検査

### 3. 施設保全計画

廃棄物処理施設は、多種多様な設備・機器から構成されており、設備・機器の点検箇所が多く、維持管理データの収集管理にも高度な技術を必要とする。効果的に施設の保全管理を行うために、構成する設備・機器の重要性を検証して重要とする主要設備・機器を選定し、これら主要設備・機器を中心に保全計画を立案する。

#### (1) 設備・機器の重要度検討

主要設備・機器の選定を行うにあたり、本施設を構成する設備・機器のリスト化を行うため、各設備・機器についての重要性を安定運転(信頼面)、環境面、安全面、保全面、コスト面の5つの評価要素から個別に評価し、総合評価によって本施設における主要設備・機器を選定する。

表 3-1 各設備・機器の評価要素と指標

評価要素	故障等によって生じる影響	指 標
安定運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転不能や精度、能力、機能低下等によって施設運転停止</li> <li>・ 施設を即停止し、補修等の完了まで施設運転停止</li> </ul> 注) 性能を確保できないための停止を含む。予備機で対応できる場合などは影響が小さいものとする。	影響が少ない [記号：一]  影響が大きい [記号：◎]
環境面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 騒音、振動、悪臭に周辺環境の悪化</li> <li>・ 薬品、重油、汚水、廃棄物の漏洩等による周辺環境の汚染</li> <li>・ 白煙防止等の周辺住民との協定事項に関する弊害</li> </ul> 注) 排ガスの影響は、施設の正常運転により担保されるため対象としない。	
安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人身災害の発生、安全性の低下</li> </ul> (酸欠、硫化水素、オゾン、薬品、爆発、高温、感電等)	
保全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補修等を行うために、一時的に全稼働停止や受入休止が必要</li> <li>・ 運転不能によって及ぼす施設運転への影響</li> <li>・ 部品の調達に長時間が必要、又は調達が困難</li> </ul> 注) 部品を調達して修繕が完了するまでに長時間(半年間を目安)を要しても、対応できる場合は影響が小さいものとする。	
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補修等に多大な経費が必要</li> </ul>	

注) 主要設備・機器の選定のため、コンクリート製の水槽、ダクト類は評価項目から除外している

表 3-2 総合評価の評価方法

重要度	記 号	総合評価方法	主要設備・機器の選定
重要度【大】	A	記号：◎(影響が大きい)が2個以上	選 定
重要度【中】	B	記号：◎(影響が大きい)が1個であるが、安定運転及び保全面で影響の大きい設備・機器	
		C	記号：◎(影響が大きい)が1個
重要度【小】	D	記号：◎(影響が大きい)が無し	

表 3-3 設備・機器の重要度評価(1/4)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	評価要素					総合評価
				安定運転	環境面	安全面	保全面	コスト	
受入供給設備	ごみ計量機	2基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	プラットホーム	1基	共通	—	◎	—	—	◎	B
	ごみ投入扉	6基	共通	—	—	—	—	—	D
	ダンピングボックス	1基	共通	—	—	◎	—	—	C
	ごみ投入扉・ダンピングボックス用油圧ユニット	1台	共通	—	—	◎	—	—	C
	ごみピット	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	ごみクレーン	2基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	可燃性粗大ごみ切断機	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	防臭剤噴霧装置	1式	共通	—	◎	—	—	—	C
	防虫剤噴霧装置	1式	共通	—	◎	—	—	—	C
	脱臭装置	1式	共通	—	◎	—	—	—	C
燃焼設備	ごみホッパ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	給じん装置	3基	各炉	◎	—	◎	◎	◎	A
	燃焼装置	3基	各炉	◎	◎	◎	◎	◎	A
	焼却炉本体	3炉	各炉	◎	◎	◎	◎	◎	A
	炉駆動用油圧装置	1式	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	燃料貯留槽	1基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	送油ポンプ	2基	共通	◎	◎	—	—	—	B
	助燃バーナ	6基 (1炉につき2基)	各炉	◎	◎	—	—	—	B
	燃焼ガス冷却設備	ボイラ	3基	各炉	◎	—	—	◎	◎
ブロータンク		2基	共通	—	—	—	—	◎	C
高圧蒸気だめ		2基	共通	◎	—	—	◎	—	A
低圧蒸気だめ		1基	共通	◎	—	—	◎	—	A
高圧蒸気復水器		1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
タービン排気復水器		1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
復水タンク		2基	共通	—	—	—	—	◎	C
排気復水タンク		1基	共通	—	—	—	—	◎	C
脱気器給水ポンプ		3台	共通	—	—	—	◎	—	B
脱気器		2基	共通	◎	—	—	◎	◎	A
ボイラ給水ポンプ		4台	各炉	—	—	—	◎	—	B
純水装置		1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
純水移送ポンプ		2台	共通	—	—	—	◎	—	B
薬液注入装置		1式	共通	—	—	—	◎	—	B
排ガス処理設備	尿素水貯槽	1基	共通	—	◎	◎	◎	◎	A
	尿素水注入ポンプ	4台	各炉	—	—	—	◎	—	B
	尿素噴霧装置	3炉分(1炉あたり3本)	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	減温水槽	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	減温水ポンプ	4台 (内予備1台)	各炉	—	—	—	◎	—	B
	排ガス処理用空気圧縮機	4台 (内予備1台)	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	減温塔	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	バージファン	3台	各炉	◎	—	—	◎	—	A
	消石灰貯留槽	1基	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	消石灰定量供給装置	1台	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	助剤貯留槽	1基	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	助剤定量供給装置	1台	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	砂供給装置	3基	各炉	—	—	—	—	—	未使用
	消石灰輸送用プロフ	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	ろ過式集じん器	3基	各炉	◎	◎	◎	—	◎	A
	バグフィルタ用温風循環ファン	3基	各炉	—	—	◎	—	◎	A

表 3-3 設備・機器の重要度評価(2/4)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	評価要素					総合評価
				安定運転	環境面	安全面	保全面	コスト	
余熱利用設備	給湯熱交換器	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	給湯用タンク	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	給湯循環ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	—	◎	C
	温水熱交換器	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	温水タンク	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	給湯循環ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	—	◎	C
	冷凍機	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	蒸気タービン	1台	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	潤滑油装置	1式	共通	◎	◎	—	—	◎	A
	発電機	1台	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	予備ボイラ	1基	共通	◎	—	—	◎	◎	A
通風設備	一次押し送風機	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	一次押し送風機用空気予熱器	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	二次押し送風機	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	二次押し送風機用空気予熱器	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	シール用送風機	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	誘引通風機	3台	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	白煙抑制用送風機	3台	各炉	—	—	—	—	—	未使用
	白煙抑制用空気予熱器	3台	各炉	—	—	—	—	—	未使用
	風道	3炉分	各炉	—	—	—	—	◎	C
	煙道	3炉分	各炉	—	—	—	—	◎	C
	煙突		共通	—	—	—	—	◎	C
灰出し設備	スターカ下落じんコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	減温塔下スクリュウコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	減温塔下ダストコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	No.1ボイラ下ダストコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	No.2ボイラ下ダストコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	灰押出機	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	灰出しコンベヤ	3基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	振動コンベヤ	3基	各炉	◎	—	—	◎	◎	A
	磁選機	3基	各炉	—	—	—	—	—	未使用
	磁性物コンベヤ	1基	共通	—	—	—	—	—	撤去済
	バグフィルタ下ダストコンベヤ	6基	各炉	—	—	—	◎	◎	A
	No.1Aダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.1Bダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.2Aダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.2Bダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.3Aダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.3Bダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.4Aダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.4Bダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	No.5ダストコンベヤ	1基	共通	—	—	—	—	—	未使用
	ダスト貯留槽	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	ダスト切出コンベヤ用ブロワ	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	ダスト供給コンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	セメント貯留槽	1基	共通	—	—	—	—	—	未使用
	セメント切出コンベヤ用ブロワ	1台	共通	—	—	—	—	—	未使用
	セメント供給コンベヤ	1基	共通	—	—	—	—	—	未使用
	集塵機ファン	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
集塵機	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A	

表 3-3 設備・機器の重要度評価(3/4)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	評価要素					総合評価
				安定運転	環境面	安全面	保全面	コスト	
灰出し設備	集塵機ダスト搬送コンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	キレート剤サービスタンク	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	キレート剤供給ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	混練造粒機	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	加湿水タンク	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	加湿水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	加湿機	1基	共通	—	—	—	—	—	未使用
	養生コンベヤ	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	灰ビット	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	磁性物ビット	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	セメント固化物ビット	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	灰クレーン	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
給水設備	プラント用水受水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	プラント用水揚水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	プラント用水高置水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	機器冷却水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	機器冷却水揚水ポンプ	3台	各炉	—	—	—	◎	—	B
	機器冷却水冷却塔	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器冷却水薬注装置	1基	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器冷却水高置水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	冷却水ブースタポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	再利用水受水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	再利用水揚水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	再利用水高置水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	洗浄水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	ボイラ原水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	生活用水受水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	生活用水揚水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	生活用水高置水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	炉内噴霧水タンク	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	炉内噴霧水ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	炉内水噴霧装置	3炉分(1炉あたり2本)	各炉	—	—	—	◎	—	B
排水処理設備	(ごみビット排水処理)ごみビットろ液貯留槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(ごみビット排水処理)ごみビット汚水排水ポンプ	1台	共通	—	◎	—	—	—	B
	(ごみビット排水処理)ごみ汚水ろ過器	1基	共通	—	◎	—	—	—	C
	(ごみビット排水処理)ろ液噴霧ポンプ	4台(1台使用)	各炉	—	◎	—	◎	—	A
	(ごみビット排水処理)ろ液噴霧機	3炉分	各炉	—	—	—	—	—	未使用
	(プラント・生活系排水処理)炉内噴霧水タンク	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)ボイラブロー排水移送ポンプ	2台	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)灰押出機排水ポンプ		共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)灰汚水移送ポンプ	1台	共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)無機系自動スクリーン	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)無機系受入調整槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)無機系調整槽ポンプ	2台	共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)無機系受入調整槽	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)反応槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)凝集槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)凝集沈殿槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)中和槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)有機系自動スクリーン	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)有機系受入調整槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)有機系調整槽ポンプ	2台	共通	—	◎	—	—	—	C

表 3-3 設備・機器の重要度評価(4/4)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	評価要素					総合評価
				安定運転	環境面	安全面	保全面	コスト	
排水処理設備	(プラント・生活系排水処理)有機系計量槽	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)接触ばっ気槽	1式	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)沈殿槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)ろ過原水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)ろ過ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)ろ過器	1基	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)逆洗水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)逆洗ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)処理水槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)処理水移送ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	◎	—	—	—	C
	(プラント・生活系排水処理)無機系汚泥計量槽	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)有機系汚泥計量槽	1基	共通	—	—	—	—	◎	C
	(プラント・生活系排水処理)汚泥沈殿槽	1基	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)濃縮汚泥引抜ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)汚泥貯留槽	1基	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)汚泥供給ポンプ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)汚泥脱水機	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)脱水ケーキ移送ポンプ	1台	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)薬品貯留槽	1式	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)薬品溶解槽	1式	共通	—	—	—	—	—	D
	(プラント・生活系排水処理)薬品移送ポンプ	1式	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)薬液注入ポンプ	1式	共通	—	—	—	◎	—	B
	(プラント・生活系排水処理)攪拌用ブロウ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	—	—	D
(プラント・生活系排水処理)ばっ気用ブロウ	2台 (内予備1台)	共通	—	—	—	—	—	D	
(プラント・生活系排水処理)排気ファン	1台	共通	—	—	—	—	—	D	
雑設備	計装用空気圧縮機	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	雑用空気圧縮機	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器搬入用ホイス(工作室用)	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器搬入用ホイス(炉室用)	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器搬入用ホイス(バグフィルタ用)	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	機器搬入用ホイス(非常用発電機室用)	1台	共通	—	—	—	◎	◎	A
	放水銃	2基	共通	—	—	—	◎	◎	A
電気設備	受電設備	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	配電設備	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	電力監視設備	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	直流電源装置	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	自家発電設備	1式	共通	—	—	—	◎	◎	A
	補機動力盤	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	クレーン動力設備	1式	共通	—	—	—	◎	◎	A
	DCS	1式	共通	—	—	—	◎	◎	A
	保護継電器	1式	共通	—	—	—	◎	◎	A
	警報表示盤	1式	共通	—	—	—	◎	◎	A
	計装分電盤	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	計装付帯設備	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A
	自動燃焼制御装置	1式	共通	◎	—	—	◎	◎	A

(2) 主要設備・機器リスト

設備・機器に関する重要度検討の結果から選定した, 主要設備・機器のリストをつぎに示す。

表 3-4 主要設備・機器リスト(1/5)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	型式	主仕様	構成機器等
受入供給設備	ごみ計量機	2基	共通	ロードセル4点支持式	最大秤量:30t 最小目盛:10kg 額盤寸法 幅3,000mm×長さ8,000mm	—
	プラットホーム	1基	共通	ごみピット直接投入方式	路面コンクリート舗装 寸法幅20m×長さ54m	出入口扉・エアカーテン
	ごみ投入扉	6基	共通	観音扉式	幅3,500mm×高さ5,000mm(5基)5,500mm(1基) 駆動方式 油圧シリンダ	—
	ダンピングボックス	1基		油圧駆動傾斜投入式	幅2,500mm×奥行2,500mm×深さ1,000m 駆動方式 油圧シリンダ	—
	ごみ投入扉・ダンピングボックス用油圧ユニット	1台	共通	一体型	タンク容量 350ℓ ポンプ:ピストンポンプ 台数:2台 吐出量:80ℓ/min 電動機:400V×4P×15kW	—
	ごみピット	1基	共通	水密コンクリート角型	容量:5,148m <sup>3</sup> 程度 寸法:幅39m×奥行12m程度×深さ11m	—
	ごみクレーン	2基	共通	グラブバケット付天井クレーン	バケット切取容量:8m <sup>3</sup> 定格荷重:2.9t	—
	可燃性粗大ごみ切断機	1基	共通	油圧剪断形	能力:4.9t/5h 切断力:150t 投入口寸法:幅1,000mm×奥行3,000mm×深さ1,000mm 駆動方式:油圧	油圧装置 タンク容量:680ℓ 電動機:400V×4P×22kW
	防臭剤噴霧装置	1式	共通	薬液噴霧式	防臭剤タンク 数量:1基 容量:2,000ℓ 供給ポンプ 形式:渦巻きポンプ 数量:2台	攪拌機:0.4kW 電動機:400V×4P×2.2kW
	防虫剤噴霧装置	1式	共通	薬液噴霧式	防虫剤タンク 数量:1基 容量:1,000ℓ 供給ポンプ 形式:渦巻きポンプ 数量:2台	攪拌機:0.2kW 電動機:400V×4P×2.2kW
	脱臭装置	1式	共通	活性炭吸着方式	脱臭ファン 形式:片吸込ターボ 数量:1台 活性炭吸着塔 形式:FRP製固定床式	電動機:18.5kW 寸法:幅3,600mm×長さ2,400mm×高さ2,000m
燃焼設備	ごみホッパ	3基	各炉	鋼板溶接製 シュート水冷方式	容量:約46m <sup>3</sup> 開口部寸法:5,000mm×5,000mm	ホッパゲート ブリッジ解除装置
	給じん装置	3基	各炉	水平プッシュ式	能力:5,210kg/h	—
	燃焼装置	3基	各炉	住友W+E復動突上げ式ストーカ	幅3,150mm×長さ9,290mm	—
	焼却炉本体	3炉	各炉	鉄骨支持鋼板溶接製 耐火材内張り構造	燃焼室容量:210.44m <sup>3</sup>	—
	炉駆動用油圧装置	1式	各炉	一体型	タンク容量:630ℓ ポンプ 台数:3台(1台予備、1台非常用) 冷却ユニット	電動機:400V×4P×37kW 2台 電動機:400V×4P×3.7kW(非常用) 電動機:400V×4P×3.7kW
	燃料貯留槽	1基	各炉	地下式	容量:20kℓ	—
	送油ポンプ	2基	共通		容量:2,600ℓ/h 電動機:4P×2.2kW	—
	助燃バーナ	6基 (1炉につき2基)	各炉	ロータリーバーナ	容量:60~250ℓ/h 燃料:灯油	—
燃焼ガス冷却設備	ボイラ	3基	各炉	自然循環式ボイラ	最大蒸発量:19.1t/h 最高使用圧力:26kg/cm <sup>2</sup> 伝熱面積:1,250m <sup>2</sup> (スーパヒーター、エコノマイザ除く)	ボイラ下部ホッパシュート ダスト除去装置
	ブロータンク	2基	共通	鋼板溶接製円筒型	容量:4.0m <sup>3</sup> 寸法:1,600mmφ×高さ1,980mm	—
	高圧蒸気だめ	2基	共通			—
	低圧蒸気だめ	1基	共通			—
	高圧蒸気復水器	1式	共通	回転数制御方式	伝熱面積:8,186m <sup>2</sup> 処理能力:40,680kg/h	ファン 2台 400V×4P×37kW
	タービン排気復水器	1式	共通	回転数制御方式	伝熱面積:21,528m <sup>2</sup> 処理能力:23,000kg/h	ファン 4台 400V×4P×37kW
	復水タンク	2基	共通			—
	排気復水タンク	1基	共通		容量:4.8m <sup>3</sup> 設計温度:70℃	—
	脱気器給水ポンプ	3台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量:1.07m <sup>3</sup> /min 全揚程:70m 電動機:400V×2P×30kW	—
	脱気器	2基	共通	加熱スプレー式	処理量:43t/h 処理水酸素含有量:0.05ppm以下 運転圧力 3.21kg/cm <sup>2</sup> G	—
	ボイラ給水ポンプ	4台	各炉	電動機直結多段タービンポンプ	吐出量:0.588m <sup>3</sup> /min 揚程:300m 電動機:400V×2P×55kW	—
	純水装置	1式	共通	イオン交換式(2床3塔式)	処理水量:3.5m <sup>3</sup> / 処理水水质:電気伝導度 10μS/cm以下(25℃)	純水装置給水ポンプ:2台 400V×2P×5.5kW 陽イオン交換塔:1基 充填材 強酸性陽イオン交換樹脂3000 脱炭酸塔:1基 ファン 400V×2P×0.4kW 脱炭酸塔下部貯槽:容量 300ℓ 陰イオン交換塔送水ポンプ:2台(内予備1台) 電動機 400V×2P×2.2kW 陰イオン交換塔:1基 充填材 弱塩基性陰イオン交換樹脂4900 純水タンク:数量 1基 再生水移送ポンプ:2台(内予備1台) 電動機 400V×2P×2.2kW 亜硫酸注入装置:溶解槽 100ℓ 攪拌機 0.1kW 注入ポンプ 50cc/min 塩酸計量槽:1基 容量 36.5ℓ ガスシール槽:1基 苛性ソーダ計量槽:1基 容量 74.5ℓ 純水再生排水移送ポンプ:2台(内予備1台) 電動機 400V×2P×0.75kW
	純水移送ポンプ	2台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量:0.13m <sup>3</sup> /min 全揚程:30m 電動機:400V×2P×2.2kW	—

表 3-4 主要設備・機器リスト(2/5)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	型式	主仕様	構成機器等
燃焼ガス冷却設備	薬液注入装置	1式	共通		清缶剤タンク: 1基 容量 300ℓ 攪拌機 0.2kW 清缶剤注入ポンプ: 4台(内予備1台) 電動機 400V×4P×0.2kW 脱酸剤タンク: 1基 容量 300ℓ 攪拌機 0.2kW 脱酸剤注入ポンプ: 3台(内予備1台) 電動機 400V×4P×0.2kW 復水処理剤タンク: 1基 容量 400ℓ 攪拌機 0.2kW 復水処理剤注入ポンプ: 2台(内予備1台) 電動機 400V×4P×0.2kW 保缶剤タンク: 数量 1基 容量 100ℓ 攪拌機 0.2kW 保缶剤注入ポンプ: 2台(内予備1台) 電動機 400V×4P×0.4kW	—
	尿素水貯槽	1基	共通	鋼板製円筒型	容量: 12.2m <sup>3</sup> 薬剤: 40%尿素水溶液	—
排ガス処理設備	尿素水注入ポンプ	4台	各炉	直動ダイヤフラム形	吐出量: 0.5ℓ/min 電動機: 400V×4P×0.4kW	—
	尿素噴霧装置	3炉分(1炉あたり3本)	各炉	進退装置付2流体噴霧ノズル方式	噴霧補助流体: 圧縮空気	進退装置: 数量 3式/炉
	減温水槽	1基	共通	鋼板製円筒型	容量: 7.6m <sup>3</sup> 寸法: 1,800mmφ×高さ2,850mm	—
	減温水ポンプ	4台(内予備1台)	各炉	カスケードポンプ	容量: 47ℓ/min 揚程: 10kg/cm <sup>2</sup> G 電動機: 400V×2P×1.1kW	—
	排ガス処理用空気圧縮機	4台(内予備1台)	各炉	水冷スクリー方式	空気量: 12.3m <sup>3</sup> /min 圧力: 7.0kg/cm <sup>2</sup> G 電動機: 400V×2P×75kW	—
	減温塔	3台	各炉	鋼板製円筒型 水噴霧方式	処理ガス量: 45,750m <sup>3</sup> /h 処理ガス温度: 入口: 265℃ 出口: 170℃ 水噴霧量 2,104ℓ/h	—
	バージファン	3台	各炉	電動機直結ターボ形	容量: 21m <sup>3</sup> /min 電動機: 400V×2P×1.5kW	—
	消石灰貯留槽	1基	共通	鋼板製円筒形	容量: 180m <sup>3</sup> 寸法: 4,370mmφ×高さ11,000mm	特殊排出装置 消石灰貯槽用バグフィルタ
	消石灰定量供給装置	1台	共通	テーブルフィーダ式	切出し量: 485kg/h×3(最大)	—
	助剤貯留槽	1基	共通	鋼板製円筒形	容量: 18m <sup>3</sup> 寸法: 2,400mmφ×高さ3,100mm	助剤貯槽用バグフィルタ
	助剤定量供給装置	1台	共通	テーブルフィーダ式	切出し量: 67kg/h×3(最大)	—
	消石灰輸送用ブロワ	3台	各炉	ルーツブロワ	容量: 59.5m <sup>3</sup> /min 電動機: 400V×4P×37kW	—
	ろ過式集じん器	3基	各炉	ワンボックス型 ろ布千鳥配列	処理ガス量 52,330m <sup>3</sup> /h 処理ガス温度: 163℃(耐熱250℃) 出口含じん量: 0.02g/m <sup>3</sup> 以下 ダスト払落し方式: バルス方式 ろ過面積: 1,440m <sup>2</sup> (ろ布通過速度 0.96m/min) ろ布材質: 特殊ガラス繊維	—
	バグフィルタ用温風循環ファン	3基	各炉	ターボファン ベルト駆動	容量: 30m <sup>3</sup> /min 電動機: 400V×4P×3.7kW	—
余熱利用設備	給湯熱交換器	1基	共通	サクシオンヒータ式	交換熱量: 300,000kcal/h 供給温水温度: 約60℃ 戻り温水温度: 約50℃ 供給水量: 30t/h	—
	給湯用タンク	1基	共通	縦型円筒製	容量: 3.0m <sup>3</sup> 寸法: 1.5mφ×高さ2.0m	—
	給湯循環ポンプ	2台(内予備1台)	共通	ラインポンプ	容量: 35t/h 全揚程: 20m 電動機: 3.7kW	—
	温水熱交換器	1基	共通	サクシオンヒータ式	交換熱量 400,000kcal/h 供給温水温度: 約80℃ 供給水量: 約25t	—
	温水タンク	1基	共通	縦型円筒製	容量: 5.0m <sup>3</sup> 寸法: 1.9mφ×高さ2.0m	—
	給湯循環ポンプ	2台(内予備1台)	共通	ラインポンプ	容量: 45t/h 全揚程: 20m 電動機: 5.5kW	—
	冷凍機	1基	共通	圧縮式冷凍機	冷凍能力: 約100USRT 冷水量: 約60t/h 冷水温度 入口: 約12℃ 出口: 約7℃ 冷却水量: 約70t/h 出力: 85kW	冷水ポンプ: 2台(内予備1台) 電動機: 15kW 冷却塔: 1基 交換熱量: 350,000kcal/h
	蒸気タービン	1台	共通	衝動横置6段減速機付復水タービン	連続最大出力: 3,000kW(発電機端) 定格蒸気消費量: 22,350kg/h タービン回転数: 約8,657rpm 発電機回転数: 1,500rpm 蒸気圧力: 18kg/cm <sup>2</sup> G 蒸気温度: 265℃ 排気圧力: 539mmHg	グラント蒸気復水器: 1基 冷却面積 3m <sup>2</sup> グラント蒸気復水器用ファン: 1台 電動機: 400V×2P×1.5kW
	潤滑油装置	1式	共通		主油ポンプ: 横置歯車式 1台 減速機軸端駆動 吐出量 24.9m <sup>3</sup> /h 補助油ポンプ: 横置歯車式 1台 モータ駆動 吐出量 24.9m <sup>3</sup> /h 400V×6P×15kW 油冷却器: 横置固定管板 表面冷却式 1台 冷却面積 16m <sup>2</sup> 油こし器: 金網式 1台 油タンク: 箱形溶接形 1台 全容量 約1,500ℓ 電気ヒータ 3kW 非常用油ポンプ: 横置歯車式 1台 駆動方式 モータ駆動 吐出量 8.6m <sup>3</sup> /h 400V×4P×1.5kW	—
	発電機	1台	共通	三相同期発電機	出力: 3,000kW(3,750kVA) 力率: 0.8(遅れ)	発電機保守用クレーン: 定格荷重 2.8t スパン 11m 揚程 12m
予備ボイラ	1基	共通	パッケージ式ボイラ	能力: 600,000kcal/h 使用燃料: 灯油	—	
通風設備	一次押込送風機	3台	各炉	直動片吸込ターボペーン形	風量: 530m <sup>3</sup> /min 風圧: 360mmAq 回転数: 1,460rpm 電動機: 400V×4P×45kW	—
	一次押込空気用空気予熱器	3台	各炉		伝熱面積: 389.4m <sup>2</sup> 交換熱量: 1,095,248kcal/h 空気温度: 入口: 20℃ 出口180℃ 空気量: 22,000m <sup>3</sup> /h	—
	二次押込送風機	3台	各炉	直動片吸込ターボペーン形	風量: 280m <sup>3</sup> /min 風圧: 480mmAq 回転数: 1,470rpm 電動機: 400V×4P×37kW	—
	二次押込空気用空気予熱器	3台	各炉		伝熱面積: 124.3m <sup>2</sup> 交換熱量: 408,230kcal/h 空気温度: 入口: 20℃ 出口180℃ 空気量: 8,200m <sup>3</sup> /h	—
	シール用送風機	3台	各炉	直動片吸込ターボペーン形	風量: 180m <sup>3</sup> /min 風圧: 200mmAq 回転数: 1,460rpm 電動機: 400V×4P×11kW	—
	誘引通風機	3台	各炉	電動機直結片吸込ターボペーン形	風量: 1,520m <sup>3</sup> /min 風圧: 470mmAq 回転数: 980rpm 電動機: 400V×6P×170kW	—

表 3-4 主要設備・機器リスト(3/5)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	型式	主仕様	構成機器等
通風設備	風道	3 炉分	各炉	溶接鋼板型	風速: 15m/s以下	—
	煙道	3 炉分	各炉	溶接鋼板型	風速: 15m/s以下	—
	煙突		共通	外筒鉄筋コンクリート製 内筒独立鋼板製外部保温	風速: 15m/s以下	—
灰出し設備	ストーカ下落じんコンベヤ	3 基	各炉	スクレーパコンベヤ	輸送能力: 0.2t/h 寸法: 幅600mm × 長さ12,150mm 電動機: 400V × 4P × 0.4kW	—
	減温塔下スクリーコンベヤ	3 基	各炉	スクリーコンベヤ	輸送能力: 2.0m <sup>3</sup> /h 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	ロータリーバルブ
	減温塔下ダストコンベヤ	3 基	各炉	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.0t/h 寸法: 幅400mm × 長さ7,060mm × 高さ4,458mm 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	—
	No.1ボイラ下ダストコンベヤ	3 基	各炉	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.0t/h 寸法: 幅400mm × 長さ12,160mm 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	—
	No.2ボイラ下ダストコンベヤ	3 基	各炉	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.0t/h 寸法: 幅400mm × 長さ3,425mm 電動機: 400V × 4P × 0.75kW	—
	灰押出機	3 基	各炉	ブッシャ式	能力: 2t/h 駆動方式: 油圧シリンダ	—
	灰出しコンベヤ	3 基	各炉	スクレーパコンベヤ	輸送能力: 0.8t/h 寸法: 幅1,000mm × 長さ7,900mm × 高さ3,669mm 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	—
	振動コンベヤ	3 基	各炉		輸送能力: 2t/h 寸法: 幅1,500mm × 長さ4,900mm × 高さ250mm 電動機: 400V × 6P × 2.2kW	—
	バグフィルタ下ダストコンベヤ	6 基	各炉	スクリーコンベヤ	輸送能力: 0.34t/h(最大) 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	ロータリーバルブ
	No.1Aダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ27,192.5mm × 高さ6,290mm 電動機: 400V × 4P × 2.2kW	—
	No.1Bダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ27,192.5mm × 高さ13,290mm 電動機: 400V × 4P × 3.7kW	—
	No.2Aダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ11,160mm × 高さ634mm 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	—
	No.2Bダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ10,160mm × 高さ534mm 電動機: 400V × 4P × 1.5kW	—
	No.3Aダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ20,390mm × 高さ15,140mm 電動機: 400V × 4P × 2.2kW	—
	No.3Bダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ18,790mm × 高さ7,940mm 電動機: 400V × 4P × 2.2kW	—
	No.4Aダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ3,900mm 電動機: 400V × 4P × 0.75kW	—
	No.4Bダストコンベヤ	1 基	共通	フライトコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 寸法: 幅400mm × 長さ3,900mm 電動機: 400V × 4P × 0.75kW	—
	No.5ダストコンベヤ	1 基	共通	スクリーコンベヤ	輸送能力: 1.5t/h 電動機: 0.75kW	—
	ダスト貯留槽	1 基	共通	鋼板溶接構造	容量: 80m <sup>3</sup> 寸法: 3,600mmφ × 高さ8,000+3,100m	ダスト切出コンベヤ: エアスライド ダスト定量供給機: ロータリーバルブ
	ダスト切出コンベヤ用ブロワ	1 台	共通	ロータリ型	風量: 1.40m <sup>3</sup> /min 電動機: 2.2kW	—
	ダスト供給コンベヤ	1 基	共通	可逆式スクリーコンベヤ	輸送能力: 2.0t/h 電動機: 0.75kW	—
	セメント貯留槽	1 基	共通	鋼板溶接構造	容量: 30m <sup>3</sup> 寸法: 2,400mmφ × 高さ7,000+2,100m	セメント切出コンベヤ: エアスライド セメント定量供給機: ロータリーバルブ
	セメント切出コンベヤ用ブロワ	1 台	共通	ロータリ型	風量: 0.71m <sup>3</sup> /min 電動機: 1.5kW	—
	セメント供給コンベヤ	1 基	共通	スクリーコンベヤ	輸送能力: 0.3t/h 電動機: 0.4kW	—
	集塵機ファン	1 台	共通	ロータリ型	風量: 60m <sup>3</sup> /min 電動機: 5.5kW	—
	集塵機	1 基	共通	ろ過式集塵機	ろ過風量: 60m <sup>3</sup> /min ろ過面積: 35.1m <sup>2</sup>	ロータリーバルブ
	集塵機ダスト搬送コンベヤ	1 基	共通	スクリーコンベヤ	輸送能力: 0.2t/h 電動機: 0.4kW	—
	キレート剤サービスタンク	1 基	共通	円筒型	容量: 3,000ℓ	—
	キレート剤供給ポンプ	2 台	共通	ダイヤフラム式	吐出量: 1ℓ/min 電動機: 0.2kW(インバータ駆動)	—
	混練造粒機	1 基	共通	パイロミキサ	能力: 2.0t/h 電動機: 9.0kW × 2台	—
	加湿水タンク	1 基	共通	円筒型	容量: 1,000ℓ	—
	加湿水ポンプ	2 台	共通	渦巻き式	吐出量: 20ℓ/min 電動機: 0.4kW(インバータ駆動)	—
加湿機	1 基	共通	二軸/バドル式	能力: 0.2t/h 電動機: 7.5kW	—	
養生コンベヤ	1 基	共通	ベルトコンベヤ方式(間欠運転)	輸送能力: 2.0t/h 寸法: 幅1,200mm × 長さ10,000mm 電動機: 0.75kW	—	
灰ビット	1 基	共通	水密コンクリート製	容量: 約520m <sup>3</sup> 寸法: 幅4m × 奥行26m × 高さ5m	—	
磁性物ビット	1 基	共通	水密コンクリート製	容量: 約36m <sup>3</sup> 寸法: 幅4m × 奥行3m × 高さ3m	—	
セメント固化物ビット	1 基	共通	水密コンクリート製	容量: 約80m <sup>3</sup> 寸法: 幅4m × 奥行4m × 高さ5m	—	
灰クレーン	1 基	共通	グラブバケット付天井クレーン	バケットつかみ量: 2.0m <sup>3</sup> 定格荷重: 2.45t	—	

表 3-4 主要設備・機器リスト(4/5)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	型式	主仕様	構成機器等
給水設備	プラント用水受水槽	1 基	共通		容量: 169m <sup>3</sup>	—
	プラント用水揚水ポンプ	2 台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 16.5m <sup>3</sup> /h 揚程: 40m 電動機: 400V × 2P × 5.5kW	—
	プラント用水高置水槽	1 基	共通	FRP製パネル水槽	容量: 15m <sup>3</sup> 寸法: 2,500mm × 3,000mm × 高さ2,000mm	—
	機器冷却水槽	1 基	共通	角型・鉄筋コンクリート製 内面防水仕上げ	容量: 150m <sup>3</sup>	—
	機器冷却水揚水ポンプ	3 台	各炉	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 150m <sup>3</sup> /h 揚程: 70m 電動機: 400V × 2P × 45kW	—
	機器冷却水冷却塔	1 基	共通	クロスフロー式	循環水量: 300m <sup>3</sup> /h 冷却水温度: 入口: 37°C 出口: 32°C 電動機: 400V × 2P × 45kW	—
	機器冷却水薬注装置	1 基	共通		薬注タンク 200ℓ 薬注ポンプ	—
	機器冷却水高置水槽	1 基	共通	FRP製パネル水槽	容量: 21m <sup>3</sup> 寸法: 3,500mm × 6,000mm × 高さ1,000mm	—
	冷却水ブースタポンプ	2 台	共通		吐出量: 50m <sup>3</sup> /h 全揚程: 30m 電動機: 400V × 4P × 7.5kW	—
	再利用水受水槽	1 基	共通	角型・鉄筋コンクリート製 内面防水仕上げ	容量: 30m <sup>3</sup>	—
	再利用水揚水ポンプ	2 台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 12.5m <sup>3</sup> /h 揚程: 45m 電動機: 400V × 2P × 5.5kW	—
	再利用水高置水槽	1 基	共通	FRP製パネル水槽	容量: 10m <sup>3</sup> 寸法: 2,000mm × 2,500mm × 高さ2,000mm	—
	洗浄水ポンプ	2 台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 50m <sup>3</sup> /h 全揚程: 35m 電動機: 400V × 2P × 11kW	—
	ボイラ原水槽	1 基	共通	FRP製パネル水槽	容量: 13m <sup>3</sup> 寸法: 2,000mm × 2,500mm × 高さ2,500mm	—
	生活用水受水槽	1 基	共通	角型・FRP製	容量: 15m <sup>3</sup>	—
	生活用水揚水ポンプ	2 台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 8.1m <sup>3</sup> /h 揚程: 51m 電動機: 3.7kW	—
	生活用水高置水槽	1 基	共通	角型・FRP製	容量: 4m <sup>3</sup>	—
	炉内噴霧水タンク	1 基	共通		容量: 1m <sup>3</sup>	—
	炉内噴霧水ポンプ	2 台	共通	多段モルトポンプ	吐出量: 0.05m <sup>3</sup> /min 全揚程: 50m 電動機: 400V × 2P × 2.2kW	—
	炉内水噴霧装置	3 炉分 (1炉あたり2本)	各炉	進退装置付2流体噴霧ノズル方式	噴霧補助流体: 圧縮空気	進退装置: 数量 3式/炉
排水処理設備	(ごみピット排水処理)ごみピットろ液貯留槽	1 基	共通	水密鉄筋コンクリート	容量: 40m <sup>3</sup>	スクリーン
	(ごみピット排水処理)ごみピット汚水排水ポンプ	1 台	共通	水中ポンプ	吐出量: 6m <sup>3</sup> /h 揚程: 30m 電動機: 400V × 2P × 5.5kW	—
	(ごみピット排水処理)ごみ汚水ろ過器	1 基	共通	自動回転ストレーナ	能力: 6m <sup>3</sup> /h 電動機: 400V × 4P × 0.1kW	—
	(ごみピット排水処理)ろ液噴霧ポンプ	4 台 (1台使用)	各炉		吐出量: 120~400ℓ/h 電動機: 400V × 4P × 0.4kW	—
	(ごみピット排水処理)ろ液噴霧機	3 炉分	各炉	二流体噴霧方式	噴霧水量: 0.3m <sup>3</sup> /h 噴霧水圧: 2kg/cm <sup>2</sup> 空気圧: 4kg/cm <sup>2</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)炉内噴霧水タンク	1 基	共通		容量: 110m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)ボイラブロー排水移送ポンプ	2 台	共通	片吸込渦巻ポンプ	吐出量: 10m <sup>3</sup> /h 揚程: 30m 電動機: 400V × 2P × 3.7kW	—
	(プラント・生活系排水処理)灰押出機排水ポンプ		共通	水中ポンプ	吐出量: 6m <sup>3</sup> /h 揚程: 20m 電動機: 400V × 4P × 5.5kW	—
	(プラント・生活系排水処理)灰汚水移送ポンプ	1 台	共通	水中ポンプ	容量: 0.1m <sup>3</sup> /min 揚程: 16.3m 電動機: 400V × 4P × 5.5kW	—
	(プラント・生活系排水処理)無機系自動スクリーン	1 基	共通	自動揺上スクリーン	メッシュ: 2.0mm 能力: 20m <sup>3</sup> /h	—
	(プラント・生活系排水処理)無機系受入調整槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 53.08m <sup>3</sup>	攪拌装置
	(プラント・生活系排水処理)無機系調整槽ポンプ	2 台	共通	水中汚水ポンプ	容量: 6m <sup>3</sup> /h 電動機: 400V × 0.75kW	—
	(プラント・生活系排水処理)無機系受入調整槽	1 基	共通	角型Vノック式	容量: 0.05m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)反応槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 1.04m <sup>3</sup>	急速攪拌機
	(プラント・生活系排水処理)凝集槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 1.04m <sup>3</sup>	緩速攪拌機
	(プラント・生活系排水処理)凝集沈殿槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 7.12m <sup>3</sup>	汚泥引抜ポンプ
	(プラント・生活系排水処理)中和槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 1.01m <sup>3</sup>	緩速攪拌機
	(プラント・生活系排水処理)有機系自動スクリーン	1 基	共通	自動揺上スクリーン	メッシュ: 2.0mm 能力: 20m <sup>3</sup> /h	—
	(プラント・生活系排水処理)有機系受入調整槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量: 81.4m <sup>3</sup>	攪拌装置
	(プラント・生活系排水処理)有機系調整槽ポンプ	2 台	共通	水中汚水ポンプ	容量: 6m <sup>3</sup> /h 電動機: 400V × 0.75kW	—
(プラント・生活系排水処理)有機系計量槽	1 基	共通	角型Vノック式	容量: 0.05m <sup>3</sup>	—	

表 3-4 主要設備・機器リスト(5/5)

設備名	機器名称	数量等	設備概況	型式	主仕様	構成機器等
排水処理設備	(プラント・生活系排水処理)接触ばっ気槽	1 式	共通	鉄筋コンクリート製	容量:47m <sup>3</sup> (第1室30m <sup>3</sup> 第2室17m <sup>3</sup> )	
	(プラント・生活系排水処理)沈殿槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:12.24m <sup>3</sup>	汚泥引抜ポンプ
	(プラント・生活系排水処理)ろ過原水槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:20.33m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)ろ過ポンプ	2 台 (内予備1台)	共通	水中汚水ポンプ	吐出量:6m <sup>3</sup> /h 電動機:400V×1.5kW	—
	(プラント・生活系排水処理)ろ過器	1 基	共通	堅型複層ろ過式	容量:3.0m <sup>3</sup> /h 寸法:800φmm×高さ2,250mm	—
	(プラント・生活系排水処理)逆洗水槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:28.76m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)逆洗ポンプ	2 台 (内予備1台)	共通	水中汚水ポンプ	吐出量:24m <sup>3</sup> /h 揚程:17m 電動機:400V×2.2kW	—
	(プラント・生活系排水処理)処理水槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:32.58m <sup>3</sup>	消毒槽
	(プラント・生活系排水処理)処理水移送ポンプ	2 台 (内予備1台)	共通	水中汚水ポンプ	吐出量:6m <sup>3</sup> /h 揚程:15m 電動機:400V×1.5kW	—
	(プラント・生活系排水処理)無機系汚泥計量槽	1 基	共通			—
	(プラント・生活系排水処理)有機系汚泥計量槽	1 基	共通			—
	(プラント・生活系排水処理)汚泥沈殿槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:22.56m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)濃縮汚泥引抜ポンプ	2 台 (内予備1台)	共通	渦巻式スラリーポンプ	吐出量:2.7m <sup>3</sup> /h 揚程:6m 電動機:400V×0.75kW	—
	(プラント・生活系排水処理)汚泥貯留槽	1 基	共通	鉄筋コンクリート製	容量:7.45m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)汚泥供給ポンプ	2 台 (内予備1台)	共通	1軸ネジ式ポンプ	吐出量:1.0m <sup>3</sup> /h 揚程:20m 電動機:400V×0.4kW	—
	(プラント・生活系排水処理)汚泥脱水機	2 台 (内予備1台)	共通	連続式遠心分離機	処理能力:0.5m <sup>3</sup> /h 電動機:400V×2.2kW	—
	(プラント・生活系排水処理)脱水ケーキ移送ポンプ	1 台	共通	1軸ネジ式ポンプ	容量:200kg/h 電動機:400V×2.2kW	—
	(プラント・生活系排水処理)薬品貯留槽	1 式	共通		塩酸貯留槽:1基 容量 6.0m <sup>3</sup> 苛性ソーダ貯留槽:1基 容量 6.0m <sup>3</sup> 塩化第二鉄貯留槽:1基 容量 4.0m <sup>3</sup>	—
	(プラント・生活系排水処理)薬品溶解槽	1 式	共通		塩酸希釈槽:1基 容量 0.3m <sup>3</sup> 攪拌機 0.1kW 栄養剤溶解槽:1基 容量 0.3m <sup>3</sup> 攪拌機 0.1kW 凝集助剤溶解槽:1基 容量 1.5m <sup>3</sup> 攪拌機 0.4kW 脱水助剤溶解槽:1基 容量 1.5m <sup>3</sup> 攪拌機 0.4kW	—
	(プラント・生活系排水処理)薬品移送ポンプ	1 式	共通		塩酸移送ポンプ(1):2台 吐出量 2.5m <sup>3</sup> /h 400V×0.4kW 塩酸移送ポンプ(2):2台 吐出量 2.5m <sup>3</sup> /h 400V×0.4kW 苛性ソーダ移送ポンプ:2台 吐出量 2.5m <sup>3</sup> /h 400V×0.4kW	—
(プラント・生活系排水処理)薬液注入ポンプ	1 式	共通		塩酸注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 12~58mL/min 400V×0.07kW 苛性ソーダ注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 12~58mL/min 400V×0.07kW 塩化第二鉄注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 12~58mL/min 400V×0.07kW 凝集助剤注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 20~100mL/min 400V×0.07kW 脱水助剤注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 160~800mL/min 400V×0.07kW 栄養剤注入ポンプ:2台(内予備1台) 吐出量 12~58mL/min 400V×0.07kW	—	
(プラント・生活系排水処理)攪拌用ブロウ	2 台 (内予備1台)	共通	ルーツブロウ	容量:162m <sup>3</sup> /h 電動機:400V×5.5kW	—	
(プラント・生活系排水処理)ばっ気用ブロウ	2 台 (内予備1台)	共通	ルーツブロウ	容量:162m <sup>3</sup> /h 電動機:400V×5.5kW	—	
(プラント・生活系排水処理)排気ファン	1 台	共通	シロッコファン	容量:420m <sup>3</sup> /h 電動機:400V×0.4kW	—	
雑設備	計装用空気圧縮機	1 台	共通		吐出空気量:2.8m <sup>3</sup> /min 電動機:400V×2P×22kW	空気だめ 除湿器
	雑用空気圧縮機	1 台	共通		吐出空気量:9.0m <sup>3</sup> /min 電動機:400V×2P×55kW	空気だめ 除湿器
	機器搬入出用ホイスト(工作室用)	1 台	共通		定格荷重:0.5t 揚程:6m 電動機:巻上:0.85kW 走行:0.2kW	—
	機器搬入出用ホイスト(炉室用)	1 台	共通		定格荷重:1.0t 揚程:36m 電動機:巻上:2.9kW 横行:0.75kW	—
	機器搬入出用ホイスト(バグフィルタ用)	1 台	共通		定格荷重:0.5t 揚程:24m 電動機:巻上:2.9kW 横行:0.75kW	—
	機器搬入出用ホイスト(非常用発電機室用)	1 台	共通		定格荷重:0.5t 揚程:6m 電動機:巻上:0.85kW 走行:0.2kW	—
	放水銃	2 基	共通			—

### (3) 機器別管理基準

主要設備・機器に関する機器別管理基準を整理するため、各設備・機器の診断項目に関する保全方式を選定し、管理基準(評価方法、管理値、診断頻度)及び参考とする目標耐用年数を定める。なお、各設備・機器の対象箇所は同種の設備・機器でも、重要性に応じて詳細に点検、診断されるため、対象箇所がさらに細分類される。このため、対象箇所の細分類は実際に実施されている状況を反映した分類とする。

#### ① 保全方式

保全方式は、各設備・機器の保全対象箇所ごとに選定し、「事後保全(BM: Breakdown Maintenance)」, 及び特定する基準のもとに予防的な設備・機器の保全を行う「時間基準保全(TBM: Time-Based Maintenance)」, 「状態基準保全(CBM: Condition-Based Maintenance)」に分類する。

保全方式の選定については、手引書を参考にするとともに、主要設備・機器は重要度の高い設備・機器として抽出したものであることから、「事後保全(BM)」ではなく原則として予防保全とする、「時間基準保全(TBM)」, 「状態基準保全(CBM)」から選定する。ただし、本施設の現状では、各設備・機器の定期的な点検、検査結果による状態に応じて、設備・機器の保全を行っていくため、保全方式は主に「状態基準保全(CBM)」とする。

表 3-5 保全方式の分類

保全方式		保全方式選定の留意点
事後保全 [BM] (BM: Breakdown Maintenance)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・故障してもシステムを停止せず容易に保全可能なもの (予備系列に切り替えて保全できるものを含む)</li> <li>・保全部材の調達が容易なもの</li> </ul>
予防保全	時間基準保全 [TBM] (TBM: Time-Based Maintenance)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な劣化の兆候が把握し難い、又はパッケージ化されて損耗部のみのメンテナンスが行い難いもの</li> <li>・構成部品に特殊部品があり、その調達期限があるもの</li> </ul>
	状態基準保全 [CBM] (CBM: Condition-Based Maintenance)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摩耗、破損、性能劣化が日常稼働中あるいは定期点検において、定量的又は比較的容易に判断できるもの</li> </ul>

#### ② 管理基準

診断項目、評価方法、管理値は、竣工図書(取扱説明書)及び定期的の実施している点検、検査内容を踏まえて定めるものとする。

なお、管理値については設計施工業者又は各設備・機器の製造メーカーにて特記している管理値を示しているが、定期的な点検・検査では設計施工業者又は各設備・機器の製造メーカーにおける自主管理の基準に基づき管理を行っていくものとする。

### ③ 診断頻度

目標耐用年数については、手引書を参考にするとともに、維持補修履歴から診断頻度を定めるものとする。なお、維持補修履歴に記録ない設備・機器については、最大4年に1回の診断頻度を目安として定めるものとする。

### ④ 目標耐用年数

目標耐用年数については、手引書を参考にするとともに、維持補修履歴から目標耐用年数を定めるものとする。

なお、各設備・設備の目標耐用年数は、適正な部品交換やメンテナンスを定期的実施した場合に全交換(更新)する耐用年数の目安とするものであるが、設置環境、使用状況によって変化するものであるため、定期的な点検、検査結果に応じて適時必要に応じて見直しを行い、更新の実施を検討するものである。

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(1/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数	
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度		
受入供給設備	ごみ計量機		2		計量機本体	荷重試験	検定公差が計量法基準以内であること(特定計量器検定検査規則182条)。	計量法に定める使用公差	2年	15~20年	
						摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—			
					データ処理装置	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年		5~10年
						老朽化	故障頻度が低いこと。 OS・ソフトのメーカーの保守、部品供給が可能な期間であること。	—			
	プラットホーム	○			入口扉	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15~20年	
						作動状況	動作不良がないこと。	—			
					出口扉	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年		15~20年
						作動状況	動作不良がないこと。	—			
	ごみ投入扉	○			扉(No.1~3)	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15~20年	
						作動状況	動作不良がないこと。	—			
		○			扉(No.4~6)	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年		15~20年
						作動状況	動作不良がないこと。	—			
	ダンピングボックス			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15~20年	
						シリンダー	作動状況	動作不良がないこと。			—
					ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年		5~10年
						摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—			
	ごみ投入扉・ダンピングボックス用油圧ユニット			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	5~10年	
						漏れ	油圧シリンダに著しい摩耗・油濡れがないこと。	—			
					油圧バケット	老朽化	油圧ユニットにおいて開閉速度低下や異常音・温度上昇・油濡れがないこと。	—	2年		5~10年
						作動状況	動作不良がなく、故障頻度が低いこと。	—			
ごみクレーン			○	レール	変形・摩耗	車輪、レールの著しい変形・摩耗がないこと。	メーカー管理値による	2年	15~20年		
					作動状況	動作不良がなく、故障頻度が低いこと。	メーカー管理値による				
				ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年		5~10年	
					切断刃	変形・摩耗・損傷	著しい変形・摩耗がないこと。				メーカー管理値による
可燃性粗大ごみ切断機	○			駆動装置	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	5~10年		
					送り装置	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			—	
				ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—	4年		10~15年	
					摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—				
防臭剤噴霧装置	○			タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	4年	10~15年		
					ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。			—	
				ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—	4年		10~15年	
					摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—				
脱臭装置	○			タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	4年	10~15年		
					ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。			—	
				ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—	4年		10~15年	
					摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—				
燃焼設備	ごみホッパ	○		○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	4年	15~20年	
					ブリッジ解除装置	作動状況	動作不良がないこと。	—			
	給じん装置			○	本体	摩耗	摩耗が進行していないこと。	メーカー管理値による	6ヶ月~1年	5~10年	
						駆動装置	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			—
					火格子	焼損・摩耗	著しい焼損・摩耗がないこと。	メーカー管理値による	6ヶ月~1年		2~10年
						サイドプレート	焼損・摩耗	著しい焼損・摩耗がないこと。			
	燃焼装置	○		○	シリンダー	漏れ	油圧シリンダに著しい摩耗・油濡れがないこと。	—	6ヶ月~4年	5~10年	
						摺動部	変形・摩耗	著しい変形・摩耗がないこと。			—
					耐火レンガ	膨出・脱落	著しい膨出・脱落がないこと。	—	6ヶ月~1年		5~10年
						摩耗・剥落	著しい摩耗・剥落がないこと。				
	不定形耐火物			○	耐火レンガ	摩耗・剥落	著しい摩耗・剥落がないこと。	—	6ヶ月~1年	2~5年	
						亀裂	著しい亀裂がないこと。				
					ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	6ヶ月~1年		15~20年
						油タンク	摩耗・腐食				
	炉駆動用油圧装置			2	油冷却器	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	6ヶ月~1年	15~20年	
						油圧ポンプ	作動状況				動作不良がないこと。
					非常用油圧ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—	6ヶ月~4年		10~15年
						油循環ポンプ	作動状況				
	燃料貯留槽	1			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~4年	15~20年
						送油ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。	—		
助燃バーナ				○	本体	変形・亀裂・損傷	著しい変形・亀裂・損傷がないこと。	—	2年	15~20年	
						作動状況	動作不良がないこと。				

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(2/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度	
燃 焼 ガ ス 冷 却 設 備	ボイラ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	蒸気管/SH	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	5～10年
			○	肉厚(余寿命評価)	摩耗・腐食	経年変化により余寿命評価を行う。	電気事業法施工規則第94条	1年	1年	* 部位による
	ブロータンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
	高圧蒸気だめ			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	弁類	摩耗	摩耗が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
				○	弁類	亀裂	PT検査(浸透探傷検査)等により有害な亀裂がないこと。			
	低圧蒸気だめ			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	弁類	摩耗	摩耗が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	弁類	亀裂	PT検査(浸透探傷検査)等により有害な亀裂がないこと。			
	高圧蒸気復水器			○	バンドル	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	ファン	変形	著しい変形・摩耗がないこと。			
				○	減速機	作動状況	動作不良がないこと。			
	タービン排気復水器			○	バンドル	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	ファン	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
				○	減速機	作動状況	動作不良がないこと。			
	復水タンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
	排気復水タンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	10～15年
	脱気器給水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	10～15年
				○	本体	作動状況	動作不良がないこと。			
	脱気器			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	ノズル	変形・亀裂・損傷 腐食	著しい変形・亀裂・損傷がないこと。 著しい腐食がないこと。			
	ボイラ給水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	10～15年
				○	本体	作動状況	動作不良がないこと。			
	純水装置			○	ポンプ	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	1～2年	10～15年
				○	ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。			
	純水移送ポンプ			○	タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2～3年	15～20年
				○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。			
	薬液注入装置			○	ポンプ	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2～4年	10～15年
				○	ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。			
	尿素水貯槽			○	タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年
				○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
尿素水注入ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2～3年	10～15年	
			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。				
尿素噴霧装置			○	ポンプ	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	10～15年	
			○	ポンプ	作動状況	動作不良がないこと。				
減温水槽			○	タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年	
			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
減温水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	1～2年	10～15年	
			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。				
排ガス処理用空気圧縮機			○	本体	漏れ	エア・油・水漏れがないこと	—	1年	10～15年	
			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。				
減温塔			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年	
			○	ノズル	腐食	著しい腐食がないこと。				
パージファン			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～4年	15～20年	
			○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。				
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
消石灰貯留槽			○	本体	摩耗・腐食	著しく摩耗・腐食がないこと。	—	1～3年	15～20年	
			○	集じん装置	摩耗・腐食 損傷	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 ろ布に破れ等の損傷がないこと。				
消石灰定量供給装置			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～3年	15～20年	
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(3/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度	
排ガス 処理 設備	助剤貯留槽			○	本体	摩耗・腐食	著しく摩耗・腐食がないこと。	—	1～3年	15～20年
				○	集じん装置	摩耗・腐食 損傷	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 ろ布に破れ等の損傷がないこと。			
	助剤定量供給装置			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～3年	15～20年
					電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	砂供給装置			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～3年	15～20年
					電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	消石灰輸送用ブロフ			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～4年	15～20年
				○	インペラ	摩耗・変形	著しい変形・摩耗がないこと。			
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
ろ過式集じん器			○	本体	摩耗・腐食 損傷	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 ろ布に破れ等の損傷がないこと。	—	1～3年	15～20年	
	バグフィルタ用温風循環ファン		○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
			○	インペラ	摩耗・変形	著しい変形・摩耗がないこと。				
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。	—	1～4年	15～20年	
余熱 利用 設備	給湯熱交換器			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年
	給湯用タンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年
	給湯循環ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	1～2年	10～15年
					作動状況	動作不良がないこと。				
	温水熱交換器			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年
	温水タンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年
	給湯循環ポンプ			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	1～2年	10～15年
					作動状況	動作不良がないこと。				
	冷凍機			○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	1～2年	15～20年
					作動状況	動作不良がないこと。				
	蒸気タービン			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2～4年	15～20年
				○	弁類	摩耗 亀裂	摩耗が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 PT検査(浸透探傷検査)等により有害な亀裂がないこと。			
					作動状況	バネ自由長計測にて支障がないこと。				
	潤滑油装置			○	本体	漏れ	油漏れがないこと	—	1～2年	15～20年
				作動状況	動作不良がないこと。					
発電機		○	○	本体	遮断器試験・絶縁 診断・保護装置試 験など	動作不良がないこと。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	—	1～3年	10～15年	
予備ボイラ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～2年	15～20年	
			○	蒸気管/SH	摩耗・腐食 肉厚(余寿命評価)	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 経年変化により余寿命評価を行う。				電気事業法施工規則第94条
通風 設備	一次押込送風機			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
				○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	一次押込空気用空気予熱器			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
					伝熱管	摩耗・腐食・亀裂	著しい摩耗・腐食・亀裂がないこと。			
	二次押込送風機			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
				○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	二次押込空気用空気予熱器			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
					伝熱管	摩耗・腐食・亀裂	著しい摩耗・腐食・亀裂がないこと。			
	シール用送風機			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
				○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	誘引通風機			○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年
			○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。				
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	15～20年	
風道			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年	
				ダンパ	作動状況	動作不良がないこと。				
煙道			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15～20年	
				ダンパ	作動状況	動作不良がないこと。				
煙突			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	4年	15～20年	

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(4/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度	
灰出し設備	ストーカ下落じんコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~4年	10~15年
				○	スクレーパ	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。			
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。			
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。			
	減温塔下スクリュウコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年	10~15年
				○	スクリュウ	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	電動機	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
	減温塔下ダストコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年	10~15年
				○	フライト	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	チェーン等	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。			
				○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。			
	No.1ボイラ下ダストコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。	—	2年	10~15年
				○	フライト	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。			
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。			
	No.2ボイラ下ダストコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年	10~15年
				○	フライト	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	チェーン等	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。			
				○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。			
	灰押出機			○	ケーシング	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。	—	3年	15~20年
				○	プッシャ	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
				○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。			
	灰出しコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	1~4年	10~15年
				○	スクレーパ	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
			○	チェーン等	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
			○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。				
振動コンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。	—	1~4年	10~15年	
			○	スプリング	損傷	亀裂や割れ等の損傷がないこと。				
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
バグフィルタ下ダストコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
			○	スクリュウ	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
			○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
No.1Aダストコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
			○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
			○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
			○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
No.1Bダストコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年	10~15年	
			○	フライト	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
			○	チェーン等	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
			○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。				
No.2Aダストコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
			○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
			○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
			○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
No.2Bダストコンベヤ			○	ケーシング	作動状況	動作不良がないこと。	—	2年	10~15年	
			○	フライト	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
			○	チェーン等	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
			○	電動機	張り	チェーンの張りが適切であること。				

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(5/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数	
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度		
灰出し設備	No.3Aダストコンベヤ			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年	
				○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
	No.3Bダストコンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
				○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
	No.4Aダストコンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
				○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
	No.4Bダストコンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
				○	フライト	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
				○	チェーン等	張り	チェーンの張りが適切であること。				
				○	電動機	摩耗・腐食・変形	スプロケット・ガイドレールに著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
	No.5ダストコンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1～4年	10～15年
				○	スクリュー	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
	ダスト貯留槽				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2～4年	15～20年
	ダスト切出コンベヤ用ブロワ				○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
					○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
					○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	ダスト供給コンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
					○	スクリュー	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。			
					○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	集塵機ファン				○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	10～15年
					○	インペラ	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。			
					○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。			
	集塵機				○	ケーシング	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
				○	ろ布	破損	ろ布に破れ等の損傷がないこと。				
集塵機ダスト搬送コンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年	
				○	スクリュー	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。				
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
キレート剤サービスタンク				○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年	
キレート剤供給ポンプ				○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	10～15年	
						作動状況	動作不良がないこと。				
混練造粒機				○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	15～20年	
						作動状況	動作不良がないこと。				
加湿水タンク				○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年	
加湿水ポンプ				○	本体	摩耗・腐食	著しい摩耗・腐食がないこと。	—	2年	10～15年	
						作動状況	動作不良がないこと。				
養生コンベヤ				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年	
				○	ローラ	摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。				
				○	ベルト	張り	チェーンの張りが適切であること。				
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
灰クレーン			2	油圧バケット	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。	—	2年	5～10年		
					漏れ	油圧シリンダに著しい摩耗・油濡れがないこと。					
					老朽化	油圧ユニットにおいて開閉速度低下や異常音・温度上昇・油濡れがないこと。					
					作動状況	動作不良がなく、故障頻度が高くないこと。	—				
				○	レール	変形・摩耗		車輪、レールの著しい変形・摩耗がないこと。	メーカー管理値による	2年	15～20年
					作動状況	動作不良がなく、故障頻度が高くないこと。	メーカー管理値による				

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(6/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数	
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度		
給水設備	プラント用水揚水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	10~15年	
	プラント用水高置水槽			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15~20年	
	機器冷却水揚水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10~15年	
	機器冷却水冷却塔			○	ケーシング 電動機	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~4年	15~20年	
	機器冷却水薬注装置			○	ポンプ	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	10~15年	
	機器冷却水高置水槽			○	タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~2年	15~20年	
	冷却水ブースタポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~4年	15~20年	
	再利用水揚水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	10~15年	
	再利用水高置水槽			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
	洗浄水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1年	15~20年	
	ボイラ原水槽			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
	生活用水受水槽			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	4年	15~20年	
	生活用水揚水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1年	15~20年	
	生活用水高置水槽			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~2年	10~15年	
	炉内噴霧水タンク			○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	15~20年	
	炉内噴霧水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~4年	15~20年	
	炉内水噴霧装置			○	ポンプ	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	10~15年	
				○	タンク	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~2年	15~20年	
	排水処理設備	(ごみピット排水処理)ごみピット汚水排水ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15~20年
		(ごみピット排水処理)ごみ汚ろ過器			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15~20年
(ごみピット排水処理)ろ液噴霧ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10~15年	
(ごみピット排水処理)ろ液噴霧機				○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1~2年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)炉内噴霧水タンク				○	本体	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1~4年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)ボイラブロー排水移送ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	10~15年	
(プラント・生活系排水処理)灰押出機排水ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)灰汚水移送ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	1~2年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)無機系自動スクリーン				○	ケーシング スクリーン	摩耗・腐食 摩耗・腐食・変形	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。 著しい摩耗・腐食・変形がないこと。	—	2年	10~15年	
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
(プラント・生活系排水処理)無機系調整槽ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)無機系受入調整槽				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
(プラント・生活系排水処理)有機系自動スクリーン				○	ケーシング スクリーン	摩耗・腐食 摩耗・腐食・変形	著しい摩耗・腐食・変形がないこと。	—	2年	10~15年	
				○	電動機	作動状況	動作不良がないこと。				
(プラント・生活系排水処理)有機系受入調整槽				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
(プラント・生活系排水処理)有機系調整槽ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15~20年	
(プラント・生活系排水処理)有機系計量槽				○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10~15年	
(プラント・生活系排水処理)ろ過ポンプ				○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15~20年	

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(7/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度	
排水 処理 設備	(プラント・生活系排水処理)ろ過器			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)逆洗ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15～20年
	(プラント・生活系排水処理)処理水移送ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15～20年
	(プラント・生活系排水処理)無機系汚泥計量槽			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)有機系汚泥計量槽			○	ケーシング	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)濃縮汚泥引抜ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)汚泥供給ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)汚泥脱水機			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	15～20年
	(プラント・生活系排水処理)脱水ケーキ移送ポンプ			○	本体	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)薬品貯留槽	○ 塩酸貯留槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
		○ 苛性ソーダ貯留槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
		○ 塩化第二鉄貯留槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
	(プラント・生活系排水処理)薬品溶解槽	○ 塩酸希釈槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
		○ 栄養剤溶解槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
		○ 凝集助剤溶解槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
		○ 脱水助剤溶解槽			○	摩耗・腐食	摩耗・腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	2年	15～20年
	(プラント・生活系排水処理)薬品移送ポンプ	○ 塩酸移送ポンプ(1)			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 塩酸移送ポンプ(2)			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 苛性ソーダ移送ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)薬液注入ポンプ	○ 塩酸注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 苛性ソーダ注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 塩化第二鉄注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 凝集助剤注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 脱水助剤注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
		○ 栄養剤注入ポンプ			○	摩耗・腐食 作動状況	著しい摩耗・腐食がないこと。 動作不良がないこと。	—	2年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)攪拌用ブロウ	○ ケーシング			○	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	10～15年
		○ インペラ			○	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。	—	1年	10～15年
		○ 電動機			○	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年
	(プラント・生活系排水処理)ばっ気用ブロウ	○ ケーシング			○	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	10～15年
		○ インペラ			○	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。	—	1年	10～15年
○ 電動機				○	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年	
(プラント・生活系排水処理)排気ファン	○ ケーシング			○	腐食	腐食が進行して、穴開き等の損傷が著しくないこと。	—	1年	10～15年	
	○ インペラ			○	摩耗・変形	著しい摩耗・変形がないこと。	—	1年	10～15年	
	○ 電動機			○	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年	
雑 設 備	計装用空気圧縮機			○	本体	漏れ 作動状況	エア・油・水漏れがないこと 動作不良がないこと。	—	2年	10～12年
	雑用空気圧縮機			○	本体	漏れ 作動状況	エア・油・水漏れがないこと 動作不良がないこと。	—	1年	10～12年
	機器搬入出用ホイスト(工作室用)			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年
	機器搬入出用ホイスト(炉室用)			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年
	機器搬入出用ホイスト(バグフィルタ用)			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年
	機器搬入出用ホイスト(非常用発電機室用)			○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年	10～15年
	放水銃		1		○	本体	作動状況	動作不良がないこと。	—	1年

表 3-6 主要設備・機器の機器別管理基準(8/8)

設備名	機器名称	保全方式			対処箇所 及び付属機器	診断項目	主な管理基準			目標耐用 年数
		BM	TBM	CBM			評価方法	管理値	診断頻度	
電気設備	受電設備		○	○	開閉器・受配電盤 ・変圧器	操作機構・遮断器・絶縁診断など 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	配電設備		○	○	配電盤	操作機構・遮断器・絶縁診断など 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	電力監視設備		○	○	監視盤	操作機構・遮断器・絶縁診断など 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	直流電源装置		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～15年
	自家用発電設備		○	○	非常用電動機	機能点検 ・無負荷試験など	動作が正常であること。 無負荷運転で異常のないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
			○	○	発電機	操作機構・遮断器・絶縁診断など 遮断器試験・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	補機動力盤		○	○	動力盤	遮断器試験・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	クレーン動力設備		○	○	動力盤	遮断器試験・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	DCS		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	2年	10～20年
	保護継電器		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	警報表示盤		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	計装分電盤		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	電気設備技術基準による	1年	10～20年
	計装付帯設備		○	○	塩化水素分析装置	機能点検など	動作が正常であること。	—	1年	10～15年
			○	○	Nox.SO2.CO分析装置	機能点検など	動作が正常であること。	—	1年	10～15年
			○	○	ばいじん計	機能点検など	動作が正常であること。	—	1年	10～15年
自動燃焼制御装置		○	○	本体	操作機構・遮断器・絶縁診断など	動作が正常であること。 絶縁抵抗の測定値に支障がないこと。	—	1年	10～20年	

#### (4) 健全度評価

本施設における今後の整備スケジュールを検討するにあたり、設備・機器の現状を整理するため、設備・機器の劣化状況を数値化した指標とする健全度を用いて、主要設備・機器の劣化状況を整理する。

主要設備・機器の健全度評価は、外観状態、作動状態の確認及び設計・施工業者や補修工事関連業者のヒアリング調査に基づき、下記の判定基準にて分類する。

表 3-7 健全度の判定基準

健全度	状 態	措 置
4	支障なし	しばらくは対処不要とする。
3	軽微な劣化が進んでいるが、 機能に支障なし	経過観察の結果から補修又は部品交換や更新を判断し、機能回復を実施する。 (現状に支障がなくても、年1回程度の点検整備が必要な設備・機器を含む)
2	劣化が進んでいるが、 機能回復が可能である	設備・機器の補修又は部品交換を行うことで、機能回復を実施する。
1	劣化が進み、 機能回復が困難である	設備・機器の更新を行うことで、機能回復を実施する。

表 3-8 主要設備・機器の健全度評価(1/6)

設備名	機器名称	数量等	種別	検査結果	健全度
受入供給設備	ごみ計量機	2基	NO.1	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	プラットホーム	2基	入口扉	扉のレールに腐食し、ゆがみがある。時期に扉を痛める可能性がある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			出口扉	扉のレールに腐食し、ゆがみがある。時期に扉を痛める可能性がある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	ごみ投入扉	6基	NO.1	扉が自体は劣化してきているが、外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			NO.2	扉が自体は劣化してきているが、外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			NO.3	最後まで扉が閉まりきれていない。そのため、ごみピットからの臭気が漏れている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			NO.4	扉のシール用のゴムが劣化してしまいなくなっている。そのため、ごみピットからの臭気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.5	扉のシール用のゴムが劣化してしまいなくなっている。そのため、ごみピットからの臭気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.6	扉のシール用のゴムが劣化してしまいなくなっている。そのため、ごみピットからの臭気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	ダンピングボックス	1基		定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
ごみ投入扉・ダンピングボックス用油圧ユニット	1台		著しい変形、腐食の進行は確認されず、作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
ごみクレーン	2基	NO.1	平成22年度に走行レール更新。バケットの爪、レール、横行走行装置の車輪における摩耗は軽微である。定期的を実施する点検整備にて各機器の経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
		NO.2	平成22年度に走行レール更新。バケットの爪、レール、横行走行装置の車輪における摩耗は軽微である。定期的を実施する点検整備にて各機器の経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
燃焼設備	ごみホッパ	3基	NO.1	著しい変形、腐食の進行は確認されず、外観状態に支障は認められない。健全度は、支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	著しい変形、腐食の進行は確認されず、外観状態に支障は認められない。健全度は、支障なしである「4」とする。	4
			NO.3	著しい変形、腐食の進行は確認されず、外観状態に支障は認められない。健全度は、支障なしである「4」とする。	4
	給じん装置	3基	NO.1	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、プッシュャーが摩耗し一部から水漏れが発生している。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.2	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、プッシュャーが摩耗し一部から水漏れが発生している。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.3	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、プッシュャーが摩耗し一部から水漏れが発生している。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	燃焼装置	3基	NO.1	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、サイドプレート・火格子は摩耗し一部割れているところもある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.2	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、サイドプレート・火格子は摩耗し一部割れているところもある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.3	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、サイドプレート・火格子は摩耗し一部割れているところもある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
焼却炉本体	3炉	1号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、耐火物が劣化しマンホール付近は脱落しているところがある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
		2号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、耐火物が劣化しマンホール付近は脱落しているところがある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
		3号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。現状、耐火物が劣化しマンホール付近は脱落しているところがある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
炉駆動用油圧装置	1式	1号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
		2号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
		3号炉	定期的を実施する点検整備にて経過観察と部品交換は必要とされる。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
燃料貯留槽	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
送油ポンプ 常時1台稼働 (交互運転：毎月変更)	2基	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
助燃バーナ	6基	1号炉×2	2基とも外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、メーカー解散のため部品入手困難である。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1	
		2号炉×2	2基とも外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、メーカー解散のため部品入手困難である。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1	
		3号炉×2	2基とも外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、メーカー解散のため部品入手困難である。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1	

表 3-8 主要設備・機器の健全度評価(2/6)

設備名	機器名称	数量等	種別	検査結果	健全度
燃焼ガス冷却設備	ボイラ	3基	NO.1	付属の輻射コンベヤのケーシングが腐食している。また、配管関係で問題がある。電磁弁は生産中止による基盤の入手困難である。調整弁は内部が摩耗している。配管ではブロー管より蒸気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.2	付属の輻射コンベヤのケーシングが腐食している。また、配管関係で問題がある。電磁弁は生産中止による基盤の入手困難である。調整弁は内部が摩耗している。配管ではブロー管より蒸気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			NO.3	付属の輻射コンベヤのケーシングが腐食している。また、配管関係で問題がある。電磁弁は生産中止による基盤の入手困難である。調整弁は内部が摩耗している。配管ではブロー管より蒸気が漏れている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	高圧蒸気だめ	2基	NO.1	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	低圧蒸気だめ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	高圧蒸気復水器	1式		外観としてはヘッダー部にさびがあり劣化し進んでいる。作動状態に支障は認められない。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	タービン排気復水器	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	脱気器給水ポンプ (交互運転:毎月変更)	3台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			C	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	脱気器	2基	NO.1	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ボイラ給水ポンプ 稼働系列に合わせて稼働 (交互運転)	4台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
C			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
D(予備)			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
純水移送ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
薬液注入装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、ポンプが老朽化している。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3	
排ガス処理設備	尿素水貯槽	1基		ケーシングの劣化が進んでいるため、内部より保温材を通し尿素水がにじみ出ている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	尿素水注入ポンプ 稼働系列に合わせて稼働 (交互運転)	4台	A	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			C	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			D(予備)	平成24年度に更新。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	減温水ポンプ	4台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			C	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			D	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	排ガス処理用空気圧縮機 稼働系列に合わせて稼働 (交互運転)	4台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			C	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			D	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	減温塔	3台	1号	内部部品が損耗している。また、保温材に焦げがあり、ケーシング(ノズル付近)に穴があいているものと考えられる。メーカーは解放しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			2号	内部部品が損耗している。また、保温材に焦げがあり、ケーシング(ノズル付近)に穴があいているものと考えられる。メーカーは解放しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
3号			内部部品が損耗している。また、保温材に焦げがあり、ケーシング(ノズル付近)に穴があいているものと考えられる。メーカーは解放しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1	
パージファン	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号	外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、モーターより異音が出ている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
		3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
消石灰貯留槽	1基		外観に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
消石灰定量供給装置	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
助剤貯留槽	1基		外観に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
助剤定量供給装置	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
消石灰輸送用プロフ	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
ろ過式集じん器	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
バグフィルタ用風循環ファン	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	

表 3-8 主要設備・機器の健全度評価 (3/6)

設備名	機器名称	数量等	種別	検査結果	健全度
余熱利用設備	蒸気タービン	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	潤滑油装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
				外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	発電機	1台		平成24年度に整備済。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
予備ボイラ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
通風設備	一次押込送風機	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	一次押込空気用空気予熱器	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	二次押込送風機	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	二次押込空気用空気予熱器	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	シール用送風機	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	誘引通風機	3台	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。しかし、モーターより異音が出ている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	煙道	3炉分	1号	内部腐食が進行している。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			2号	内部腐食が進行している。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
3号			内部腐食が進行している。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1	
エキスパンション	1式		内部腐食して、灰が蓄積している。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
灰出し設備	ストーカ下落じんコンベヤ	3基	1号	蓋が一部腐食しているが、作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	減温塔下スクリーコンベヤ	3基	1号	内部部品が損耗している。メーカーは解散しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			2号	内部部品が損耗している。メーカーは解散しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			3号	内部部品が損耗している。メーカーは解散しているため部品等が入手困難なものもある。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	減温塔下ダストコンベヤ	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	ケーシングが腐食しているため、保温材が破れ灰が出てきている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ボイラ下ダストコンベヤNo.1	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ボイラ下ダストコンベヤNo.2	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	灰押出機	3基	1号	シリンダーより油が漏れている。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			3号	シリンダーより油が漏れている。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	灰出しコンベヤ	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			2号	ケーシングに補修跡があるが、一部穴があいている。作動状態に支障は認められない。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
3号			外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
振動コンベヤ	3基	1号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
バグフィルタ下ダストコンベヤ	6基	1号-A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		1号-B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号-A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		2号-B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号-A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
		3号-B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	

表 3-8 主要設備・機器の健全度評価(4/6)

設備名	機器名称	数量等	種別	検査結果	健全度
灰出し設備	No.1Aダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.1Bダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.2Aダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.2Bダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.3Aダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.3Bダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.4Aダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	No.4Bダストコンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ダスト貯留槽	1基		外観に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ダスト切出コンベヤ用ブロウ	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	ダスト供給コンベヤ	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	集塵機ファン	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	集塵機	1基		ケーシングの劣化が進み錆が浮でてきている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	集塵機ダスト搬送コンベヤ	1基		スクリュウ羽根が摩耗で小さくなっている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	キレート剤サービスタンク	1基		外観に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	キレート剤供給ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	メカニカルシール部より水が漏れている。作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			B	メカニカルシール部より水が漏れている。作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	混練造粒機	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	加湿水タンク	1基		ケーシングの劣化が進んでいるので一部漏れが見られる。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	加湿水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
		B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
養生コンベヤ	1基		全ローラーケーシングが劣化している。作動状態に支障は認められない。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
灰クレーン	1基		平成24年度に更新(電気設備含む)。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
給水設備	プラント用水揚水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	機器冷却水揚水ポンプ 常時2台稼働 (交互運転:毎月変更)	3台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			C	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	機器冷却水冷却塔	1基		ケーシングの劣化がひどく水がしみ出てきている。健全度は劣化が進み、機能回復が困難と判断する「1」とする。	1
	機器冷却水薬注装置	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	冷却水ブースタポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	メカニカルシール部より水が漏れている。作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
			B	メカニカルシール部より水が漏れている。作動状態に支障は認められない。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	再利用水揚水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	洗浄水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	生活用水揚水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	炉内噴霧水ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
		B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
(プラント・生活系排水処理) ボイラブロー排水移送ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)		2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	(プラント・生活系排水処理) ろ過器	1基		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	(プラント・生活系排水処理) 濃縮汚泥引抜ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	(プラント・生活系排水処理) 汚泥供給ポンプ 常時1台稼働 (交互運転:毎月変更)	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	(プラント・生活系排水処理) 汚泥脱水機	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	(プラント・生活系排水処理) 脱水ケーキ移送ポンプ	1台		作動状態に支障は認められないが、いたる所が劣化している。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	(プラント・生活系排水処理) 薬品移送ポンプ	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
(プラント・生活系排水処理) 薬液注入ポンプ	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	

表 3-8 主要設備・機器の健全度評価 (5/6)

設備名	機器名称	数量等	種別	検査結果	健全度
雑設備	計装用空気圧縮機	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	雑用空気圧縮機	2台	A	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			B	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	機器搬入用ホイス (工作用)	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	機器搬入用ホイス (炉室用)	2台	NO.1	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	機器搬入用ホイス (バグフィルタ用)	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
機器搬入用ホイス (非常用発電機室用)	1台		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4	
電気設備	放水銃	2基	NO.1	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
			NO.2	外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	1号塩化水素分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	2号塩化水素分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	3号塩化水素分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	1号Nox.SO2.CO分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	2号Nox.SO2.CO分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	3号Nox.SO2.CO分析装置	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	1号ばいじん計	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	2号ばいじん計	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	3号ばいじん計	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。ただし、部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	特高圧変圧器			機器が老朽化している。現在使用中の遮断器及び接触器は生産中止となっている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	特高圧変圧器2次盤			機器が老朽化している。現在使用中の遮断器及び接触器は生産中止となっている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	NO.1 400V三相1500kVA変圧器盤			機器が老朽化している。現在使用中の遮断器及び接触器は生産中止となっている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	NO.2 400V三相1500kVA変圧器盤			機器が老朽化している。現在使用中の遮断器及び接触器は生産中止となっている。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	始動用直流電源盤	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	非常用発電機盤	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	防災用発電機	1式		H24年度電源部改修済。外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	発電機遮断器盤	1式		部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は、経過観察を要する「3」とする。	3
	非常用予備発電装置切替盤	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	タービン発電機監視盤	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	電力監視盤(1, 2, 3)	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	中央監視盤	1式		DCSモニタが欠損している。代用品で見れるようにしているが、サイズが合っていないため誇り等が入る可能性がある。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	運転監視システム	1式		ITVの作動が不安定で暗い。機器は生産中止となっており入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	防災監視盤	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	1号炉用コントロールステーション	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	2号炉用コントロールステーション	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	3号炉用コントロールステーション	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	電力用コントロールステーション	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	共通用コントロールステーション	1式		外観及び作動状態に支障は認められない。健全度は支障なしである「4」とする。	4
	1号炉用シーケンサ盤	1式		シーケンサが劣化しているため故障が発生している。部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
	2号炉用シーケンサ盤	1式		シーケンサが劣化しているため故障が発生している。部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2
3号炉用シーケンサ盤	1式		シーケンサが劣化しているため故障が発生している。部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
電力用シーケンサ盤	1式		シーケンサが劣化しているため故障が発生している。部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	
共通用シーケンサ盤	1式		シーケンサが劣化しているため故障が発生している。部品が生産中止となっており今後入手困難である。健全度は劣化が進んでいるが、機能回復が可能であると判断する「2」とする。	2	



#### (5) 整備スケジュール

主要設備・機器の維持補修履歴，機器別管理基準及び健全度評価を考慮し，今後の予定とする整備スケジュールを作成する。なお，整備スケジュールの期間は，ごみ処理施設の一般的な耐用年数や全国的に施設が廃止されている期間※を参考に，稼働開始から25年目(平成34年度)までの期間とした。

各設備・機器の整備スケジュールでは，これまでに一部更新を行っているものの，稼働開始から18年目(平成26年度)以降から目標耐用年数を超過する設備・機器は次第に増加し，稼働開始から21年目(平成30年度)以降には，ほとんどの設備・機器が目標耐用年数を迎える。

※) 環境省が行っている一般廃棄物処理実態調査より集計されたものであり，国内のごみ焼却施設では20～25年程度で廃止を迎える施設が多いとされている。

なお，保全方式は，各設備・機器の保全対象箇所ごとに選定し，及び特定する基準のもとに予防的な設備・機器の保全を行う「時間基準保全(TBM: Time-Based Maintenance)」，「状態基準保全(CBM: Condition-Based Maintenance)」，「法定検査(S)」に分類する。

保全方式の選定については，手引書を参考にするとともに，主要設備・機器は重要度の高い設備・機器として抽出したものであることから，「時間基準保全(TBM)」，「状態基準保全(CBM)」，「法定検査(S)」から選定する。

表 3-9 保全方式の分類

保全方式		保全方式選定の留意点
予防保全	時間基準保全〔TBM〕 (TBM: Time-Based Maintenance)	・ 具体的な劣化の兆候が把握し難い，又はパッケージ化されて損耗部のみのメンテナンスが行い難いもの ・ 構成部品に特殊部品があり，その調達期限があるもの
	状態基準保全〔CBM〕 (CBM: Condition-Based Maintenance)	・ 摩耗，破損，性能劣化が日常稼働中あるいは定期点検において，定量的又は比較的容易に判断できるもの
(備考)	法定検査〔S〕 (S: Statutory Check)	・ 法律に定められた検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(1/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ごみ計量機関連	4	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S	
No.1トラックスケール <b>W-0-101A</b>	4	2年	H23	15~20年	H24	T		T		T		T	
No.2トラックスケール <b>W-0-101B</b>	4	2年	H23	15~20年	H24	T		T		T		T	
プラットホーム関連													
入口扉	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
出口扉	2	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉関連													
ごみ投入扉No.1	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉No.2	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉No.3	1	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉No.4	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉No.5	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉No.6	2	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
ダンピングボックス <b>Z-0-105</b>	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
ごみ投入扉開閉用油圧装置													
油圧ポンプA	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプB	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油タンク	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油冷却器	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
ごみクレーン関連	3	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S	
No.1ごみクレーン <b>CR-0-101A</b>	3	2年	H25	5~10年	—	T		T		T		T	
No.2ごみクレーン <b>CR-0-101B</b>	3	2年	H25	5~10年	—	T		T		T		T	
走行レール	3	2年	—	15~20年	H22	T		T		T		T	
横行レール	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
灰クレーン関連	4	2年	H25	15~20年	—	S		S		S		S	
灰クレーン <b>CR-0-701</b>	4	2年	H25	5~10年	H24	T		T		T		T	
走行レール	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(2/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
灯油ユニット関連													
燃料貯留槽 <b>TK-0-201</b>	4	1年	—	10~15年	—	S	S	S	S	S	S	S	S
灯油移送ポンプA <b>P-0-201A</b>	4	4年	—	10~15年	—	T				T			
灯油移送ポンプB <b>P-0-201B</b>	4	4年	—	10~15年	—	T				T			
純水タンク/移送ポンプ関連													
純水移送ポンプ A <b>P-0-307A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
純水移送ポンプ B <b>P-0-307B</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
純水装置関連	3	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
純水装置制御盤	3	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
亜硫酸ソーダ溶解槽 <b>TK-0-303</b>	3	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
亜硫酸ソーダ注入ポンプ A <b>P-0-304A</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
亜硫酸ソーダ注入ポンプ B <b>P-0-304B</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
陽イオン交換塔 <b>T-0-301</b>	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
陰イオン交換塔中間コレクター	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
塩酸計量槽	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
塩酸注入エジェクタ	3	2年	H23	10~15年	H24	T		T		T		T	
ガスシール槽	3	2年	—	15~20年	—								
脱炭酸塔 <b>TK-0-302</b>	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
脱炭酸塔ファン <b>F-0-301</b>	3	2年	—	10~15年	H24	T		T		T		T	
吸込フィルター	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
脱炭酸塔下部貯槽（中間水槽） <b>TK-0-305</b>	3	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
陰イオン塔送水ポンプ A <b>P-0-305A</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
陰イオン塔送水ポンプ B <b>P-0-305B</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
陰イオン交換塔 <b>T-0-303</b>	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
陰イオン塔中間コレクター	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
苛性ソーダ計量槽	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
苛性ソーダ注入エジェクタ	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
再生水移送ポンプ A <b>P-0-308A</b>	3	3年	H23	10~15年	—	T			T			T	
再生水移送ポンプ B <b>P-0-308B</b>	3	3年	H25	10~15年	—			T			T		

T：時間基準保全  
C：状態基準保全  
S：法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(3/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
純水装置再生排水ブロー水槽 <b>PT-0-301</b>	3	2年	H17	15~20年	—	T		T		T		T	
純水再生排水攪拌ブロー	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
純水再生排水移送ポンプA <b>P-0-306A</b>	3	3年	H25	10~15年	—			T			T		
純水再生排水移送ポンプB <b>P-0-306B</b>	3	3年	H23	10~15年	—	T			T			T	
自動弁	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
サンプリング装置関連	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
清缶剤注入装置関連													
清缶剤注入ポンプA (1号炉) <b>P-0-321A</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプB (2号炉) <b>P-0-321B</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプC (3号炉) <b>P-0-321C</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプD (共通) <b>P-0-321D</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
清缶剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
脱酸剤注入装置関連													
脱酸剤注入ポンプA <b>P-0-322A</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
脱酸剤注入ポンプB <b>P-0-322B</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
脱酸剤注入ポンプC <b>P-0-322C</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
脱酸剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
保缶剤注入装置関連													
保缶剤注入ポンプA <b>P-0-324A</b>	3	4年	H25	10~15年	—		T				T		
保缶剤注入ポンプB <b>P-0-324B</b>	3	4年	H25	10~15年	—				T				T
保缶剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
復水処理剤注入装置関連													
復水処理剤ポンプA <b>P-0-323A</b>	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
復水処理剤ポンプB <b>P-0-323B</b>	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
復水処理剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
機器冷却水薬注装置関連													
機器冷却水薬注タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
機器冷却水薬注ポンプ <b>P-0-808</b>	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(4/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
尿素水関連													
尿素水貯槽 <b>TK-0-404</b>	1	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
尿素水注入ポンプA (1号炉) <b>P-0-402A</b>	4	2年	H24	10~15年	H22	T		T		T		T	
尿素水注入ポンプB (2号炉) <b>P-0-402B</b>	4	2年	H24	10~15年	H22	T		T		T		T	
尿素水注入ポンプC (3号炉) <b>P-0-402C</b>	4	3年	H25	10~15年	H22			T			T		
尿素水注入ポンプD (共通) <b>P-0-402D</b>	4	3年	H25	10~15年	H22			T			T		
消石灰関連													
消石灰貯留槽 <b>TK-0-402</b>	4	1年	H23	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
消石灰定量供給装置 <b>Z-0-402</b>	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
助剤関連													
助剤貯留槽 <b>TK-0-403</b>	4	4年	H22	15~20年	—	T				T			
助剤定量供給装置 <b>Z-0-403</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
減温水関連													
減温水ポンプA (1号炉) <b>P-0-401A</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
減温水ポンプB (2号炉) <b>P-0-401B</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
減温水ポンプC (3号炉) <b>P-0-401C</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
減温水ポンプD (共通) <b>P-0-401D</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
ダストコンベヤ関連													
No.1ダストコンベヤ <b>CN-0-708A/B</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
No.2ダストコンベヤ <b>CN-0-709A/B</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
No.3ダストコンベヤ <b>CN-0-710A/B</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
No.4ダストコンベヤ <b>CN-0-711A/B</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ダスト固化装置関連													
ダスト切出コンベヤ <b>DC-1</b>	4	2年	—	10~15年	H26予定	更		T		T		T	
混練造粒機 <b>Z-0-706</b>	4	2年	H24	15~20年	H26予定	更		T		T		T	
養生コンベヤ(ダスト固化) <b>CN-0-711</b>	2	2年	H22	10~15年	H26予定	更		T		T		T	
集塵機													
集塵機ファン <b>F-0-725</b>	4	1年	H22	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
集塵用ロータリーバルブ <b>Z-0-725</b>	4	2年	H22	10~15年	H26予定	更		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(5/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
集塵機ダスト搬送コンベヤ <b>Z-0-726</b>	1	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
ダスト貯留槽 <b>TK-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
ダスト貯留槽バグフィルタ	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ダスト切出コンベヤ用ブロワ	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
ダスト用エアーヒータ	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T			
ダスト定量供給機 <b>Z-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
ダスト供給コンベヤ <b>CN-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	H26予定	更		T		T		T	
キレート剤サービスタンク <b>TK-0-702</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
キレート剤供給ポンプA <b>P-0-703A</b>	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
キレート剤供給ポンプB <b>P-0-703B</b>	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
加湿水タンク <b>TK-0-701</b>	1	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
加湿水ポンプA <b>P-0-702A</b>	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
加湿水ポンプB <b>P-0-702B</b>	4	2年	H22	10~15年	H23	T		T		T		T	
井戸水/プラント水関連													
プラント用水揚水ポンプA <b>P-0-804A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
プラント用水揚水ポンプB <b>P-0-804B</b>	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
再利用水関連													
再利用水揚水ポンプA <b>P-0-809A</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T	
再利用水揚水ポンプB <b>P-0-809B</b>	4	2年	H22	10~15年	—		T		T		T		T
洗浄水ポンプA <b>P-0-806A</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T	
洗浄水ポンプB <b>P-0-806B</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T	
機器冷却水関連													
機器冷却塔 <b>T-0-801</b>	1	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
機器冷却水揚水ポンプA <b>P-0-807A</b>	4	3年	H24	10~15年	—		T			T			T
機器冷却水揚水ポンプB <b>P-0-807B</b>	4	3年	H24	10~15年	—	T			T			T	
機器冷却水揚水ポンプC <b>P-0-807C</b>	4	3年	H25	10~15年	—			T			T		
冷却水ブースタポンプA <b>P-0-810A</b>	3	3年	H23	10~15年	—	T			T			T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(6/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
生活用水槽/ポンプ関連						S	S	S	S	S	S	S	S
生活用水揚水ポンプA <b>P-0-801A</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
生活用水揚水ポンプB <b>P-0-801B</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
暖房関連						S	S	S	S	S	S	S	S
予備ボイラ <b>SB-1</b>	4	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
ボイラブロー/排水関連			—		—								
ボイラブロー排水移送ポンプA <b>P-0-903A</b>	4	3年	H25	10~15年	—			T			T		
ボイラブロー排水移送ポンプB <b>P-0-903B</b>	4	3年	H24	10~15年	—		T			T			T
排水処理関連													
苛性ソーダ貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
苛性ソーダ注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
苛性ソーダ注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
苛性ソーダ移送ポンプA (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
苛性ソーダ移送ポンプB (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
凝集剤貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
凝集剤注入ポンプA	4	2年	H23	10~15年	—	T		T		T		T	
凝集剤注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(1)A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(1)B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(2)A (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(2)B (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸希釈槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
塩酸注入ポンプA	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
塩酸注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
栄養剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
栄養剤注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
栄養剤注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
凝集助剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(7/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
凝集助剤注入ポンプA	4	2年	H25	10~15年	—	T		T		T		T	
凝集助剤注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
脱水助剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
脱水助剤注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
脱水助剤注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
濃縮汚泥引抜ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
濃縮汚泥引抜ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
汚泥供給ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
汚泥供給ポンプB	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
汚泥脱水機	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
脱水ケーキ移送ポンプ	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ごみピット汚水処理関連													
汚水ろ液噴霧ポンプA <b>P-0-902A</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプB <b>P-0-902B</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプC <b>P-0-902C</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプD <b>P-0-902D</b>	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
圧縮機関連													
計装用空気圧縮機A <b>CP-0-001A</b>	4	2年	H25	10~12年	—		T		T		T		T
計装用空気圧縮機B <b>CP-0-001B</b>	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T	
計装用空気だめ <b>TK-0-005</b>	4	2年	H21	10~12年	—	T		T		T		T	
計装用空気除湿機A <b>Z-0-003A</b>	4	2年	—	10~12年	—		T		T		T		T
計装用空気除湿機B <b>Z-0-003B</b>	4	2年	H25	10~12年	—	T		T		T		T	
計装用空気ラインフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T	
計装用空気ミストフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T	
雑用空気圧縮機A <b>CP-0-002A</b>	4	1年	H25	10~12年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
雑用空気圧縮機B <b>CP-0-002B</b>	4	1年	H25	10~12年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
雑用空気だめ <b>TK-0-006</b>	4	2年	H21	10~12年	—	T		T		T		T	
雑用空気除湿機 <b>Z-0-004</b>	4	2年	—	10~12年	—	T		T		T		T	
雑用空気ラインフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T	
雑用空気ミストフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全

S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(8/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
高圧蒸気だめ関連													
No.1高圧蒸気だめ <b>D-0-301A</b>	4	2年	H24	15~20年	—		T		T		T		T
No.2高圧蒸気だめ <b>D-0-301B</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
低圧蒸気だめ関連													
低圧蒸気だめ <b>SH-1</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
排気復水タンク/ポンプ関連													
排気復水タンク <b>TK-0-301</b>	4	1年	H24	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
脱気器関連													
No.1脱気器 <b>Z-0-306A</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
No.2脱気器 <b>Z-0-306B</b>	4	2年	H23	15~20年	—		T			T			T
脱気器給水ポンプA <b>P-0-302A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T			T			T
脱気器給水ポンプB <b>P-0-302B</b>	4	2年	H24	10~15年	—		T			T			T
脱気器給水ポンプC <b>P-0-303C</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T			T			T
蒸気タービン関連													
タービン本体	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
車室	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
羽根車心棒、羽根	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
パッキン箱	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
隔板、噴口	4	2年	H22	15~20年	H24	T		T		T		T	
軸受	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
ガバナ	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
主蒸気止め弁	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
ターンバックル	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
サーボモーター	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
主蒸気加減弁	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
蒸気シール弁	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
駆動軸(非常调速機) <b>SNC-631</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
カップリングカバー	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(9/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
軸継手	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
ターニング装置 <b>Z-0-541</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
減速装置 <b>GTZ-0-501</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
タービン外衣	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
タービン台板	4	4年	H24	15~20年	—			T				T	
タービン発電機													
タービン発電機 <b>Z-0-502</b>	4	1年	H25	15~20年	H24	T	T	T	T	T	T	T	T
復水器関連													
タービン排気復水器 <b>E-0-302</b>	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
高圧蒸気復水器	2	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
ボイラ給水関連													
ボイラ給水ポンプA <b>P-0-303A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
ボイラ給水ポンプB <b>P-0-303B</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ給水ポンプC <b>P-0-303C</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
ボイラ給水ポンプD (予備) <b>P-0-303D</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(10/23)(1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ごみホッパ	4	4年	—	15~20年		T				T			
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T				T			
ブリッジ解除装置	4	4年	—	15~20年	—	T				T			
ホッパシュート	4	4年	H22	15~20年	H23	T				T			
給じん装置 Z-1-202	2	1年	H18	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用油圧シリンダ	2	1年	—	5~10年	H18	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H24	2~10年	H16	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物	2	1年	H20	2~10年	H23	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-1-203	3	1年	H25	10~20年		T	T	T	T	T	T	T	T
油タンク	3	2年	H25	15~20年	—	T		T	T		T		T
油冷却器	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプA	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプB	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
油循環ポンプ	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
助燃バーナ													
助燃バーナA Z-1-205A	1	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
助燃バーナB Z-1-205B	1	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(11/23)(1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
減温塔関連													
減温塔 T-1-401	1	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
減温塔下スクリュコンベヤ CN-1-441	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
減温塔下ダストコンベヤ CN-1-707	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T	
消石灰/助剤関連													
消石灰輸送プロワ A F-1-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			T			T	
消石灰定量フィーダ Z-1-402	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
助剤定量フィーダ Z-1-403	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ関連													
バグフィルタ BF-1-401	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン F-1-442	4	3年	H22	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-1-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-1-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
1号ボイラ下・輻射部コンベヤ関連													
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-1-705	4	2年	H16	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-1-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
輻射部下ダストコンベヤ CN-1-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ストーカ下落じんコンベヤ CN-1-701	3	2年	H24	10~15年	H25		T		T		T		T
灰押出機 Z-1-701	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
灰出しコンベヤ CN-1-702	4	3年	H24	15~20年	H25			T			T		
振動コンベヤ CN-1-703	4	3年	H24	15~20年		T			T			T	
ボイラ関連													
ボイラ水管関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(12/23)(1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T	
ボイラ管寄せ関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H27 第1パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H29 第2パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H37 過熱器入口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H38 過熱器出口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(13/23)(1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
送風機/予熱器関連													
シーリング送風機 <b>F-1-603</b>	4	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-1-601</b>	4	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次空気予熱器 <b>E-1-601</b>	4	1年	H21	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-1-602</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次空気予熱器 <b>E-1-602</b>	4	1年	H21	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-1-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-1603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-1603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-1602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道風道関連													
煙突	4	4年	H22	15~20年	—	T				T			
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
 C : 状態基準保全  
 S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(14/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ごみホッパ	4	4年		15~20年		T				T			
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T				T			
ブリッジ解除装置	4	4年	—	15~20年	—	T				T			
ホッパシュート	4	4年	H24	15~20年	—	T				T			
給じん装置 Z-2-202	2	1年		5~10年		T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用油圧シリンダ	2	1年	—	5~10年	H18	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物(補修)	2	1年	H24	2~10年	H25	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-2-203	3	2年		10~20年			T		T		T		T
油タンク	3	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
油冷却器	3	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
油圧ポンプA	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
油圧ポンプB	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
油循環ポンプ	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T
助燃バーナ													
助燃バーナA Z-2-205A	1	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
助燃バーナB Z-2-205B	1	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(15/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
減温塔関連													
減温塔 T-2-401	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
2号減温塔下スクリュコンベヤ CN-2-441	1	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
2号減温塔下ダストコンベヤ CN-2-707	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
消石灰/助剤関連													
消石灰輸送プロフB F-2-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			T			T	
消石灰定量フィーダ Z-2-402	4	3年	H22	15~20年	—	T			T			T	
助剤定量フィーダ Z-2-403	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ関連													
バグフィルタ BF-2-401	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン F-2-442	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-2-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-2-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ下・輻射部関連													
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-2-705	4	2年	H15	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-2-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
輻射部下ダストコンベヤ CN-2-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ストーカ下落じんコンベヤ CN-2-701	4	2年	H22	10~15年	H27予定		更		T		T		T
灰押出機 Z-2-701	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
灰出しコンベヤ CN-2-702	4	3年	H25	15~20年	H28予定			更			T		
振動コンベヤ CN-2-703	4	3年	H22	15~20年	—	T			T			T	
ボイラ関連													
ボイラ水管関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(16/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
ボイラ管寄せ関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T	
H27 第1パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H29 第2パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H37 過熱器入口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H38 過熱器出口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(17/23)(2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
送風機/予熱器関連													
シール用送風機 <b>F-2-603</b>	4	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-2-601</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次空気予熱器 <b>E-2-601</b>	4	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-2-602</b>	4	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込空気予熱器 <b>E-2-602</b>	4	1年	H24	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-2-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-2603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-2603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-2602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道・風道関連													
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
 C : 状態基準保全  
 S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(18/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ごみホッパ	4	4年		15~20年		T				T			
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T				T			
ブリッジ解除装置	4	4年	H24	15~20年	—	T				T			
ホッパシュート	4	4年	H22	15~20年	—	T				T			
給じん装置 Z-3-202	2	1年		5~10年		T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用シリンダ	2	1年	H12	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物	2	1年	H23	2~10年	H24	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-3-203	3	2年	H24	10~20年		T		T		T		T	
油タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T	
油冷却器	3	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
油圧ポンプA	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T		T	
油圧ポンプB	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T		T	
油循環ポンプ	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T		T	
助燃バーナ													
助燃バーナA Z-3-205A	1	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T	
助燃バーナB Z-3-205B	1	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T	

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(19/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
減温塔関連													
減温塔 T-3-401	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
減温塔下スクリュコンベヤ CN-3-441	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
減温塔下ダストコンベヤ CN-3-707	4	2年	H17	10~15年	—	T		T		T		T	
消石灰/助剤関連													
消石灰輸送プロワ C F-3-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			T			T	
消石灰定量フィーダ Z-3-402	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
助剤定量フィーダ Z-3-403	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ関連													
バグフィルタ BF-3-401	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T	
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-3-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-3-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ下・輻射部関連													
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-3-705	4	2年	H17	10~15年	—	T		T		T		T	
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-3-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
輻射部下ダストコンベヤ CN-3-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T	
ストーカ下落じんコンベヤ CN-3-701	4	2年	H25	10~15年	H28予定			更		T		T	
灰押出機 Z-3-701	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T	
灰出しコンベヤ CN-3-702	4	3年	H24	15~20年	H27予定		更			T			T
振動コンベヤ CN-3-703	4	3年	H24	15~20年	—	T			T			T	
ボイラ関連													
ボイラ水管	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H24	15~20年	H25		T		T		T		T
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H24	15~20年	H25		T		T		T		T
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H24	15~20年	H25		T		T		T		T
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(20/23)(3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
ボイラ管寄せ	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T	
H27 第1パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H29 第2パツフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T	
H37 過熱器入口	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
H38 過熱器出口	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(21/23)(3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
送風機/予熱器関連													
シール用送風機 <b>F-3-603</b>	4	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-3-601</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込空気予熱器 <b>E-3-601</b>	4	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-3-602</b>	4	1年	H19	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込空気予熱器 <b>E-3-602</b>	4	1年	H20	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-3-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-3603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-3603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-3602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道・風道													
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
 C : 状態基準保全  
 S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(22/23) (電気設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
受電設備													
特別高圧変圧器	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
配電設備													
200-100V非常用配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
400V非常用配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用予備発電装置切換盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相1500 kVA変圧器(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相低圧主幹盤(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相低圧配電盤(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
400V母線連絡盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
200V三相低圧配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
単相配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
単相フィルタ盤	4	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
三相フィルタ盤	4	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
電力監視設備													
電力監視盤(1)(2)(3)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
特高変圧器二次盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
き電盤(No.1~No.5)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
コンデンサ盤(No.1~No.4)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
アクティブフィルタ盤(No.1, No.2, No.3)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用発電装置 (ディーゼル発電機)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用発電機 (防災用)	4	2年	—	15~20年	H24	T		T		T		T	
直流電源装置	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
サージアブソーバ盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
発電機遮断器盤	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
タービン発電機監視盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機VVVF盤(1号, 2号, 3号)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

表 3-10 主要設備・機器の整備スケジュール(23/23) (電気設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
								20年目					25年目
DCS													
CRTディスプレイ	2	2年	H23	15~20年	—		T		T		T		T
警報表示盤	4	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
共用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
電力用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
1号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
2号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
3号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H23	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
シーケンサ盤			H24	15~20年	—								
共通シーケンサ盤	2	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
電力用シーケンサ盤	2	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T
1号炉用シーケンサ盤	2	3年	H24	15~20年	—		T			T			T
2号炉用シーケンサ盤	2	3年	H25	15~20年	—			T			T		
3号炉用シーケンサ盤	2	3年	H23	15~20年	—	T			T			T	
計装分電盤													
共用分電盤	2	1年	H16	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
中央監視盤	2	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
公害監視盤	2	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
監視用ITV装置	2	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T
高精細映像システム	2	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全  
C : 状態基準保全  
S : 法定検査

#### 4. 延命化計画

##### (1) 延命化の目標

###### ① 将来計画

本施設は基幹改修を実施する時期を迎えており、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に基づき、今後も適正な維持管理を行い、本施設の長寿命化を図っていく。

###### ② 延命化の目標年数の設定

焼却施設の耐用年数は一般的に20～25年程度とされており、国内の焼却施設で経過年数を21年以上経過している施設は、全体の約3割程度といわれている。

本施設は平成25年度で竣工から17年が経過し、多くの設備・機器が既に耐用年数を迎えている。また、今後数年間後には大半の設備・機器が耐用年数を迎えることから、早期に延命化対策を図り、これまで焼却施設の一般的な耐用年数とされる20年を超える施設の延命化を図っていくことが望まれる。これら現状を考慮して、延命化工事の実施を平成27年度から計画し、工事完了後10年間の延命化を見込み、本計画における延命化の目標年数を平成41年度までとする。

###### ③ 延命化に向けた検討課題

施設の延命化を行ううえでの検討課題をつぎに示す。

表 4-1 延命化に向けた検討課題

項目	内容
延命化対策工事 中の廃棄物処理方法	本施設における処理計画に基づき、炉の停止期間もしくは稼働中に実施可能な工事を行っていく。

###### ④ 目標とする性能水準の設定

施設の延命化を行ううえで目標とする性能水準をつぎに設定する。

表 4-2 施設の延命化の目標とする性能水準

項目	目標
<エネルギー回収の向上> 余剰蒸気を有効利用し、発電量の増加を図る。	発電量の向上
<省エネルギー化> 各設備・機器における高効率化等における省エネルギー化を図る。	電力使用量削減
<老朽化対策> 劣化した設備・機器の措置及び改良を実施し、施設の延命化を図る。	設備・機器の保全

⑤ 性能水準達成に必要となる改良範囲の抽出

性能水準を達成するために必要となる改良範囲をつぎに抽出する。

表 4-3 改良範囲の抽出

項目	目標	対応策(改良内容)	関連する設備													
			受入供給設備	燃焼設備	燃焼ガス冷却設備	排ガス処理設備	余熱利用設備	通風設備	灰出し設備	給水設備	排水処理設備	電気設備	計装制御設備	雑設備・建築設備		
エネルギー回収の向上	発電量の向上	○余剰蒸気の有効利用					●						●	●		
省エネルギー化	電力使用量の削減	○高効率モータの採用	●		●	●			●	●	●	●				
		○省エネ型機器の採用													●	
老朽化対策	設備・機器の保全	○設備・機器の改良				●										
		○劣化した設備・機器への対応	●	●	●				●	●			●	●	●	

(2) 延命化工事の実施時期

延命化工事の実施時期は、4. (1)の「② 延命化の目標年数の設定」より平成 27 年度からの実施を計画する。延命化工事の事業期間は工事内容から、5 年間の事業期間を要することが考えられる。

### (3) 延命化の効果

本施設の延命化による効果を評価するため、手引書にもとづいて廃棄物処理のライフサイクルコスト(以下、「廃棄物処理LCC」とする)を低減することが可能であるかを比較し確認を行う。なお、評価にあたっては、本施設の延命化を図る場合(以下、「延命化する場合」とする。)と施設を更新する場合(以下、「施設更新する場合」とする。)との廃棄物処理LCCの比較を行い、延命化の効果について総合的に評価する。

#### ① 検証対象期間

延命化計画策定の次年度にあたる平成26年度を開始年度とし、延命化の目標年数とする平成41年度までを検証対象期間とする。

なお、施設更新する場合の期間については、手引書及び一般的なごみ処理施設の耐用年数を参考に稼働年数を20年間(延命化対策を行わない場合)と想定して検証を行う。

#### **<検証対象期間>**

**開始年度：平成26年度(延命化計画策定の次年度)**

**終了年度：平成41年度(延命化の目標年数として定めた年度)**

表 4-4 廃棄物 L C C に関する検証対象期間の設定

年度	稼働後年数 (平成9年3月稼働)	延命化する場合	施設更新する場合	備考
平成25	17年目			延命化計画策定
平成26	18年目	工事発注準備	現施設 稼働期間	(1)
平成27	19年目	延命化工事 1年目		(2)
平成28	20年目	延命化工事 2年目		(3)
平成29	21年目	延命化工事 3年目		(4)
平成30	22年目	延命化工事 4年目		更新工事 1年目 (5)
平成31	23年目	延命化工事 5年目	更新工事 2年目 (6)	
平成32	24年目	①	更新工事 3年目 (7)	検討対象期間 (16年間)
平成33	25年目	②	更新工事 4年目 (8)	
平成34	26年目	③	① (9)	
平成35	27年目	④	② (10)	
平成36	28年目	⑤	③ (11)	
平成37	29年目	⑥	④ (12)	
平成38	30年目	⑦	⑤ (13)	
平成39	31年目	⑧	⑥ (14)	
平成40	32年目	⑨	⑦ (15)	
平成41	33年目	⑩	⑧ (16)	
平成42	34年目		新施設 稼働期間	
平成43	35年目			
平成44	36年目			
平成45	37年目			

② 対象とする費用

廃棄物処理LCCの算出にあたり、算出対象とする費用をつぎに示すとおり設定する。

表 4-5 廃棄物処理LCC算出の対象費用

項目	内 訳 (経費)	
	延命化する場合	施設更新する場合
廃棄物処理イニシャルコスト	・延命化工事費	・新施設建設費
廃棄物処理ランニングコスト	・点検補修費	・点検補修費

③ 将来費用の現在価値化(社会的割引率)

廃棄物処理LCCの算出にあたり、基準年度から検証対象期間の最終年度までの各年度の費用計算結果については、手引書に準じて次式にて社会的割引率による現在価値に換算する。

社会的割引率とは、将来の価値を現在の価値に換算するための係数であり、公共事業の分野では社会的割引率を4%と設定している。

<算出式>

現在価値 = t 年度における経費計算結果 ÷ t 年度の割引係数

割引係数 :  $(1 + r)^{-j}$

r : 割引率 (4% = 0.04)

j : 基準年度からの経過年数 (基準年度 = 1)

※) 基準年度は、延命化計画策定時において把握する経費となるため、延命化計画策定の平成 25 年度となる。

表 4-6 社会的割引率 4%における割引係数

経過年数 (j)	割引係数	経過年数 (j)	割引係数
1	1.0000	11	1.4802
2	1.0400	12	1.5395
3	1.0816	13	1.6010
4	1.1249	14	1.6651
5	1.1699	15	1.7317
6	1.2167	16	1.8009
7	1.2653	17	1.8730
8	1.3159	18	1.9479
9	1.3686	19	2.0258
10	1.4233	20	2.1068

④ 費用算出の条件設定

各ケースにおける費用算出の条件をつぎに示すとおり設定する。

表 4-7 延命化する場合における費用算出の条件設定

現施設：ストーカ式焼却炉(発電付き)							
稼働開始	平成9年3月(平成25年度時点：稼働から17年目)						
延命化計画策定	平成25年度策定						
延命化目標年	平成41年度まで(稼働開始から33年目まで)						
延命化工事実施時期 及び工事費※	実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	合計
	設計・施工費	350,750千円	1,052,250千円	2,104,500千円	2,104,500千円	1,403,000千円	7,015,000千円

※) 想定出来高を平成27年度(5%)、平成28年度(15%)、平成29年度(30%)、平成30年度(30%)、平成31年度(20%)とする。

表 4-8 施設更新する場合における費用算出の条件設定

新施設(想定)：ストーカ式焼却炉(発電付き)						
新施設稼働開始	平成34年度					
新施設建設期間	平成30年度～平成33年度(4ヵ年事業)					
新施設建設費※	実施年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
	設計・施工費	1,237,595千円	7,425,570千円	7,425,570千円	8,663,165千円	24,751,900千円
想定される新施設稼働期間 (残存価値算出用)	20年間(延命化対策を行わない場合)					

※) 新施設の規模：375t/日(現施設と同規模)

施設建設費は本施設の施設建設費、工期に準じて以下のとおり設定する。

建設費＝ 24,751,900(千円)

なお、想定出来高を平成30年度(5%)、平成31年度(30%)、平成32年度(30%)、平成33年度(35%)とする。

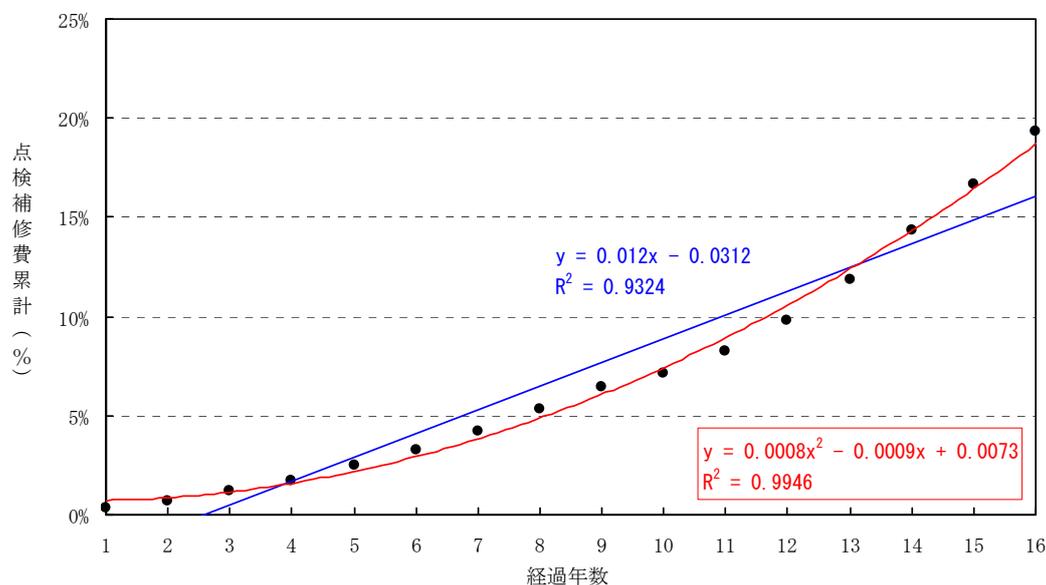
⑤ 点検補修費の推定

ア 延命化する場合における点検補修費の推定

点検補修費は、本施設における実績から推定し定める。

表 4-9 建設費に対する点検補修費の割合

	施設稼働からの経過年数	建設費に対する点検補修費の割合			施設稼働からの経過年数	建設費に対する点検補修費の割合	
		各年度	累計			各年度	累計
実績値	(1)	0.303%	0.303%	推定値	(18)	2.710%	25.030%
	(2)	0.400%	0.703%		(19)	2.870%	27.900%
	(3)	0.500%	1.203%		(20)	3.030%	30.930%
	(4)	0.500%	1.703%		(21)	3.190%	34.120%
	(5)	0.771%	2.474%		(22)	3.350%	37.470%
	(6)	0.771%	3.245%		(23)	3.510%	40.980%
	(7)	0.999%	4.244%		(24)	3.670%	44.650%
	(8)	1.112%	5.356%		(25)	3.830%	48.480%
	(9)	1.066%	6.422%		(26)	3.990%	52.470%
	(10)	0.736%	7.158%		(27)	4.150%	56.620%
	(11)	1.118%	8.276%		(28)	4.310%	60.930%
	(12)	1.504%	9.780%		(29)	4.470%	65.400%
	(13)	2.073%	11.853%		(30)	4.630%	70.030%
	(14)	2.469%	14.322%		(31)	4.790%	74.820%
	(15)	2.311%	16.633%		(32)	4.950%	79.770%
	(16)	2.731%	19.364%		(33)	5.110%	84.880%



※ R²(決定係数)：0～1 の範囲で示され、相関の程度を表す指標である。R²=0.9 以上で相関が良いといえる。なお、今回はR²(決定係数)が最も1に近似している近似式(多項式)を採用する。

図 4-1 点検補修費(建設費に対する割合累計)の傾向と推定

表 4-10 延命化する場合における点検補修費

年度	経過年数	(A)				
		延命化工事範囲外の点検補修費 (延命化工事を行わなかった既存の範囲に要する点検補修費)				
		a	b=a×c	c=e-d	d	e
		建設費に対する 点検補修費割合	点検補修費 (千円)	点検補修費 算定用の建設費 (千円)	延命化工事費 (設計・施工費分) (千円)	建設費 (工事費) (千円)
平成26	(18)	2.710%	670,776	24,751,900		24,751,900
平成27	(19)	2.870%	710,380	24,751,900	350,750	24,751,900
平成28	(20)	3.030%	739,355	24,401,150	1,052,250	24,751,900
平成29	(21)	3.190%	744,830	23,348,900	2,104,500	24,751,900
平成30	(22)	3.350%	711,687	21,244,400	2,104,500	24,751,900
平成31	(23)	3.510%	671,810	19,139,900	1,403,000	24,751,900
平成32	(24)	3.670%	650,944	17,736,900		24,751,900
平成33	(25)	3.830%	679,323	17,736,900		24,751,900
平成34	(26)	3.990%	707,702	17,736,900		24,751,900
平成35	(27)	4.150%	736,081	17,736,900		24,751,900
平成36	(28)	4.310%	764,460	17,736,900		24,751,900
平成37	(29)	4.470%	792,839	17,736,900		24,751,900
平成38	(30)	4.630%	821,218	17,736,900		24,751,900
平成39	(31)	4.790%	849,598	17,736,900		24,751,900
平成40	(32)	4.950%	877,977	17,736,900		24,751,900
平成41	(33)	5.110%	906,356	17,736,900		24,751,900
計		—	12,035,336	—	7,015,000	—

年度	経過年数	(B)											(C)=(A)+(B) 延命化工事後の 点検補修費 (A):b+(B):B (千円)	
		延命化工事範囲の点検補修費 (延命化工事範囲に関する点検補修費)												
		点検補修費割合 A					点検補修費 B=A×C					延命化工事費 (設計・施工費分) C (千円)		
		平成27年度 工事分	平成28年度 工事分	平成29年度 工事分	平成30年度 工事分	平成31年度 工事分	平成27年度 工事分 (千円)	平成28年度 工事分 (千円)	平成29年度 工事分 (千円)	平成30年度 工事分 (千円)	平成31年度 工事分 (千円)			合計 (千円)
平成26	(18)										0		670,776	
平成27	(19)	0.303%				1,063					1,063	350,750	711,443	
平成28	(20)	0.400%	0.303%			1,403	3,188				4,591	1,052,250	743,946	
平成29	(21)	0.500%	0.400%	0.303%		1,754	4,209	6,377			12,340	2,104,500	757,170	
平成30	(22)	0.500%	0.500%	0.400%	0.303%	1,754	5,261	8,418	6,377		21,810	2,104,500	733,497	
平成31	(23)	0.771%	0.500%	0.500%	0.400%	0.303%	2,704	5,261	10,523	8,418	4,251	31,157	1,403,000	702,967
平成32	(24)	0.771%	0.771%	0.500%	0.500%	0.400%	2,704	8,113	10,523	10,523	5,612	37,475		688,419
平成33	(25)	0.999%	0.771%	0.771%	0.500%	0.500%	3,504	8,113	16,226	10,523	7,015	45,381		724,704
平成34	(26)	1.112%	0.999%	0.771%	0.771%	0.500%	3,900	10,512	16,226	16,226	7,015	53,879		761,581
平成35	(27)	1.066%	1.112%	0.999%	0.771%	0.771%	3,739	11,701	21,024	16,226	10,817	63,507		799,588
平成36	(28)	0.736%	1.066%	1.112%	0.999%	0.771%	2,582	11,217	23,402	21,024	10,817	69,042		833,502
平成37	(29)	1.118%	0.736%	1.066%	1.112%	0.999%	3,921	7,745	22,434	23,402	14,016	71,518		864,357
平成38	(30)	1.504%	1.118%	0.736%	1.066%	1.112%	5,275	11,764	15,489	22,434	15,601	70,563		891,781
平成39	(31)	2.073%	1.504%	1.118%	0.736%	1.066%	7,271	15,826	23,528	15,489	14,956	77,070		926,668
平成40	(32)	2.469%	2.073%	1.504%	1.118%	0.736%	8,660	21,813	31,652	23,528	10,326	95,979		973,956
平成41	(33)	2.311%	2.469%	2.073%	1.504%	1.118%	8,106	25,980	43,626	31,652	15,686	125,050		1,031,406
計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	780,425	7,015,000	12,815,761	

イ 施設更新する場合における点検補修費の試算

新施設を建設して稼働するまでは、現施設の稼働しなければいけないため現施設における点検補修費を計上する。新施設の稼働以降は、新施設における点検補修費を計上する。

表 4-11 施設更新する場合における点検補修費

年度	経過年数	(A) 現施設の点検補修費			(B) 新施設の点検補修費			(C)=(A)+(B)
		a	b=a×c	c	A	B=A×C	C	検討対象期間中の点検補修費
		建設費に対する点検補修費割合	点検補修費 (千円)	点検補修費算定用の現施設建設費 (千円)	建設費に対する点検補修費割合	点検補修費 (千円)	点検補修費算定用の新施設建設費 (千円)	点検補修費 (A):b+(B):B (千円)
平成26	(18)	2.710%	670,776	24,751,900				670,776
平成27	(19)	2.870%	710,380	24,751,900				710,380
平成28	(20)	3.030%	749,983	24,751,900				749,983
平成29	(21)	3.190%	789,586	24,751,900				789,586
平成30	(22)	3.350%	829,189	24,751,900				829,189
平成31	(23)	3.510%	868,792	24,751,900				868,792
平成32	(24)	3.670%	908,395	24,751,900				908,395
平成33	(25)	3.830%	947,998	24,751,900				947,998
平成34	(26)				0.303%	74,998	24,751,900	74,998
平成35	(27)				0.400%	99,008	24,751,900	99,008
平成36	(28)				0.500%	123,760	24,751,900	123,760
平成37	(29)				0.500%	123,760	24,751,900	123,760
平成38	(30)				0.771%	190,837	24,751,900	190,837
平成39	(31)				0.771%	190,837	24,751,900	190,837
平成40	(32)				0.999%	247,271	24,751,900	247,271
平成41	(33)				1.112%	275,241	24,751,900	275,241
計		—	6,475,099	—	—	1,325,712	—	7,800,811

⑥ 廃棄物処理LCCの試算結果

ア 延命化する場合における廃棄物LCC

延命化する場合における廃棄物LCCの算定結果をつぎに示す。なお、延命化した場合の残存価値は無いものとする。

表 4-12 延命化する場合の廃棄物処理LCC算定結果

年度	経過年数	社会的割引考慮前			社会的割引考慮後			
		延命化工事費 (千円)	点検補修費 (千円)	計 (千円)	割引係数 (計画策定年度=1.000)	延命化工事費 (千円)	点検補修費 (千円)	計 (千円)
平成26	(18)		670,776	670,776	1.0400		644,977	644,977
平成27	(19)	350,750	711,443	1,062,193	1.0816	324,288	657,769	982,057
平成28	(20)	1,052,250	743,946	1,796,196	1.1249	935,416	661,344	1,596,760
平成29	(21)	2,104,500	757,170	2,861,670	1.1699	1,798,872	647,209	2,446,081
平成30	(22)	2,104,500	733,497	2,837,997	1.2167	1,729,679	602,858	2,332,537
平成31	(23)	1,403,000	702,967	2,105,967	1.2653	1,108,828	555,573	1,664,401
平成32	(24)		688,419	688,419	1.3159		523,154	523,154
平成33	(25)		724,704	724,704	1.3686		529,522	529,522
平成34	(26)		761,581	761,581	1.4233		535,081	535,081
平成35	(27)		799,588	799,588	1.4802		540,189	540,189
平成36	(28)		833,502	833,502	1.5395		541,411	541,411
平成37	(29)		864,357	864,357	1.6010		539,886	539,886
平成38	(30)		891,781	891,781	1.6651		535,572	535,572
平成39	(31)		926,668	926,668	1.7317		535,120	535,120
平成40	(32)		973,956	973,956	1.8009		540,816	540,816
平成41	(33)		1,031,406	1,031,406	1.8730		550,671	550,671
計		7,015,000	12,815,761	19,830,761		5,897,083	9,141,152	15,038,235

(廃棄物処理LCCから控除する施設の残存価値)

延命化した場合の残存価値は無いものとする。

イ 施設更新する場合における廃棄物LCC

施設更新する場合における廃棄物LCCの算定結果をつぎに示す。なお、施設更新する場合の残存価値を見込み、費用から控除する。

表 4-14 施設更新する場合の廃棄物処理LCC算定結果

年度	経過年数	社会的割引考慮前			社会的割引考慮後			
		新施設建設費 (千円)	点検補修費 (千円)	計 (千円)	割引係数	新施設建設費 (千円)	点検補修費 (千円)	計 (千円)
平成26	(18)		670,776	670,776	1.0400		644,977	644,977
平成27	(19)		710,380	710,380	1.0816		656,786	656,786
平成28	(20)		749,983	749,983	1.1249		666,711	666,711
平成29	(21)		789,586	789,586	1.1699		674,918	674,918
平成30	(22)	1,237,595	829,189	2,066,784	1.2167	1,017,174	681,507	1,698,681
平成31	(23)	7,425,570	868,792	8,294,362	1.2653	5,868,624	686,629	6,555,253
平成32	(24)	7,425,570	908,395	8,333,965	1.3159	5,642,959	690,322	6,333,281
平成33	(25)	8,663,165	947,998	9,611,163	1.3686	6,329,947	692,677	7,022,624
平成34	(26)		74,998	74,998	1.4233		52,693	52,693
平成35	(27)		99,008	99,008	1.4802		66,888	66,888
平成36	(28)		123,760	123,760	1.5395		80,390	80,390
平成37	(29)		123,760	123,760	1.6010		77,302	77,302
平成38	(30)		190,837	190,837	1.6651		114,610	114,610
平成39	(31)		190,837	190,837	1.7317		110,202	110,202
平成40	(32)		247,271	247,271	1.8009		137,304	137,304
平成41	(33)		275,241	275,241	1.8730		146,952	146,952
計		24,751,900	7,800,811	32,552,711		18,858,704	6,180,868	25,039,572

(廃棄物処理LCCから控除する施設の残存価値)

新施設建設費	合計：24,751,900千円（本体工事費）
想定される新施設稼働年数 （残存価値算出用）	20年間（延命化対策を行わない場合）
検討対象期間中に稼働する年数	8年間（平成34年度～平成41年度）
検討対象期間終了時点の残存価値 <sup>※1</sup>	14,851,140千円（平成41年度時点）
検討対象期間終了時点の割引係数	1.8730（平成41年度時点）
検討対象期間終了時点の残存価値 <sup>※2</sup> 〔社会的割引率を考慮後〕	7,929,066千円（平成41年度時点）

※1) 検討対象期間終了時点の残存価値

(新施設建設費) - (新施設建設費) × (検討対象期間中に稼働する年数 ÷ 想定される新施設稼働年数)

※2) 検討対象期間終了時点の残存価値〔社会的割引率を考慮後〕

(検討対象期間終了時点の残存価値) ÷ (検討対象期間終了時点の割引係数)

(4) 延命化効果のまとめ(廃棄物処理LCCの試算結果)

検討対象期間内における廃棄物処理LCCの試算結果(社会的割引を考慮したコスト)をまとめたものをつぎに示す。

表 4-15 廃棄物処理LCCの算定結果

比較項目		将来の対応	検討対象期間 (平成26年度～平成41年度：16年間)	
			延命化する場合	施設更新する場合
廃棄物 処理 LCC	延命化工事費		5,897,083 千円	—
	建設費		—	18,858,704 千円
	点検補修費		9,141,152 千円	6,180,868 千円
	小 計		15,038,235 千円	25,039,572 千円
	残存価値	現施設	0 千円	0 千円
		新施設	—	7,929,066 千円
	合 計 (残存価値控除後)		15,038,235 千円	17,110,506 千円
評 価			○	△
		「延命化する場合」と「施設更新する場合」を廃棄物処理LCCにより定量的に比較した結果、「延命化する場合」の方が廃棄物処理LCCを低減できることが見込まれる。		

(5) 延命化対策による二酸化炭素排出量削減効果

延命化対策による消費電力量の削減及び発電量の増加効果の推定に基づき、二酸化炭素量の削減効果をつぎに示す。算出方法については「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル(平成22年3月) 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課」に準じて算出する。

表 4-16 延命化対策による二酸化炭素排出量削減効果 試算一覧表

	No.	項目	単位	実績平均値	備考
	改良 工事前	(1)	1日当たりの運転時間	h/日	24
(2)		施設の定格ごみ焼却量	t/日	315	
(3)		1日当たりのごみ焼却量	t/日	216	平成25年11月15日～22日、平成25年12月21日～28日の平均値
(4)		1日当たりの消費電力量	kWh/日	19,012	プラント動力分、平成25年11月15日～22日、平成25年12月21日～28日の平均値
(5)		電力のCO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kWh	0.00055	マニュアル <sup>※</sup> より
(6)		1日当たりの燃料使用量	kL/日	0	平成25年11月15日～22日、平成25年12月21日～28日の平均値
(7)		燃料のCO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kL	2.49	マニュアル <sup>※</sup> (灯油の場合)より
(8)		1日当たりの発電電力量	kWh/日	75,244	平成25年11月15日～22日、平成25年12月21日～28日の平均値
(9)		1日当たりの熱利用量	GJ/日	132	平成25年11月15日～22日、平成25年12月21日～28日の平均値
(10)		熱利用CO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /GJ	0.057	マニュアル <sup>※</sup> より
(11)		ごみトン当たりのCO <sub>2</sub> 排出量① (削減率算出式の分母の基礎)	kg-CO <sub>2</sub> /t-ごみ	48.4	$[(4) \times (5) + (6) \times (7)] \div (3) \times 1000$
(12)		立上下げ時の燃料使用量	kL/炉/回	6	想定値
(13)		運転炉数	-	3	
(14)		改良前の年間CO <sub>2</sub> 排出量① (削減率算式の分母)	t-CO <sub>2</sub> /年	4,450	$(11) \times (2) \times 280 \div 1000 + (12) \times (13) \times 4 \times (7)$
(15)		ごみトン当たりのCO <sub>2</sub> 排出量② (削減率算出式の分子の基礎)	kg-CO <sub>2</sub> /t-ごみ	-178.0	$[(4) \times (5) + (6) \times (7) - (8) \times (5) - (9) \times (10)] \div (3) \times 1000$
(16)		改良前の年間CO <sub>2</sub> 排出量② (削減率算式の分子)	t-CO <sub>2</sub> /年	-15,520	$(15) \times (2) \times 280 \div 1000 + (12) \times (13) \times 4 \times (7)$
改良 工事後	①	1日当たりの運転時間	h/日	24	改良前工事(1)に同じ
	②	施設の定格ごみ焼却量	t/日	315	改良前工事(2)に同じ
	③	1日当たりのごみ焼却量	t/日	216	改良前工事(3)に同じ
	④	1日当たりの消費電力量	kWh/日	19,012	[改良前工事(4)] - [削減電力量の合計] * 削減量の及ぼす影響が小さいため省略する
	⑤	電力のCO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kWh	0.00055	マニュアル <sup>※</sup> より
	⑥	1日当たりの燃料使用量	kL/日	0	改良前工事(6)に同じ
	⑦	燃料のCO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kL	2.49	マニュアル <sup>※</sup> (灯油の場合)より
	⑧	1日当たりの発電電力量	kWh/日	81,600	[改良前工事(8)] + [増加発電量] * 設計施工関連メーカー試算
	⑨	1日当たりの熱利用量	GJ/日	132	改良前工事(9)に同じ
	⑩	熱利用CO <sub>2</sub> 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /GJ	0.057	マニュアル <sup>※</sup> より
	⑪	ごみトン当たりのCO <sub>2</sub> 排出量 (削減率算出式の分子の基礎)	kg-CO <sub>2</sub> /t-ごみ	-194.2	$[(4) \times (5) + (6) \times (7) - (8) \times (5) - (9) \times (10)] \div (3) \times 1000$
	⑫	立上げ下げ時の燃料使用量	kL/回・炉	6	改良前工事(12)に同じ
	⑬	運転炉数	-	2	
	⑭	改良後の年間CO <sub>2</sub> 排出量 (削減率算式の分子)	t-CO <sub>2</sub> /年	-17,009	$(11) \times (2) \times 280 \div 1000 + (12) \times (13) \times 4 \times (7)$
基幹改良CO <sub>2</sub> 削減率			%	33.5	$[(16) - (14)] \div (14) \times 100$

※)「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル」(平成22年3月) 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課  
ただし、電力のCO<sub>2</sub>排出係数については、下記の公表による代替値(0.00055t-CO<sub>2</sub>/kWh)とする。  
「平成24年度の電気事業者ごとの実排出係数・調整後排出係数等の公表について」(平成25年12月) 環境省

(6) 延命化計画のまとめ

延命化計画の内容についてつぎにまとめる。

表 4-17 延命化計画のまとめ

項 目		計 画 内 容
延命化計画 の 目 標	目 標 年 数	平成 41 年度(稼働開始から 33 年目)
	目 標 と す る 性 能 水 準	<エネルギー回収の向上> 余剰蒸気を有効利用し、発電量の増加を図る。
		<省エネルギー化> 各設備・機器における高効率化等における省エネルギー化を図る。
	<老朽化対策> 劣化した設備・機器の措置及び改良を実施し、施設の延命化を図る。	
延命化工事 の 概 要	工 事 概 要	工事概要，対策の目的及び効果については，表 4-18 に示すとおり
	実 施 時 期	平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間
	工 事 工 程	本施設におけるごみ処理計画に基づき，炉の停止期間もしくは稼働中に実施可能な工事を行っていきけるよう工事工程を設定していく。表 4-18 参照
	概 算 工 事 費	7,015,000 千円(平成 27 年度～平成 31 年度)
延命化の効果	延命化の効果	「施設更新する場合」と比較して，廃棄物処理 LCC を低減することが見込まれる。
	二酸化炭素の削減率	33.5%

表 4-18 延命化工事の工事概要, 対策の目的及び効果(1)

設備名	機器名称	工事対象	数量	工事内容	交付金事業		補修時期					備考				
					対象内	対象外	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
受入供給設備	ゲート-出入口扉	入口扉	扉本体	1基	劣化による機器更新	○					●					
		出口扉	扉本体	1基								●				
	ごみ投入扉	No.1	投入扉本体	1基			劣化による機器更新	○			●					
		No.2	投入扉本体	1基							●					
		No.3	投入扉本体	1基							●					
		No.4	投入扉本体	1基							●					
No.5	投入扉本体	1基			●											
No.6	投入扉本体	1基			●											
ごみクレーン	No.1	クレーン本体他	1基	高効率モータ採用による部分改良更新	○			●								
	No.2		1基					●								
燃焼設備	ごみホッパ・シュート	1号炉	ホッパーシュート本体	1基	劣化による機器更新	○			●							
		2号炉		1基					●							
		3号炉		1基							●					
	給じん装置	1号炉	給じん装置本体	1基			劣化による機器更新	○			●					
		2号炉		1基							●					
		3号炉		1基									●			
焼却炉	1号炉	燃焼装置	1基	火格子更新 必要な機器の更新	○					●						
	2号炉		1基							●						
	3号炉		1基									●				
焼却炉耐火物	1号炉	耐火物	1炉			劣化による耐火物補修	○			●						
	2号炉		1炉							●						
	3号炉		1炉									●				
助燃装置	1号炉	助燃バーナ	2台	劣化による更新	○					●			燃料変更を行う場合は1年目に配管工が必要			
	2号炉		2台							●						
	3号炉		2台									●				
燃焼ガス冷却設備	ボイラ	1号炉	ボイラ本体(水管壁)			1缶	劣化による、水管補修、交換(安全弁、主蒸気遮断弁等含む)	○			●					
			ドラム			1缶			劣化部品の入れ替え			◎				
			過熱器			1缶分			劣化部の補修、交換			◎				
		2号炉	ボイラ本体(水管壁)	1缶	劣化による、水管補修、交換(安全弁、主蒸気遮断弁等含む)						●					
			ドラム	1缶		劣化部品の入れ替え					◎					
			過熱器	1缶分		劣化部の補修、交換					◎					
	3号炉	ボイラ本体(水管壁)	1缶	劣化による、水管補修、交換(安全弁、主蒸気遮断弁等含む)								●				
		ドラム	1缶			劣化部品の入れ替え					◎					
		過熱器	1缶分			劣化部の補修、交換					◎					
	高圧蒸気復水器		ファン駆動装置			2台			高効率モータ採用による改良更新	○	●				主に駆動系の更新	
	タービン排気復水器		ファン駆動装置			6台			高効率モータ採用による改良更新 必要な機器の更新	○		●			主に駆動系の更新	
	脱気器給水ポンプ		ポンプ本体			2台			高効率モータ採用による改良更新	○		●			ポンプ本体およびモータ更新	
	ボイラ給水ポンプ		ポンプ本体			6台			高効率モータ採用による改良更新	○		●			ポンプ本体およびモータ更新	
	純水装置	垂直酸ソーダ注入ポンプ	2台			高効率モータ採用による改良更新			○			●				
陰イオン交換塔送水ポンプ			2台			高効率モータ採用による改良更新	○		●							
再生水移送ポンプ			2台			高効率モータ採用による改良更新	○		●							
純水再生排水移送ポンプ			2台			高効率モータ採用による改良更新	○		●							
		純水移送ポンプ	2台		高効率モータ採用による改良更新	○		●								
排ガス処理設備	減温塔	1号炉	減温反応塔本体		1基	形式変更による改良更新	○			●			ベンダー変更			
		2号炉			1基					●						
		3号炉		1基							●					
	減温反応塔下ダスト排出装置	1号炉	ダスト排出コンベア	1基	高効率モータ採用による改良更新			○			●					
		2号炉		1基							●					
		3号炉		1基										●		
	減温水ポンプ	ポンプ本体	4台	高効率モータ採用による改良更新					○		●					
			ろ布・ダスト排出装置	1基					高効率モータ採用による改良更新	○		●				
ろ過式集塵器	下部ホッパー	1基	部分改良更新、必要な機器の更新	○						●						
		2号炉				1基						●				
		3号炉				1基							●			
消石灰定量供給装置	定量切出し装置本体	1基			高効率モータ採用による改良更新	○						●				
		2号炉					1基						●			
		3号炉					1基							●		
助剤定量供給装置	定量切出し装置本体	1基					高効率モータ採用による改良更新	○						●		
		2号炉							1基						●	
		3号炉	1基											●		
消石灰輸送プロア	プロア本体	3台	高効率モータ採用による改良更新	○										●	薬品輸送配管含む	
		2号炉							3台							●
		3号炉			3台									●		
余熱利用	蒸気タービン	蒸気タービン本体補機			1式	余剰蒸気の発電利用のための更新			○			●				現余剰蒸気の有効利用
通風設備	一次押込通風機	1号炉			駆動用電動機	1台			高効率モータ採用による改良更新 必要な機器の更新	○			●			
		2号炉				1台					●					
		3号炉				1台							●			
	二次押込通風機	1号炉			駆動用電動機	1台	高効率モータ採用による改良更新 必要な機器の更新	○					●			
		2号炉	1台								●					
		3号炉	1台										●			
	シール通風機	1号炉	駆動用電動機	1台	高効率モータ採用による改良更新 必要な機器の更新	○							●			
		2号炉		1台									●			
3号炉	1台										●					
誘引通風機	1号炉	通風機本体	1台	高効率モータ採用による改良更新 必要な機器の更新					○			●				
	2号炉		1台									●				
	3号炉		1台									●				
一次押込空予熱器	熱交換器本体	1基	劣化による機器更新				○					●				
		2号炉						1基				●				
		3号炉			1基							●				
二次押込空予熱器	熱交換器本体	1基			劣化による機器更新	○						●				
		2号炉						1基				●				
		3号炉		1基								●				

(凡例) ●: 更新, ◎: 部分更新

表 4-18 延命化工事の工事概要, 対策の目的及び効果(2)

設備名	機器名称		工事対象	数量	工事内容	交付金事業		補修時期					備考
						対象内	対象外	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
灰出し設備	灰押出機	1号炉	灰押出機本体	1基	劣化による機器更新	○			●				
		2号炉		1基					●				
		3号炉		1基						●			
	落じんコンベヤ	1号炉	コンベヤ本体	1台	高効率モータ採用による改良更新	○			●				
		2号炉		1台					●				
		3号炉		1台						●			
	輻射部下ダストコンベヤ	1号炉	コンベヤ本体ダブルダンパ	1台	高効率モータ採用による改良更新	○			●				
		2号炉		1台					●				
3号炉		1台							●				
ボイラ下ダストコンベヤ No.1	1号炉	コンベヤ本体	1台	高効率モータ採用による改良更新	○			●					
	2号炉		1台					●					
	3号炉		1台						●				
ボイラ下ダストコンベヤ No.2	1号炉	コンベヤ本体	1台	高効率モータ採用による改良更新	○			●					
	2号炉		1台					●					
	3号炉		1台						●				
減温反応塔下ダストコンベヤ	1号炉	スクリーフィーダ ダスト排出コンベヤ ロータリバルブ	各1台	高効率モータ採用による改良更新	○			●					
	2号炉		各1台					●					
	3号炉		各1台						●				
給水設備	機器冷却水設備		機器冷却塔ファン	2台	高効率モータ採用による改良更新	○			●				
	純水装置給水ポンプ		機器冷却水揚水ポンプ本体 ポンプ本体	2台 2台	高効率モータ採用による改良更新 高効率モータ採用による改良更新	○ ○			● ●				
排水処理設備	薬品移送ポンプ 薬品注入ポンプ		ポンプ本体	2基	高効率モータ採用による改良更新	○		●				苛性ソーダ移送ポンプ, 塩酸移送ポンプ, 塩酸移送ポンプ, 苛性ソーダ注入ポンプ, 塩酸注入ポンプ, 凝集剤注入ポンプ, 凝集剤注入ポンプ, 栄養剤注入ポンプ, 脱水剤注入ポンプ	
電気設備	特別高圧受変電設備		逆潮流電力量変更に伴う機器	1式	劣化による機器更新	○			●				
	その他高圧受変電設備		その他高圧受変電設備	1式	劣化による機器更新	○			●				
	発電機		発電機本体	1基	発電容量変更	○			●				
計装制御設備	動力制御盤/配電盤		インバータユニット シーケンサ	1式	劣化による機器更新	○			●				
	中央監視システム		DCS(逆潮流関連)	1式	逆潮流量変更に機器更新	○			●				
			DCS(逆潮流関連以外) 自動燃焼制御装置	1式	劣化、機器OS型番変更による機器更新	○					●		
			各シーケンサ	1式	劣化による機器更新	○			●	●	●	●	
			コントロールバルブ類	蒸気タービン流量調整弁 蒸気タービン流量調整弁以外	1基 1式	蒸気タービン能力増容にともなう更新 劣化による機器更新	○ ○			● ●	●	●	●
その他	ごみビット監視システム		センサー類	1式	劣化による機器更新	○					●		
	煙道・煙道構成部品類		1号炉 2号炉 3号炉	煙道本体、エキスパンション 1系列 1系列 1系列	劣化による機器更新漏れ込み空気量の削減	○			●		●		対象煙道：ボイラ～ろ過式集塵器
建築設備	照明設備		ごみビット プラットフォーム, 焼却棟伊室	1式	省エネ型機器採用による改良更新	○					●		

〈凡例〉 ●：更新, ○：部分更新

(7) 延命化工事を踏まえた整備スケジュールの見直し

延命化工事を踏まえて、主要設備・機器の整備スケジュールの見直しを行う。見直した結果は以下に示すとおりである。

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(1/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目					30年目			
ごみ計量機関連	4	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S		S		S		S		S	
No.1トラックスケール <b>W-0-101A</b>	4	2年	H23	15~20年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
No.2トラックスケール <b>W-0-101B</b>	4	2年	H23	15~20年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
プラットフォーム関連																					
入口扉	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
出口扉	2	2年	H24	15~20年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
ごみ投入扉関連																					
ごみ投入扉No.1	3	2年	—	15~20年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
ごみ投入扉No.2	3	2年	—	15~20年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
ごみ投入扉No.3	1	2年	—	15~20年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
ごみ投入扉No.4	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
ごみ投入扉No.5	2	2年	H21	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
ごみ投入扉No.6	2	2年	H22	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
ダンピングボックス <b>Z-0-105</b>	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ごみ投入扉開閉用油圧装置																					
油圧ポンプA	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプB	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油タンク	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油冷却器	4	1年	H22	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
ごみクレーン関連	3	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S		S		S		S		S	
No.1ごみクレーン <b>CR-0-101A</b>	3	2年	H25	5~10年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
No.2ごみクレーン <b>CR-0-101B</b>	3	2年	H25	5~10年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
走行レール	3	2年	—	15~20年	H22	T		T		T		T		T		T		T		T	
横行レール	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
灰クレーン関連	4	2年	H25	15~20年	—	S		S		S		S		S		S		S		S	
灰クレーン <b>CR-0-701</b>	4	2年	H25	5~10年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
走行レール	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(2/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目													
灯油ユニット関連																					
燃料貯留槽 TK-0-201	4	1年	—	10~15年	—	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
灯油移送ポンプA P-0-201A	4	4年	—	10~15年	—	T				T				T				T			
灯油移送ポンプB P-0-201B	4	4年	—	10~15年	—	T				T				T				T			
純水タンク/移送ポンプ関連																					
純水移送ポンプA P-0-307A	4	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
純水移送ポンプB P-0-307B	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
純水装置関連	3	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
純水装置制御盤	3	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
亜硫酸ソーダ溶解槽 TK-0-303	3	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
亜硫酸ソーダ注入ポンプA P-0-304A	3	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
亜硫酸ソーダ注入ポンプB P-0-304B	3	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
陽イオン交換塔 T-0-301	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
陰イオン交換塔中間コレクター	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
塩酸計量槽	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸注入エジェクタ	3	2年	H23	10~15年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
ガスシール槽	3	2年	—	15~20年	—																
脱炭酸塔 TK-0-302	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
脱炭酸塔ファン F-0-301	3	2年	—	10~15年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
吸込フィルター	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱炭酸塔下部貯槽(中間水槽) TK-0-305	3	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
陰イオン塔送水ポンプA P-0-305A	3	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
陰イオン塔送水ポンプB P-0-305B	3	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
陰イオン交換塔 T-0-303	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
陰イオン塔中間コレクター	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
苛性ソーダ計量槽	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
苛性ソーダ注入エジェクタ	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
再生水移送ポンプA P-0-308A	3	3年	H23	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
再生水移送ポンプB P-0-308B	3	3年	H25	10~15年	—			●		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(3/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目													
純水装置再生排水フロー水槽 <b>PT-0-301</b>	3	2年	H17	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
純水再生排水攪拌フロア	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
純水再生排水移送ポンプA <b>P-0-306A</b>	3	3年	H25	10~15年	—			●		T		T		T		T		T		T	
純水再生排水移送ポンプB <b>P-0-306B</b>	3	3年	H23	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
自動弁	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
サンプリング装置関連	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
清缶剤注入装置関連																					
清缶剤注入ポンプA (1号炉) <b>P-0-321A</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプB (2号炉) <b>P-0-321B</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプC (3号炉) <b>P-0-321C</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
清缶剤注入ポンプD (共通) <b>P-0-321D</b>	3	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
清缶剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱酸剤注入装置関連																					
脱酸剤注入ポンプA <b>P-0-322A</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
脱酸剤注入ポンプB <b>P-0-322B</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
脱酸剤注入ポンプC <b>P-0-322C</b>	3	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
脱酸剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
保缶剤注入装置関連																					
保缶剤注入ポンプA <b>P-0-324A</b>	3	4年	H25	10~15年	—		T				T				T					T	
保缶剤注入ポンプB <b>P-0-324B</b>	3	4年	H25	10~15年	—				T				T					T			T
保缶剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
復水処理剤注入装置関連																					
復水処理剤ポンプA <b>P-0-323A</b>	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
復水処理剤ポンプB <b>P-0-323B</b>	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
復水処理剤タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
機器冷却水薬注装置関連																					
機器冷却水薬注タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
機器冷却水薬注ポンプ <b>P-0-808</b>	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(4/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目													
尿素水関連																					
尿素水貯槽 TK-0-404	1	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
尿素水注入ポンプA (1号炉) P-0-402A	4	2年	H24	10~15年	H22	T		T		T		T		T		T		T		T	
尿素水注入ポンプB (2号炉) P-0-402B	4	2年	H24	10~15年	H22	T		T		T		T		T		T		T		T	
尿素水注入ポンプC (3号炉) P-0-402C	4	3年	H25	10~15年	H22			T		T				T				T			
尿素水注入ポンプD (共通) P-0-402D	4	3年	H25	10~15年	H22			T		T				T				T			
消石灰関連																					
消石灰貯留槽 TK-0-402	4	1年	H23	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
消石灰定量供給装置 Z-0-402	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
助剤関連																					
助剤貯留槽 TK-0-403	4	4年	H22	15~20年	—	T				T				T				T			
助剤定量供給装置 Z-0-403	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
減温水関連																					
減温水ポンプA (1号炉) P-0-401A	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
減温水ポンプB (2号炉) P-0-401B	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
減温水ポンプC (3号炉) P-0-401C	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
減温水ポンプD (共通) P-0-401D	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
ダストコンベヤ関連																					
No.1ダストコンベヤ CN-0-708A/B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
No.2ダストコンベヤ CN-0-709A/B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
No.3ダストコンベヤ CN-0-710A/B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
No.4ダストコンベヤ CN-0-711A/B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト固化装置関連																					
ダスト切出コンベヤ DC-1	4	2年	—	10~15年	H26予定	更		T		T		T		T		T		T		T	
混練造粒機 Z-0-706	4	2年	H24	15~20年	H26予定	更		T		T		T		T		T		T		T	
養生コンベヤ(ダスト固化) CN-0-711	2	2年	H22	10~15年	H26予定	更		T		T		T		T		T		T		T	
集塵機																					
集塵機ファン F-0-725	4	1年	H22	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
集塵用ロータリーバルブ Z-0-725	4	2年	H22	10~15年	H26予定	更		T		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(5/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
集塵機ダスト搬送コンベヤ <b>Z-0-726</b>	1	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト貯留槽 <b>TK-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト貯留槽バグフィルタ	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト切出コンベヤ用ブロワ	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト用エアヒータ	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T				T		T					T
ダスト定量供給機 <b>Z-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ダスト供給コンベヤ <b>CN-0-723</b>	4	2年	H22	15~20年	H26予定	更		T		T		T		T		T		T		T	
キレート剤サービスタンク <b>TK-0-702</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
キレート剤供給ポンプA <b>P-0-703A</b>	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
キレート剤供給ポンプB <b>P-0-703B</b>	3	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
加温水タンク <b>TK-0-701</b>	1	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
加温水ポンプA <b>P-0-702A</b>	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
加温水ポンプB <b>P-0-702B</b>	4	2年	H22	10~15年	H23	T		T		T		T		T		T		T		T	
井戸水/プラント水関連																					
プラント用水揚水ポンプA <b>P-0-804A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
プラント用水揚水ポンプB <b>P-0-804B</b>	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
再利用水関連																					
再利用水揚水ポンプA <b>P-0-809A</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
再利用水揚水ポンプB <b>P-0-809B</b>	4	2年	H22	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
洗浄水ポンプA <b>P-0-806A</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
洗浄水ポンプB <b>P-0-806B</b>	4	2年	H21	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
機器冷却水関連																					
機器冷却塔 <b>T-0-801</b>	1	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
機器冷却水揚水ポンプA <b>P-0-807A</b>	4	3年	H24	10~15年	—		T	●			T			T			T			T	
機器冷却水揚水ポンプB <b>P-0-807B</b>	4	3年	H24	10~15年	—	T		●			T			T			T			T	
機器冷却水揚水ポンプC <b>P-0-807C</b>	4	3年	H25	10~15年	—			●			T			T			T			T	
冷却水ブースタポンプA <b>P-0-810A</b>	3	3年	H23	10~15年	—	T			T			T			T			T			T
冷却水ブースタポンプB <b>P-0-810B</b>	3	3年	H25	10~15年	—		T			T			T			T			T		

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(6/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
生活用水槽/ポンプ関連						S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
生活用水揚水ポンプA <b>P-0-801A</b>	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
生活用水揚水ポンプB <b>P-0-801B</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
暖房関連						S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
予備ボイラ <b>SB-1</b>	4	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
ボイラブロー/排水関連			—		—																
ボイラブロー排水移送ポンプA <b>P-0-903A</b>	4	3年	H25	10~15年	—			T		T			T				T			T	
ボイラブロー排水移送ポンプB <b>P-0-903B</b>	4	3年	H24	10~15年	—		T			T			T			T			T		
排水処理関連																					
苛性ソーダ貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
苛性ソーダ注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
苛性ソーダ注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
苛性ソーダ移送ポンプA (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
苛性ソーダ移送ポンプB (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
凝集剤貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
凝集剤注入ポンプA	4	2年	H23	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
凝集剤注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸貯留槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(1)A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(1)B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(2)A (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸移送ポンプ(2)B (純水装置行)	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸希釈槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸注入ポンプA	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
塩酸注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
栄養剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
栄養剤注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
栄養剤注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
凝集剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(7/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目						30年目		
凝集助剤注入ポンプA	4	2年	H25	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
凝集助剤注入ポンプB	4	2年	H22	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱水助剤溶解槽	4	2年	—	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱水助剤注入ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱水助剤注入ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
濃縮汚泥引抜ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
濃縮汚泥引抜ポンプB	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚泥供給ポンプA	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚泥供給ポンプB	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚泥脱水機	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
脱水ケーキ移送ポンプ	3	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ごみビット污水处理関連																					
汚水ろ液噴霧ポンプA P-0-902A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプB P-0-902B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプC P-0-902C	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
汚水ろ液噴霧ポンプD P-0-902D	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
圧縮機関連																					
計装用空気圧縮機A CP-0-001A	4	2年	H25	10~12年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
計装用空気圧縮機B CP-0-001B	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
計装用空気だめ TK-0-005	4	2年	H21	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
計装用空気除湿機A Z-0-003A	4	2年	—	10~12年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
計装用空気除湿機B Z-0-003B	4	2年	H25	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
計装用空気ラインフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
計装用空気ミストフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
雑用空気圧縮機A CP-0-002A	4	1年	H25	10~12年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
雑用空気圧縮機B CP-0-002B	4	1年	H25	10~12年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
雑用空気だめ TK-0-006	4	2年	H21	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
雑用空気除湿機 Z-0-004	4	2年	—	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
雑用空気ラインフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
雑用空気ミストフィルタ	4	2年	H24	10~12年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(8/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目													
高圧蒸気だめ関連																					
No.1高圧蒸気だめ <b>D-0-301A</b>	4	2年	H24	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
No.2高圧蒸気だめ <b>D-0-301B</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
低圧蒸気だめ関連																					
低圧蒸気だめ <b>SH-1</b>	4	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
排気復水タンク/ポンプ関連																					
排気復水タンク <b>TK-0-301</b>	4	1年	H24	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
脱気器関連																					
No.1脱気器 <b>Z-0-306A</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
No.2脱気器 <b>Z-0-306B</b>	4	2年	H23	15~20年	—		T			T			T		T				T		T
脱気器給水ポンプ A <b>P-0-302A</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
脱気器給水ポンプ B <b>P-0-302B</b>	4	2年	H24	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
脱気器給水ポンプ C <b>P-0-303C</b>	4	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
蒸気タービン関連																					
タービン本体	4	2年	H24	15~20年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
車室	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
羽根車心棒、羽根	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
パッキン箱	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
隔板、噴口	4	2年	H22	15~20年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T	
軸受	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ガバナ	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
主蒸気止め弁	4	2年	H24	15~20年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
ターンバックル	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T
サーボモーター	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T
主蒸気加減弁	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
蒸気シール弁	4	4年	H24	15~20年	—			T				●				T					T
駆動軸(非常調速機) <b>SNC-631</b>	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
カップリングカバー	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(9/23) (共通設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
軸継手	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T
ターニング装置 Z-0-541	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
減速装置 GTZ-0-501	4	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
タービン外衣	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T
タービン台板	4	4年	H24	15~20年	—			T				T				T					T
タービン発電機																					
タービン発電機 Z-0-502	4	1年	H25	15~20年	H24	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
復水器関連																					
タービン排気復水器 E-0-302	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
高圧蒸気復水器	2	2年	H24	15~20年	—	T	●		T		T		T		T		T		T		T
ボイラ給水関連																					
ボイラ給水ポンプA P-0-303A	4	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
ボイラ給水ポンプB P-0-303B	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	
ボイラ給水ポンプC P-0-303C	4	2年	H25	10~15年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
ボイラ給水ポンプD (予備) P-0-303D	4	2年	H24	10~15年	—	T		●		T		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(10/23) (1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目				25年目					30年目				
ごみホッパ	4	4年	—	15~20年		T			●				T				T				T
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T			●				T				T				T
ブリッジ解除装置	4	4年	—	15~20年	—	T			●				T				T				T
ホッパシュート	4	4年	H22	15~20年	H23	T			●				T				T				T
給じん装置 Z-1-202	2	1年	H18	5~10年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用油圧シリンダ	2	1年	—	5~10年	H18	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H24	2~10年	H16	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物	2	1年	H20	2~10年	H23	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-1-203	3	1年	H25	10~20年		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油タンク	3	2年	H25	15~20年	—	T		T	T		T		T		T		T		T		T
油冷却器	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプA	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油圧ポンプB	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
油循環ポンプ	3	1年	H25	10~15年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
助燃バーナ																					
助燃バーナA Z-1-205A	1	2年	H25	15~20年	—		T		●		T		T		T		T		T		T
助燃バーナB Z-1-205B	1	2年	H25	15~20年	—		T		●		T		T		T		T		T		T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(11/23) (1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
減温塔関連																					
減温塔 T-1-401	1	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
減温塔下スクリーコンベヤ CN-1-441	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
減温塔下ダストコンベヤ CN-1-707	4	2年	H22	10~15年	—	T		T	●		T		T		T		T		T		T
消石灰/助剤関連																					
消石灰輸送ブロワ F-1-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			●		T				T				T		T
消石灰定量フィーダ Z-1-402	4	3年	—	15~20年	—	T			●		T				T				T		T
助剤定量フィーダ Z-1-403	4	3年	—	15~20年	—	T			●		T				T				T		T
バグフィルタ関連																					
バグフィルタ BF-1-401	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン F-1-442	4	3年	H22	15~20年	—	T			T			T			T				T		T
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-1-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T			T		T
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-1-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T			T		T
1号ボイラ下・輻射部コンベヤ関連																					
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-1-705	4	2年	H16	10~15年	—	T		T		T		T		T		T			T		T
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-1-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T			T		T
輻射部下ダストコンベヤ CN-1-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T	●		T		T		T				T		T
ストーカ下落じんコンベヤ CN-1-701	3	2年	H24	10~15年	H25		T		●		T		T		T				T		T
灰押出機 Z-1-701	3	2年	H24	10~15年	—	T		T	●		T		T		T				T		T
灰出しコンベヤ CN-1-702	4	3年	H24	15~20年	H25			T			T			T							T
振動コンベヤ CN-1-703	4	3年	H24	15~20年		T			T			T			T				T		T
ボイラ関連	2	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S		S		S			S		S
ボイラ水管関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T	●		T		T		T				T		T
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T	●		T		T		T				T		T
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T	●		T		T		T				T		T
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(12/23) (1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H25	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ボイラ管寄せ関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T			T			T		T			T			T
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H27 第1パッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H29 第2パッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H37 過熱器入口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H38 過熱器出口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(13/23) (1号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
送風機/予熱器関連																					
シール用送風機 <b>F-1-603</b>	4	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-1-601</b>	4	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次空気予熱器 <b>E-1-601</b>	4	1年	H21	10~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-1-602</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次空気予熱器 <b>E-1-602</b>	4	1年	H21	10~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-1-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-1603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-1603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-1602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道風道関連																					
煙突	4	4年	H22	15~20年	—	T				T				T				T			
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(14/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目						30年目		
ごみホッパ	4	4年		15~20年		T				●				T				T			
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T				●				T				T			
ブリッジ解除装置	4	4年	—	15~20年	—	T				●				T				T			
ホッパシュート	4	4年	H24	15~20年	—	T				●				T				T			
給じん装置 Z-2-202	2	1年		5~10年		T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用油圧シリンダ	2	1年	—	5~10年	H18	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H24	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A,B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物(補修)	2	1年	H24	2~10年	H25	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-2-203	3	2年		10~20年			T		T	T	T		T		T		T		T		T
油タンク	3	2年	H25	15~20年	—		T		T	T	T		T		T		T		T		T
油冷却器	3	2年	H25	15~20年	—		T		T	T	T		T		T		T		T		T
油圧ポンプA	3	2年	H25	10~15年	—		T		T	T	T		T		T		T		T		T
油圧ポンプB	3	2年	H25	10~15年	—		T		T	T	T		T		T		T		T		T
油循環ポンプ	3	2年	H25	10~15年	—		T		T	T	T		T		T		T		T		T
助燃バーナ																					
助燃バーナA Z-2-205A	1	2年	H25	15~20年	—		T		T	●		T		T		T		T		T	
助燃バーナB Z-2-205B	1	2年	H25	15~20年	—		T		T	●		T		T		T		T		T	

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(15/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
減温塔関連																					
減温塔 T-2-401	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
2号減温塔下スクリュコンベヤ CN-2-441	1	2年	—	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
2号減温塔下ダストコンベヤ CN-2-707	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
消石灰/助剤関連																					
消石灰輸送ブロフB F-2-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			T	●			T			T				T	
消石灰定量フィーダ Z-2-402	4	3年	H22	15~20年	—	T			T	●			T			T				T	
助剤定量フィーダ Z-2-403	4	3年	—	15~20年	—	T			T	●			T			T				T	
バグフィルタ関連																					
バグフィルタ BF-2-401	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン F-2-442	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T			T			T			T
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-2-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-2-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ボイラ下・輻射部関連																					
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-2-705	4	2年	H15	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-2-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
輻射部下ダストコンベヤ CN-2-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
ストーカ下落じんコンベヤ CN-2-701	4	2年	H22	10~15年	H27予定		更		T	●		T		T		T		T		T	
灰押出機 Z-2-701	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
灰出しコンベヤ CN-2-702	4	3年	H25	15~20年	H28予定			更			T		T				T			T	
振動コンベヤ CN-2-703	4	3年	H22	15~20年	—	T			T			T			T			T			T
ボイラ関連	2	2年	H24	15~20年	—	S		S		S		S		S		S		S		S	
ボイラ水管関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		●		T		T		T		T		T	
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(16/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ボイラ管寄せ関連	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T			T			T			T			T		
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H21	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H27 第1バッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H29 第2バッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H37 過熱器入口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H38 過熱器出口管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(17/23) (2号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
送風機/予熱器関連																					
シール用送風機 <b>F-2-603</b>	4	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-2-601</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次空気予熱器 <b>E-2-601</b>	4	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-2-602</b>	4	1年	H21	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込空気予熱器 <b>E-2-602</b>	4	1年	H24	10~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-2-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-2603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-2603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-2602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道・風道関連																					
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(18/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目				30年目				
ごみホッパ	4	4年		15~20年		T				T	●			T				T			
ホッパゲート	4	4年	—	15~20年	—	T				T	●			T				T			
ブリッジ解除装置	4	4年	H24	15~20年	—	T				T	●			T				T			
ホッパシュート	4	4年	H22	15~20年	—	T				T	●			T				T			
給じん装置 Z-3-202	2	1年		5~10年		T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
給じん用シリンダ	2	1年	H12	5~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
燃焼装置(ストーカ)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H25	2~10年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	—	2~10年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 乾燥帯(ゾーン1)	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯1(ゾーン2)	2	1年	H22	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 燃焼帯2(ゾーン3)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
火格子駆動用油圧シリンダ(A.B) 後燃焼帯(ゾーン4)	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
サイドプレート	2	1年	H23	2~10年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
焼却炉本体	2	1年	—	15~20年		T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉内耐火物	2	1年	H23	2~10年	H24	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
炉駆動用油圧装置 Z-3-203	3	2年	H24	10~20年		T		T		T	T	T		T		T		T		T	
油タンク	3	2年	—	15~20年	—	T		T		T	T	T		T		T		T		T	
油冷却器	3	2年	H24	15~20年	—	T		T		T	T	T		T		T		T		T	
油圧ポンプA	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T	T	T		T		T		T		T	
油圧ポンプB	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T	T	T		T		T		T		T	
油循環ポンプ	3	2年	H23	10~15年	—	T		T		T	T	T		T		T		T		T	
助燃バーナ																					
助燃バーナA Z-3-205A	1	2年	H23	15~20年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
助燃バーナB Z-3-205B	1	2年	H23	15~20年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(19/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
減温塔関連																					
減温塔 T-3-401	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
減温塔下スクリーコンベヤ CN-3-441	1	2年	H24	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
減温塔下ダストコンベヤ CN-3-707	4	2年	H17	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
消石灰/助剤関連																					
消石灰輸送ブロワC F-3-401	4	3年	H24	15~20年	—	T			T		●			T		T				T	
消石灰定量フィーダ Z-3-402	4	3年	—	15~20年	—	T			T		●			T		T				T	
助剤定量フィーダ Z-3-403	4	3年	—	15~20年	—	T			T		●			T		T				T	
バグフィルタ関連																					
バグフィルタ BF-3-401	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
温風循環ファン	4	3年	—	15~20年	—	T			T			T			T				T		T
バグフィルタ下ダストコンベヤA Z-3-442A	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
バグフィルタ下ダストコンベヤB Z-3-442B	4	2年	—	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
ボイラ下・輻射部関連																					
ボイラ下ダストコンベヤNo.1 CN-3-705	4	2年	H17	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
ボイラ下ダストコンベヤNo.2 CN-3-706	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
輻射部下ダストコンベヤ CN-3-301	1	2年	—	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
ストーカ下落じんコンベヤ CN-3-701	4	2年	H25	10~15年	H28予定			更		T	●		T		T		T		T		T
灰押出機 Z-3-701	4	2年	H24	10~15年	—	T		T		T	●		T		T		T		T		T
灰出しコンベヤ CN-3-702	4	3年	H24	15~20年	H27予定		更			T			T		T				T		
振動コンベヤ CN-3-703	4	3年	H24	15~20年	—	T			T			T			T				T		T
ボイラ関連	2	2年	H25	15~20年	—		S		S		S		S		S		S		S		S
ボイラ水管	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T1 前面水冷壁管 (A部)	—	2年	H24	15~20年	H25			T		T		●		T		T		T		T	
T7-1 放射室右側面水冷壁管 (B部)	—	2年	H24	15~20年	H25			T		T		●		T		T		T		T	
T7-2 放射室左側面水冷壁管 (C部)	—	2年	H24	15~20年	H25			T		T		●		T		T		T		T	
T18 第1スクリーン壁連絡管 (D部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T2 第1スクリーン壁管 (E部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T3 第2スクリーン壁管 (F部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(20/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
T6 放射室後面水冷壁管 (G部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T19 放射室後面水冷壁連絡管 (H部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
T12 No.1蒸発管 (I部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T15 過熱器管 (J部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T13 No.2蒸発管 (K部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T14 No.3蒸発管 (L部)	—	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
T17 No.2エコノマイザ管 (M部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
T16 No.1エコノマイザ管 (N部)	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
ボイラ管寄せ	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
H1 前面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H3 第1スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H6 第2スクリーン壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H8 ホッパ水冷壁下部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H11 放射室後面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H13 放射室右側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H14 放射室左側面水冷壁No.1下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H15 放射室右側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	3年	H24	15~20年	—		T				T		T		T				T		
H16 放射室左側面水冷壁No.2下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H17 放射室右側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H18 放射室左側面水冷壁No.1上部管寄せ	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H23 テールエンド右側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H24	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H24 テールエンド左側面水冷壁下部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H25 テールエンド右側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H26 テールエンド左側面水冷壁上部管寄せ	—	2年	H23	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H27 第1パッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H29 第2パッフル水冷壁下部管寄せ	—	2年	H22	15~20年	—	T		T		T		T		T		T		T		T	
H37 過熱器入口	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T
H38 過熱器出口	—	2年	H25	15~20年	—		T		T		T		T		T		T		T		T

T : 時間基準保全 ● : 更新  
 C : 状態基準保全 ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(21/23) (3号炉)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目					30年目			
ボイラ槌打装置	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
送風機/予熱器関連																					
シール用送風機 <b>F-3-603</b>	4	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込送風機 <b>F-3-601</b>	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
一次押込空気予熱器 <b>E-3-601</b>	4	1年	H25	10~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込送風機 <b>F-3-602</b>	4	1年	H19	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
二次押込空気予熱器 <b>E-3-602</b>	4	1年	H20	10~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機 <b>F-3-604</b>	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
排ガス分析計	3	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
塩化水素分析装置(HCL計) <b>HCLCR-3603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
ばいじん計(HCL計) <b>XDR-3603</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
NOx,SO2,CO 分析装置 <b>NOXCR-3602</b>	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙突・煙道・風道																					
風道	—	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
煙道	1	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 4-19 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(22/23) (電気設備)

機器名	健全度	点検補修 周 期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	
								20年目														
受電設備																						
特別高圧変圧器	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
配電設備																						
200-100V非常用配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
400V非常用配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用予備発電装置切換盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相1500 k VA変圧器(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相低圧主幹盤(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
400V三相低圧配電盤(No.1, No.2)	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
400V母線連絡盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
200V三相低圧配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
単相配電盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
単相フィルタ盤	4	3年	H24	15~20年	—		T			T			T		T				T			
三相フィルタ盤	4	3年	H24	15~20年	—		T			T			T		T				T			
電力監視設備																						
電力監視盤(1)(2)(3)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
特高変圧器二次盤	2	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
き電盤(No.1~No.5)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
コンデンサ盤(No.1~No.4)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
アクティブフィルタ盤(No.1, No.2, No.3)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用発電装置 (ディーゼル発電機)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
非常用発電機 (防災用)	4	2年	—	15~20年	H24	T		T		T		T		T		T		T		T		
直流電源装置	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
サージアブソーバ盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
発電機遮断器盤	3	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
タービン発電機監視盤	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
誘引通風機VVVF盤(1号, 2号, 3号)	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査

表 3-10 延命化工事を踏まえた主要設備・機器の整備スケジュール(23/23) (電気設備)

機器名	健全度	点検補修 周期	前回 維持補修	目 標 耐用年数	前回 更新	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
								20年目					25年目								
DCS																					
CRTディスプレイ	2	2年	H23	15~20年	—		T		T		●		T		T		T		T		T
警報表示盤	4	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
共用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
電力用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H25	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
1号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
2号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H24	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
3号炉用インテグレートドコントロールステーション	4	1年	H23	15~20年	—	T	T	T	T	T	●	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
シーケンサ盤			H24	15~20年	—																
共通シーケンサ盤	2	2年	H25	15~20年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
電力用シーケンサ盤	2	2年	H25	15~20年	—		T	●		T		T		T		T		T		T	
1号炉用シーケンサ盤	2	3年	H24	15~20年	—		T		●			T			T			T			
2号炉用シーケンサ盤	2	3年	H25	15~20年	—			T		●			T			T			T		
3号炉用シーケンサ盤	2	3年	H23	15~20年	—	T			T		●			T			T			T	
計装分電盤																					
共用分電盤	2	1年	H16	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
中央監視盤	2	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
公害監視盤	2	1年	H9	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
監視用ITV装置	2	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T
高精細映像システム	2	1年	—	15~20年	—	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T	T

T : 時間基準保全    ● : 更新  
 C : 状態基準保全    ◎ : 部分更新  
 S : 法定検査